www.minolta.com

はじめに

セットアップ編

操作編 I

操作編 II

操作編 III

資料

DiMAGE Scan Multi PRO

J 使用説明書

正しく安全にお使いいただくために

お買い上げありがとうございます。
ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

⚠ 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は感電注意）

⚠ 警告

本製品は国内家庭用電源100ボルト、50/60ヘルツ用です。それ以外の電圧や周波数では使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

ご自分で分解、修理、改造をしないでください。

内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご依頼ください。

落下や損傷により内部が露出した場合は、内部には触れないで電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。

感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。

幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

（次ページに続く ☞）

⚠ 警告

濡れた手で本製品の操作やコード類の抜き差しはしないでください。また水の入ったコップ等を近くに置いたりしないでください。内部に水が入った場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。
使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご連絡ください。

本製品の開口部（フィルムホルダ挿入口）から内部に手や燃えやすいものを差し込んだり、クリップやホッチキスの針等の金属類を落としたりしないでください。
ケガや感電、火災の原因となります。万一金属類や異物が内部に入った場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションにご連絡ください。

アルコールやシンナーなどの引火性溶剤の近くでの使用や、本製品付近での可燃性スプレーの使用は避けてください。またお手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。
コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに交換をご依頼ください。

万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、火傷に注意しながらすみやかに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。お買い求めの販売店または最寄りの弊社サービスセンター・サービスステーションに修理をご依頼ください。

⚠ 注意

本製品を横倒しや仰向けの状態で使用しないでください。
機械が加熱して火災の原因となります。

以下のような場所での本製品の使用、保管、放置は避けてください。
- **湿気やホコリの多い場所**
- **直射日光の当たる場所**
- **火気の近くや高温になる場所**
- **通風口をふさぐ場所や、油煙が当たる場所**
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所**

故障、火災、ケガの原因となります。

電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。
電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

電源コードのアース線は、家庭用コンセントに付いているアース接続端子に接続してください。
ガス管や水道管、電話専用アース端子には接続しないでください。火災や感電の原因となります。

お手入れの際や長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因となります。

1年に1度程度、電源コードに傷みがないことを確認するとともに、プラグの刃と刃の間を清掃してください。
ホコリがたまると火災の原因となります。

その他、気を付けていただきたいこと

●スキャン中は、装置を動かしたり、フィルムホルダに触ったりしないでください。
スキャン画像が乱れたり、故障の原因となります。

●本機の清掃には洗剤やアルコールは使用しないでください。またスキャナの開口部（フィルムホルダ挿入口）の中にブラシを入れたり、エアーブロアーなどを使用しないでください。

同梱品の確認

以下のものが梱包されているか確認してください。もし、不良品、欠品などがあればお買求めの販売店にご連絡ください。

①DiMAGE Scan Multi PRO 本体

②35mmフィルムホルダ（FH-P1）

③スライドマウントホルダ（SH-P1）

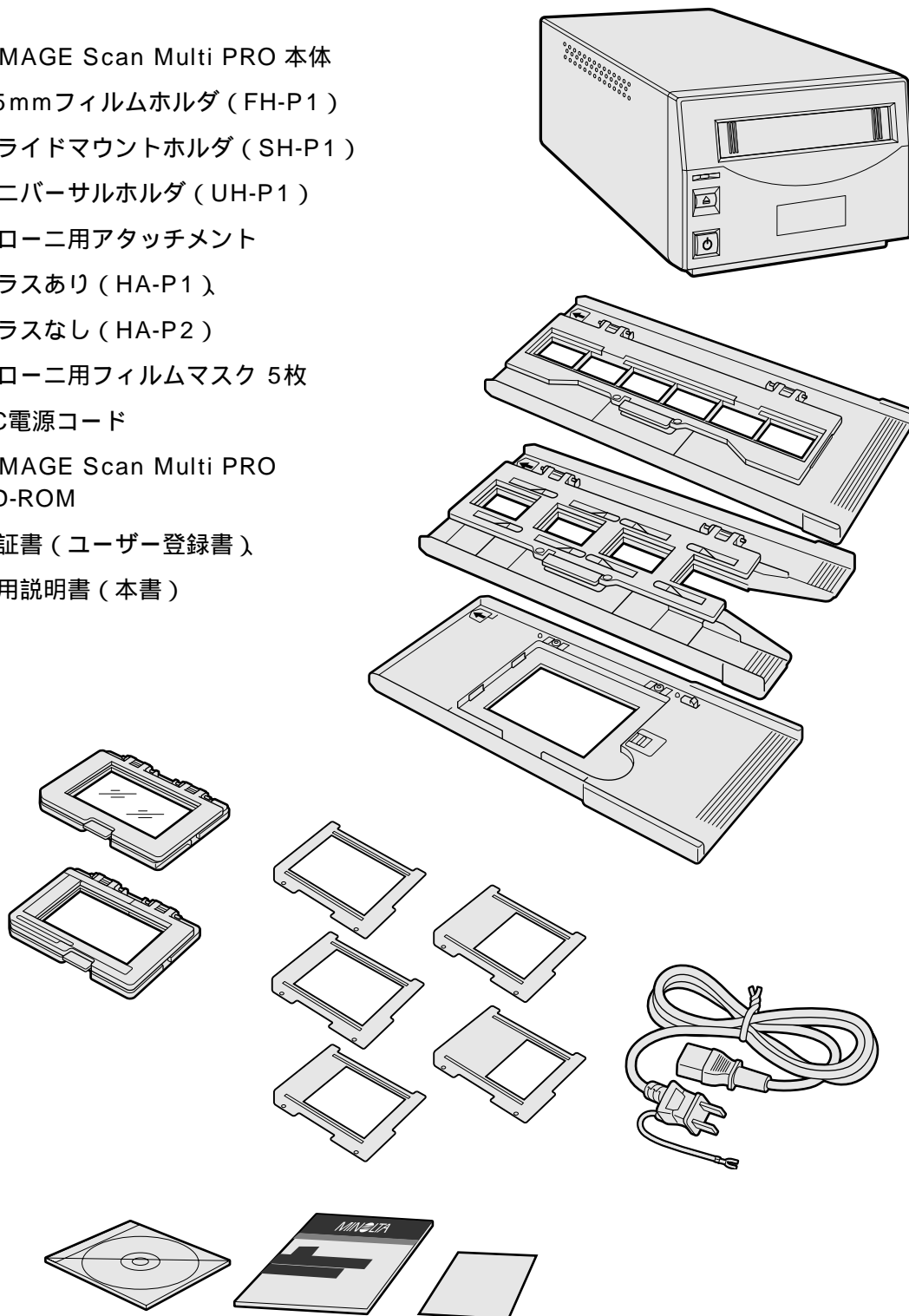
④ユニバーサルホルダ（UH-P1）

⑤ブローニ用アタッチメント
ガラスあり（HA-P1）、
ガラスなし（HA-P2）

⑥ブローニ用フィルムマスク 5枚

⑦AC電源コード

⑧DiMAGE Scan Multi PRO
CD-ROM

⑨保証書（ユーザー登録書）、
使用説明書（本書）

この使用説明書の構成

詳しい目次は次ページにあります。

目次

はじめに

セットアップ編　セットアップ作業の流れ

操作編 I　詳細操作でのインデックススキャンまで

操作編 II　プレビューから画像補正まで

操作編 III　本スキャンから画像の保存まで

資料

はじめに

このたびはミノルタ DiMAGE Scan Multi PRO（ディマージュスキャンマルチプロ）AF-5000をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品を十分に活用していただくために、使用される前に本書をよくお読みください。また、その後は保証書とともに大切に保管してください。

特徴

- ３５mmフィルムはもちろんのこと、ブローニサイズ（６×４.５、６×６、６×７、６×８、６×９）フィルム、また別売りのホルダアタッチメントを使って顕微鏡のプレパラート、電子顕微鏡写真のフィルム、１６mm、マイクロフィルムアパーチャーカードなど幅広いフィルムフォーマットに対応しています。
- ドライバソフトウェアはPhotoshopなどのレタッチソフトに画像を取り込めるTwain/Plug-inと、画像補正してそのまま保存できるユーティリティの２種類が選べます。
- ３５mmネガフィルムの画像確認に便利なインデックススキャン。画像をスキャンして保存する前にトリミングや画像補正ができるプレビュースキャン。実際に画像をスキャンして保存する本スキャン、と目的や工程にあわせてスキャン機能が選べます。
- オートフォーカス／マニュアルフォーカス機能、入力分解能１６bitのADコンバータと最高４８００dpiの解像度で、高解像度で豊かな階調の精細な画像がスキャンできます。
- Digital ICE（自動傷ほこり補正機能）、Digital ROC（退色復元機能）、Digital GEM（粒状軽減機能）など、米国Applied Science Fiction社のDigital ICE3TH機能を装備し、業務ユーザーの要求にも対応しています。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を使って複製する場合、次の点にご注意ください。

●紙幣、貨幣、有価証券の複製は違法となり、処罰の対象となります。
●各種の証明書、免許証、旅券、公文書、私文書の複製も法律で禁止されており、処罰の対象となります。
●他人の著作物は個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする場合以外、著作権者の承認を得て複製してください。

・Microsoft®、Windows®、Windows NT®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
・Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
・Pentium®は、米国インテル社の商標または登録商標です。
・Apple、Appleロゴ、Macintosh、Power Macintosh、Mac OS、Mac OSロゴ、ColorSync、ColorSyncロゴは、米国およびその他の国で登録されたアップルコンピュータ社の商標です。
・IBM、PowerPCは、米国International Business Machines Corporationの商標です。
・Adobe、Adobe Photoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。
・Digital ICE、Digital ROC、Digital GEMは、米国Applied Science Fiction社の技術です。
・その他の会社名・製品名は、一般に各社の商標・登録商標です。

●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたら、ご連絡ください。
●本製品は日付、時計機能を使用しておりません。
●本製品を運用した結果については、前項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

（次ページに続く ☞）

ユーザー登録のお願い

本製品をご使用になる前に、お早めにユーザー登録をお済ませください。同封されている保証書兼ユーザー登録カードに必要事項をご記入の上、キリトリ線からユーザー登録カードを切り離して、切手を貼らずにそのままご投函ください。保証書はお客様のお手元に大切に保管してください。

ご登録いただいた方は、正規ユーザー様として、本ソフトウェアに対する今後のサポートを受けることができます。
また、バージョンアップのご案内、弊社関連商品のご紹介等をさせていただきます。

●登録完了のご案内はお送りいたしておりません。ご了承ください。
●ユーザー登録カードに記入していただいた内容は、正規ユーザー様へのサービスや今後の製品開発での貴重なご意見として、統計的に処理いたします。ご回答の内容で後にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

本書の表記について

◆本書では、パーソナルコンピュータの基本的な操作方法、およびWindows®、Mac OS などのオペレーティングシステムおよび画像処理アプリケーションソフトウェアについては説明していません。これらについては、お使いのパーソナルコンピュータまたはアプリケーションソフトウェアに付属のマニュアル等をご覧ください。
◆本書は、お使いのパーソナルコンピュータにオペレーティングシステム（Windows®、またはMac OS)、画像処理アプリケーションソフトウェアやデバイスドライバなど必要なソフトウェアがすでにインストールされており、かつ正常に動作していることを前提に記述しています。
◆本書では、主としてWindows®版ソフトウェアの画面表示を用いて説明しています。Windows®版とMacintosh版では、その画面表示にほとんど差はありません。
Macintosh版に特有の画面表示についてはその都度説明しています。
◆本書はマウス操作を基本として説明しています。Windows®の2ボタンマウスについては「右きき用」に設定しているものとして説明しています。
またWindows®の2ボタンマウスにおいて「クリックします」「ダブルクリックします」と表記してある場合、それはマウスの「左ボタン」をクリックまたはダブルクリックすることを表わします。「ドラッグします」と表記してある場合は、「マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす」操作を示します。右ボタンをクリックする操作のときは、その都度表記しています。
◆Macintoshにおいて、*Command*（コマンド）キーとは、スペースキーの隣の、キーボード上に ⌘ が描かれているキーのことをいいます。

ご注意

◆本ソフトウェアは日本語OS（オペレーティングシステム）上で動作させることが前提です。英語OS（オペレーティングシステム）上、または、日本語表示を可能にする言語モジュール類を組み込んだ英語OS（オペレーティングシステム）上での動作に関してはサポート致しかねます。

◆付属のCD-ROMには本ソフトウェアの外国語版も同梱されていますが、日本国内においては外国語版ソフトウェアに関しては一切のサポートを致しかねます。

必要なシステム ― Windows®

本装置を使用するためには、以下のシステム環境が必要です。

	IBM PC/AT互換機 NEC PC98-NXシリーズ（*1*2）	
インターフェース	Ultra SCSI	IEEE 1394
コンピュータ	インテル社製 Pentium 166MHz以上	インテル社製 Pentium II 以上
OS	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows Me Windows NT 4.0 Windows 2000 Professional	Windows Me Windows 2000 Professional
必要メモリ	96MB以上の実装メモリ	
モニタ	1024×768ドット以上を推奨、640×480ドットでも使用可能 High Color (16ビット)	
ハードディスク空き容量	作業領域として、約2GB以上の空き領域が確保できること	
CD-ROMドライブ	必須（ソフトウェア インストール時）	
TWAINドライバ使用時の動作確認済アプリケーション	Adobe Photoshop Ver.4.0.1J/5.0.2/5.5/6.0 日本語版 Adobe Photoshop 5.0 LE	
推奨ボード	アダプテックジャパン株式会社： SCSI CARD 19160、 SCSI CARD 29160、 SCSI CARD 29160N、 SCSI CARD 2915LP ラトックシステム株式会社： REX-PCI 31-L 株式会社メルコ： IFC-USLP	アダプテックジャパン株式会社： AFW-4300 ラトックシステム株式会社： REX-PFW2W 株式会社メルコ： IFC-IL3 パソコンに標準搭載されたOHCI準拠のIEEEポート（*3）

*1：Windows®98、Windows®98 Second Edition、Windows®Me、Windows®NT 4.0または Windows®2000 ProfessionalがプリインストールされたPCのみ。
*2：ノートパソコンは除く。
*3：DV専用のポートは除く。IEEE1394ポートがパソコンメーカーに動作保証されていること。

＜16bit取り込み、Digital ICE/ROC/GEM使用時の使用環境＞
Pentium II 以上（Pentium III以上を推奨）/RAM:256MB以上の実装メモリ（512MB以上を推奨）/ハードディスクの空き容量：6GB以上（8GB以上を推奨）

	Apple Macintoshシリーズ（*2）	
インターフェース	Ultra SCSI	FireWire (IEEE 1394)
コンピュータ	PowerPC 604以上	PowerPC G3以上を搭載し、FireWireポートが標準搭載された機種
OS	Mac OS 8.6～Mac OS 9.1	
必要メモリ	空きメモリとして64MB以上 （アプリケーション、OSに必要なメモリを除く空き容量）	
モニタ	1024×768ドット以上を推奨、640×480ドットでも使用可能 色数32,000色以上	
ハードディスク空き容量	作業領域として、約2GB以上の空き領域が確保できること	
CD-ROMドライブ	必須（ソフトウェア インストール時）	
Plug-inドライバ使用時の動作確認済アプリケーション	Adobe Photoshop 5.0.2/5.5/6.0 日本語版 Adobe Photoshop 5.0 LE	
推奨ボード	アダプテックジャパン株式会社： PowerDomain 2940UW、 PowerDomain 2940U2W、 PowerDomain 2930U、 PowerDomain 29160N	標準装備のFire Wireポート

*2：ノートパソコンは除く。

＜16bit取り込み、Digital ICE/ROC/GEM使用時の使用環境＞
Macintosh: CPU: PowerPC G3以上（Power PC G4を推奨）/RAM:空きメモリとして256MB以上（アプリケーションソフト、OSに必要なメモリを除く空きメモリ容量）（512MB以上を推奨）/ハードディスクの空き容量：6GB以上（8GB以上を推奨）

必要なシステム — Windows®

バージョンアップにより本製品使用説明書の13、14ページの記載事項が、以下に変更されました。

	IBM PC/AT互換機 NEC PC98-NXシリーズ（*1）	
インターフェース	Ultra SCSI	IEEE 1394
コンピュータ	インテル社製 Pentium 166MHz以上	インテル社製 Pentium II 以上
OS	Windows98 Windows98 Second Edition WindowsMe WindowsNT 4.0 Windows2000 Professional **WindowsXP**	WindowsMe Windows2000 Professional **WindowsXP**
必要メモリ	96MB以上の実装メモリ **WindowsXP使用の場合は128MB以上**	
モニタ	1024×768ドット以上を推奨、640×480ドットでも使用可能 High Color (16ビット)	
ハードディスク空き容量	作業領域として、約2GB以上の空き領域が確保できること	
CD-ROMドライブ	必須（ソフトウェア インストール時）	
TWAINドライバ使用時の動作確認済アプリケーション	Adobe Photoshop Ver.4.0.1J/5.0.2/5.5/6.0 日本語版 Adobe Photoshop 5.0 LE	
推奨ボード	アダプテックジャパン株式会社： SCSI CARD 19160、 SCSI CARD 29160、 SCSI CARD 29160N、 SCSI CARD 2915LP ラトックシステム株式会社： REX-PCI 31-L 株式会社メルコ： IFC-USLP	アダプテックジャパン株式会社： AFW-4300 ラトックシステム株式会社： REX-PFW2W 株式会社メルコ： IFC-IL3 パソコンに標準搭載されたOHCI準拠のIEEEポート（*2*3）

*1：ノートパソコンは除く。
*2：ご使用のOSの環境にて、IEEE1394ポートがパソコンメーカーに動作保証されていること。
詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。
*3：DV専用のポートは除く。

＜16bit取り込み、Digital ICE/ROC/GEM使用時の使用環境＞
Pentium II 以上（Pentium III以上を推奨）/RAM:256MB以上の実装メモリ（512MB以上を推奨）
/ハードディスクの空き容量：6GB以上（8GB以上を推奨）

必要なシステム — Macintosh

	Apple Macintoshシリーズ（*1）	
インターフェース	Ultra SCSI	FireWire (IEEE 1394)
コンピュータ	PowerPC 604以上	PowerPC G3以上を搭載し、FireWireポートが標準搭載された機種
OS	Mac OS 8.6～**Mac OS 9.2.1**	
必要メモリ	空きメモリとして64MB以上 （アプリケーション、OSに必要なメモリを除く空き容量）	
モニタ	1024×768ドット以上を推奨、640×480ドットでも使用可能 色数32,000色以上	
ハードディスク空き容量	作業領域として、約2GB以上の空き領域が確保できること	
CD-ROMドライブ	必須（ソフトウェア インストール時）	
Plug-inドライバ使用時の動作確認済アプリケーション	Adobe Photoshop 5.0.2/5.5/6.0 日本語版 Adobe Photoshop 5.0 LE	
推奨ボード	アダプテックジャパン株式会社： PowerDomain 2940UW、 PowerDomain 2940U2W、 PowerDomain 2930U、 PowerDomain 29160N	パソコンに標準搭載されたFireWireポート（*2）

*1：ノートパソコンは除く。
*2：ご使用のOSの環境にて、IEEE1394(FireWire)ポートがパソコンメーカーに動作保証されていること。
詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

＜16bit取り込み、Digital ICE/ROC/GEM使用時の使用環境＞
Macintosh: CPU: PowerPC G3以上（Power PC G4を推奨）/RAM:空きメモリとして256MB以上
（アプリケーションソフト、OSに必要なメモリを除く空きメモリ容量）（512MB以上を推奨）
/ハードディスクの空き容量：6GB以上（8GB以上を推奨）

製品本体の各部名称

❶ フィルムホルダ挿入口

❷ インジケータランプ

❸ イジェクトボタン

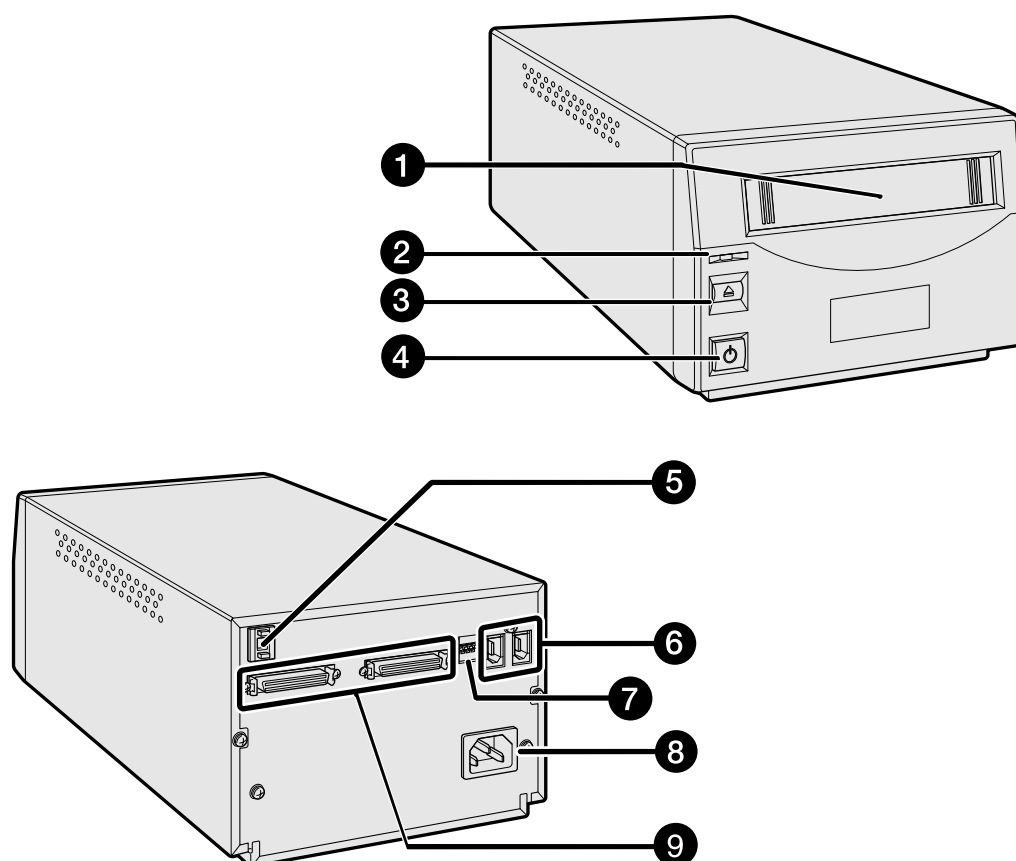
❹ 電源スイッチ

❺ SCSI IDスイッチ

❻ IEEE1394インターフェイスコネクタ

❼ ディップスイッチ

❽ AC電源入力部

❾ SCSIインターフェイスコネクタ

■Windows® 搭載機種の場合

1．光学固定ねじをはずします（17ページ）

▼

2．ディップスイッチで接続インターフェイスを選びます（18ページ）

▼

3．パーソナルコンピュータにSCSIまたはIEEE1394ケーブルで接続します。
SCSIインターフェイスで接続する場合（19ページ）
IEEE1394インターフェイスで接続する場合（22ページ）

▼

4．付属ドライバソフトウェアのインストール（24ページ）

■Macintoshの場合

1．光学固定ねじをはずします（17ページ）

▼

2．ディップスイッチで接続インターフェイスを選びます（18ページ）

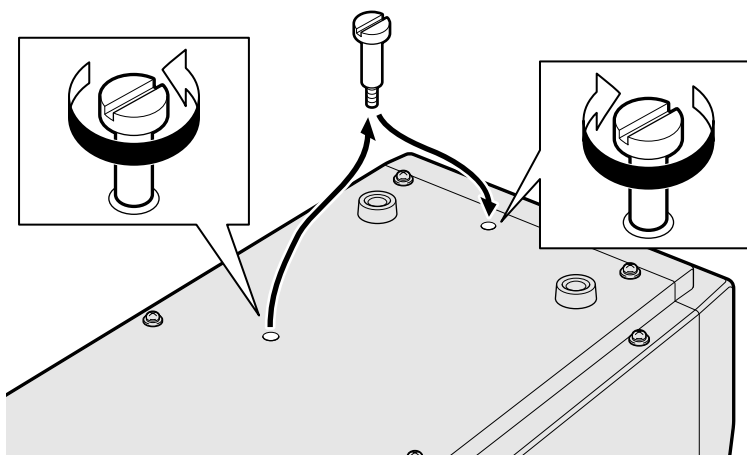
▼

4．パーソナルコンピュータにSCSIまたはIEEE1394ケーブルで接続します。
SCSIインターフェイスで接続する場合（19ページ）
IEEE1394インターフェイスで接続する場合（22ページ）

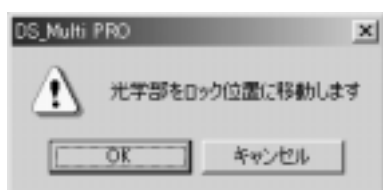
▼

2．付属ドライバソフトウェアのインストール（27ページ）

光学固定ねじを取りはずす

**本機底面に、部品を保護するために、光学固定ねじが取り付けられています。
本機を初めて使うときは、本機底面にある光学固定ねじを取りはずし、図の位置に取り付けてください。**

本機を持ち運ぶときは

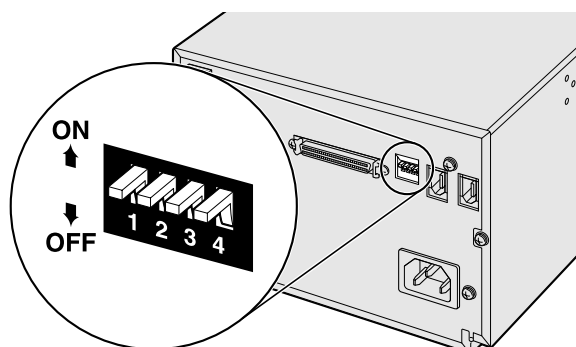
**本機をセットアップ後に持ち運ぶときは、部品を保護するために光学部を固定してください。
以下の手順にしたがって、光学部を固定位置まで移動させ、本機底面の光学固定ねじを本機購入時の位置に取り付けてください。**

1 **DS Multi PROドライバーソフトウェアを起動し（31または33ページ参照）、Windowsの場合：Ctrlキー、Shiftキー、Lキーを同時に押します。Macintoshの場合：*Command* ⌘キー、Shiftキー、Lキーを同時に押します。**

2 **「光学部をロック位置に移動します」と表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

3 **「移動が完了しました
本体の電源を切り、本体底面のロックねじをしめてください」
と表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

●本機の電源を切り、ケーブル類を取り外して光学固定ねじを本機購入時の位置に取り付けてください。

ディップスイッチの設定

本機をパーソナルコンピュータに接続する前に、接続するインターフェースを確認し、ディップスイッチの「4」で設定を行ってください。あわせて、他のディプスイッチの設定も行ってください。
IEEE1394インターフェイスはパーソナルコンピュータのOSがWindows® 2000 Professional、MeまたはMacintosh Mac OS 以外では使用することはできません。

スイッチ番号	機　能	ON（上側）	OFF（下側）
1	SCSIターミネータ	ON	OFF
2	オートパワーセーブ	ON	OFF
3	―	―	―
4	インターフェースの選択	SCSI	IEEE1394

スイッチ1　SCSIターミネータ

本機をパーソナルコンピュータのSCSIコネクタに接続するときに設定します。本機がSCSI機器の終端にある場合、「ON」（上側）に設定します。初期設定は「ON」です。

スイッチ2　オートパワーセーブ

約2時間使用しないときに、スキャン用蛍光灯を自動的に消灯させる場合、「ON」（上側）に設定します。節電とスキャン用蛍光灯の寿命を延ばすために、「ON」にすることをお勧めします。初期設定は「ON」です。

スイッチ3　未使用

スイッチ4　インターフェースの選択

本機をパーソナルコンピュータのSCSIコネクタに接続するか、IEEE1394コネクタに接続するか選択します。SCSIコネクタと、IEEE1394コネクタを同時に使用することはできません。初期設定は「SCSI」です。

パーソナルコンピュータにSCSI接続

SCSI ID番号の設定

一台のパーソナルコンピュータに接続するSCSI機器には、パーソナルコンピュータがそれぞれの機器を間違えずに認識できるように、0番から7番までのSCSI ID番号を重複せずに割り当てる必要があります。
ただし、パーソナルコンピュータによってあらかじめ割り当てられている番号があります(下表参照)。これらの番号は本機では使用できません。

	あらかじめ割り当てられているID番号
PC/AT互換機、PC-98NX、	7番(SCSIホストアダプタ)
Macintosh	0番(内蔵ハードディスク)*1 3番(内蔵CD-ROMドライブ)*2 7番(Macintosh本体)

*1 一部のMacintoshでは、内蔵ハードディスクにSCSIタイプではなくIDEタイプのものを使用している機種があります。これらの機種では、0番は空き番号となっています。
*2 一部のMacintoshでは、SCSIバスを内部と外部で2つもっています。これらの機種では、外部バスの3番は空き番号となっています。

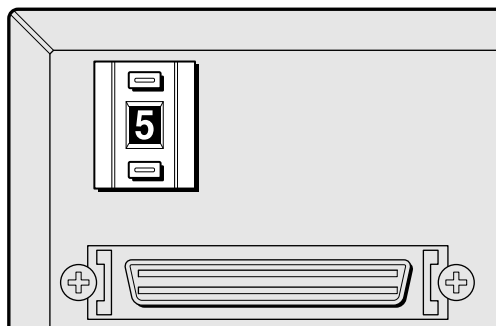
もし、パーソナルコンピュータに他のSCSI機器が接続されている場合は、それらの機器に割り当てたSCSI IDを確認の上、未使用の番号を次の方法で本装置に設定してください。

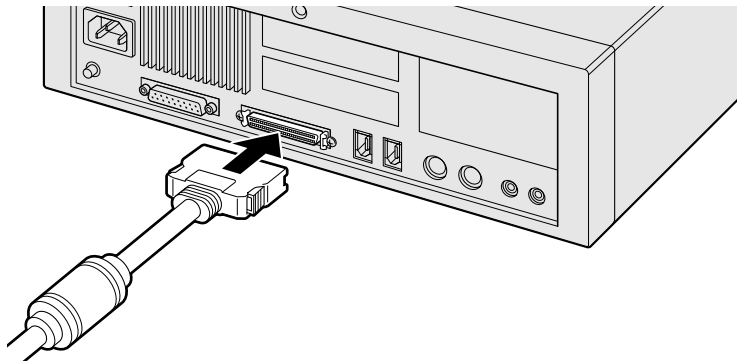
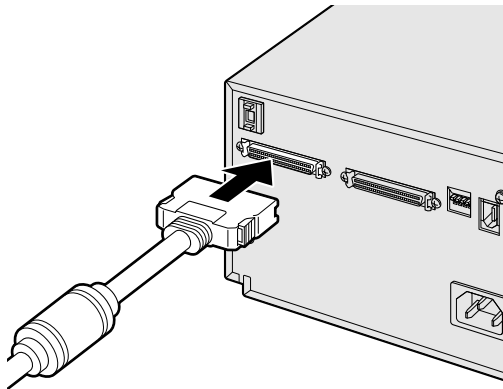
1 パーソナルコンピュータ、本機を含め、すべての接続機器の電源を切ります。

2 ディップスイッチ4でインターフェースの選択が「ON」、SCSIになっていることを確認してください。

3 本機に設定するSCSI ID番号を確認します。

4 SCSI ID番号選択ボタンを使って、SCSI ID番号を設定します。

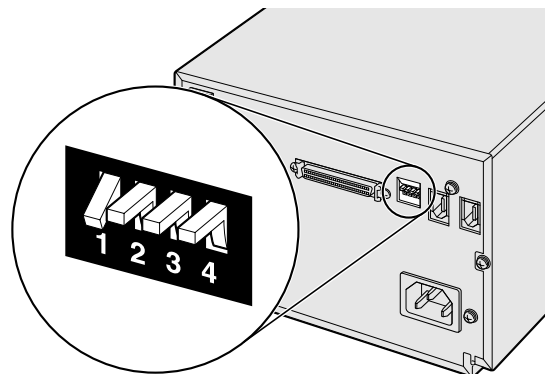
●他のSCSI機器と重複しないSCSI ID番号を設定してください。

本製品には、SCSIケーブルが付属していません。お使いのパーソナルコンピュータまたは接続する周辺機器のSCSI端子形状（本機側はDSUBハーフピッチ50P端子）を確認してお買い求めください。

注意： 本機を接続するときは、パーソナルコンピュータ、本機を含め、すべての接続機器の電源を切ってください。

1 本機を平らな場所に置きます。

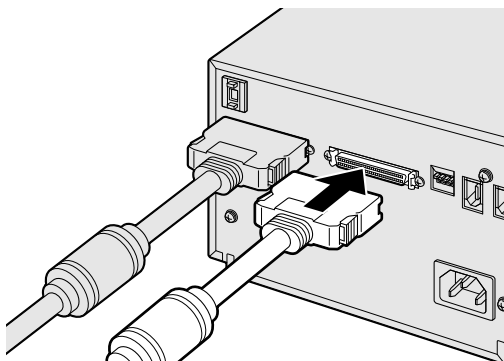
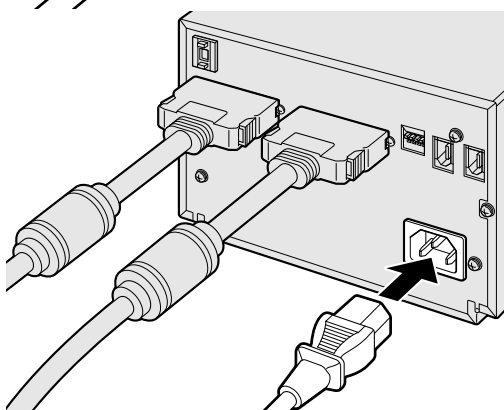
2 SCSIケーブルを、本機背面のSCSIポートに接続します。

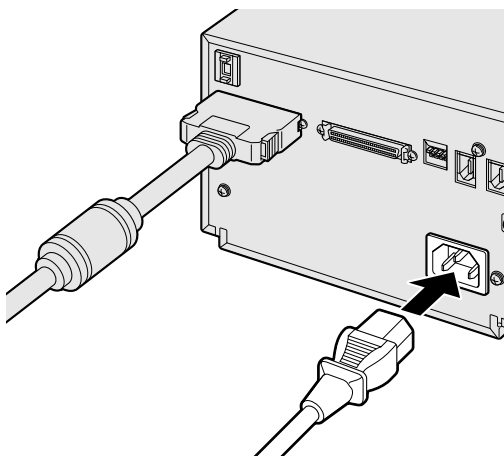
●2つあるSCSIポート（DSUBハーフピッチ50P）のどちらに接続しても構いません。

3 SCSIケーブルのもう一端を、パーソナルコンピュータのSCSIポートに接続します。

他のSCSI機器を本機に接続するときは

4 ディップスイッチ1「OFF」の設定を確認します（18ページ参照）。

（次ページに続く ☞）

パーソナルコンピュータにSCSI接続 - 続き

5 **他のSCSI機器に接続したSCSIケーブルを、本機背面のSCSIポートに接続します。**

6 **AC電源コードを本機背面の電源入力部に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。**

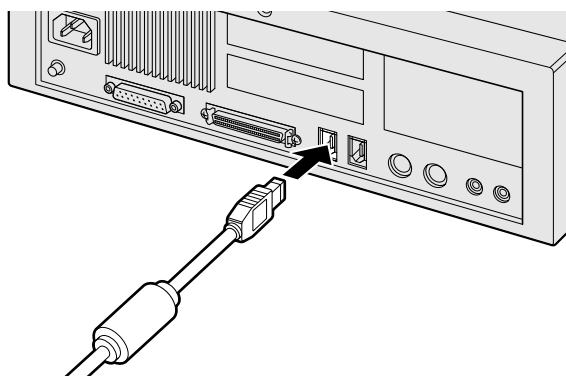
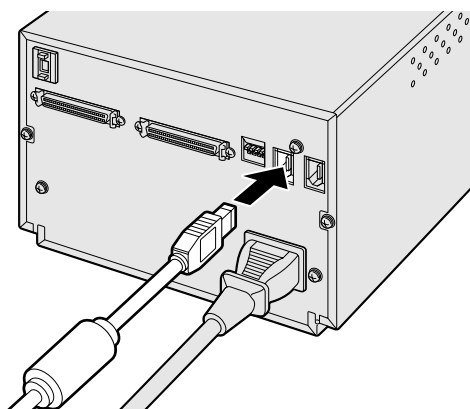
他のSCSI機器を接続しないときは

4 **ディップスイッチ1「ON」の設定を確認します（18ページ参照）。**

●本機の初期設定は「ON」に設定されています。

5 **AC電源コードを本機背面の電源入力部に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。**

パーソナルコンピュータにIEEE1394接続

パーソナルコンピュータにIEEE1394コネクタがあり、そのパーソナルコンピュータのOSにWindows®Me、Windows®2000 ProfessionalまたはMacintosh Mac OS を使用しているときは、IEEE1394インターフェース（132ページ参照）を使用することができます。
本製品には、IEEE1394ケーブルが付属していません。お使いのパーソナルコンピュータまたは接続する周辺機器のIEEE1394コネクタ端子形状（本機側は6ピン端子）を確認してお買い求めください。
アップル社のMacintoshではIEEE1394インターフェースを「FireWire」と呼称しています。よってその関連周辺機器のインターフェイス名も「FireWire」と呼ばれる場合があります。

本器をIEEE1394インターフェイスでパーソナルコンピュータに接続する前に、DiMAGE Scan Multi PRO のドライバソフトウェアをインストールしてください（24、27ページ参照）。

1 本機を平らな場所に置きます。

2 ディップスイッチ4でインターフェースの選択が「OFF」、IEEE1394になっていることを確認してください。

3 IEEE1394ケーブルを、本機背面のIEEE1394ポートに接続します。

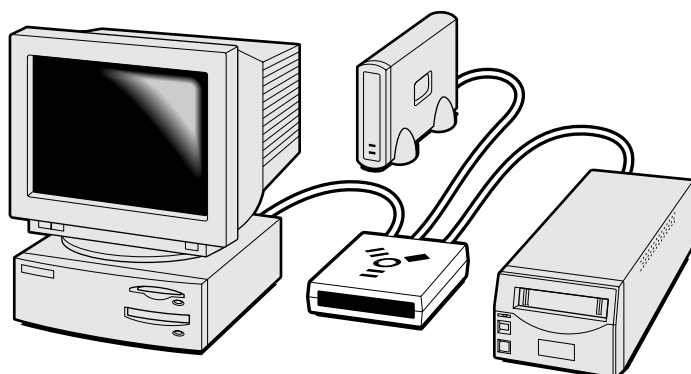
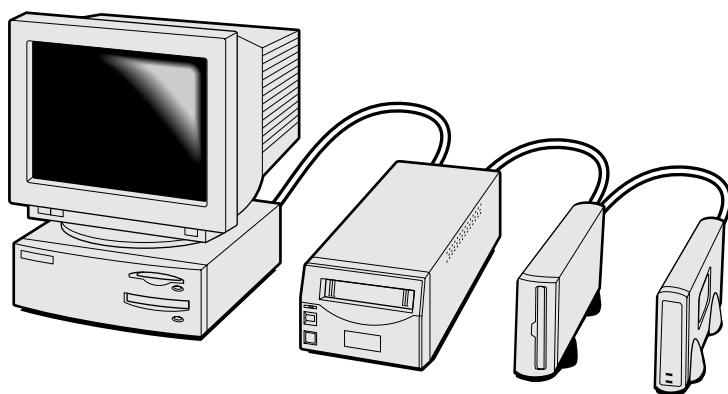
- 2つあるIEEE1394ポートのどちらに接続しても構いません。

4 IEEE1394ケーブルのもう一端を、パーソナルコンピュータのIEEE1394ポートに接続します。

- 本機以外、パーソナルコンピュータのポート数以上にIEEE1394周辺機器を接続するときは、パーソナルコンピュータと本機の間にIEEE1394ハブを使用するなど、接続する機器をできる限り少なくしてください。

（次ページに続く ☞）

パーソナルコンピュータにIEEE1394接続 - 続き

IEEE1394ハブを使用して接続したときの例

IEEE1394機器を直列に接続したときの例

●接続最大台数は63台までです。ただし、ディジーチェーンの場合は16台までです。
●1本の接続ケーブルの長さは最大4.5メートルです。
●ループ接続はできません。
●PCのIEEE1394ポートのコネクタが4pinで、本機の後ろに他の機器が接続されている場合、本機の電源がOFFの状態では、後ろに接続されている機器は認識されません。このため本機の電源をONにしてご使用ください。
●IEEE1394接続の記憶装置をご使用の場合、Utilityソフトウェアでスキャンしたデータを直接IEEE1394接続の記憶装置に保存する使用方法はお勧めできません。

ドライバソフトウェアのインストール

■Windows® 搭載機種の場合

- **ここでは、パーソナルコンピュータのハードディスクをCドライブ、CD-ROMドライブをDドライブとして説明します。**
- **セットアッププログラムを起動する前に、起動しているアプリケーションすべて終了してください。システムファイルや共有ファイルが使用中となっていると正常にセットアップができない場合があります。**

1 CD-ROMドライブに、付属のDiMAGE Scan Multi PROを挿入します。

- しばらくするとセットアップのスプラッシュスクリーンが現れます。

2 ［DiMAGE Scan Multi PRO インストーラの起動］ボタンをクリックします。

- しばらくするとプログラムの解凍画面が現れて、InstallShield Wizardプログラム画面が現れます。
- DiMAGE Scan Multi PRO CD-ROMの内容を確認したい場合は、［CD 参照］ボタンをクリックします。

InstallShieldウィザードプログラムが自動的に起動しない場合

以下の手順で操作してください。

①［スタート］→［ファイル名を指定して実行(R)...］を選択します。
②ファイル名を指定して実行ウィンドウの［参照(B)...］ボタンをクリックします。
③ファイルの参照ウィンドウの「ファイルの場所 (I)」のリストボックスから、CD-ROMドライブ(DS_MultiPRO (D:)を選択します。
④「Driver」フォルダを選び、［開く(O)］をクリックして開きます。
⑤「Japanese」フォルダを選び、［開く(O)］をクリックして開きます。
⑥「Setup.exe」をクリックします。
ファイルの場所が「D:\Driver\Japanese\Setup.exe」を確認して［OK］ボタンをクリックします。

- しばらくするとセットアップのスプラッシュスクリーンが現れます。以降は手順 3 に続きます。
- ドライブ名はご使用のシステム環境によって異なります。

（次ページに続く ☞）

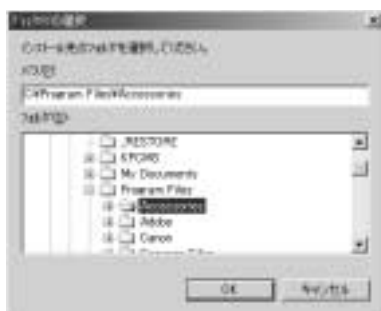
3 [次へ(N)>] ボタンをクリックします。

●ソフトウェアの「**使用許諾契約**」が表示されます。

4 全文をよく読んで、承諾される場合は、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。

●ソフトウェアのインストール先のフォルダが表示されます。ソフトウェア使用許諾契約の内容に承諾できない場合は、**[いいえ(N)]** ボタンをクリックしてください。セットアップは終了します。

5 表示される初期設定のフォルダ「C:\Program Files\DS_MultiPRO」にソフトウェアをインストールする場合は、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

●ドライブ名（先頭のアルファベット、例C：）はご使用のシステム環境によって変わります。
「セットアップタイプ選択」の画面が現れます。
●別のフォルダにインストールする場合は、**[参照(R)...]** をクリックしてください。
「フォルダ選択」のウィンドウが表示されます。
インストール先フォルダを指定して、**[OK]** ボタンをクリックし、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックしてください。

6 **インストールするコンポーネントを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。**

●通常は、すべての「**Twain data souce**」を選択してください。
もし使用しないコンポーネントある場合はチェック✓を外してください。

●[**次へ(N)>**]ボタンをクリックすると、「**プログラムフォルダの選択**」の画面が現れます。

7 **プログラムアイコンフォルダを選択し、[次へ(N)>]ボタンをクリックします。**

●既存のフォルダまたは新たなフォルダを作成できます。

●[**次へ(N)>**]ボタンをクリックすると、プログラムのコピーが自動的に始まり、しばらくすると「**InstallShield ウィザードの完了**」の画面が現れます。

8 **「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」のラジオボタンをチェックし、[完了]ボタンをクリックします。**

●他にアプリケーションプログラムソフトをインストールする場合は、「**いいえ、あとでコンピュータを再起動します。**」のラジオボタンをチェックして、[**完了**]ボタンをクリックしてください。

●インストールが終了し、パーソナルコンピュータが再起動されます。

●セットアッププログラムの指示どうりにソフトウェアインストールした場合、本紙157ページのようにファイル/フォルダがインストールされます。本ソフトウェアをご使用になる前に「Readme」ファイルの内容をよくお読みください。

■Macintoshの場合

●セットアッププログラムを起動する前に、起動しているアプリケーションすべて終了してください。システムファイルや共有ファイルが使用中となっていると正常にセットアップができない場合があります。

1 **CD-ROMドライブに付属のDiMAGE Scan Multi PRO CD-ROMを挿入します。**

2 **CD-ROMがマウントされたら、そのアイコン（左図）をダブルクリックして開きます。**

●ドライバー（Driver）のアイコンが現れます。

3 **［Driver］のアイコンをダブルクリックして開きます。**

●言語のアイコンがいくつか現れます。

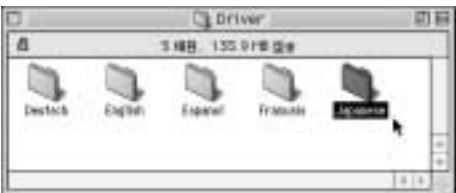
4 **［Japanese］のアイコンをダブルクリックして開きます。**

●インストーラ（Installer）のアイコンが現れます。

5 **［DS MultiPRO Installer］のアイコンをダブルクリックして開きます。**

●しばらくするとセットアップのスプラッシュスクリーンが現れます。

6 **［続ける］ボタンをクリックします。**

●ソフトウェアの「**ライセンス**」の画面が現れます。

7 全文をよく読んで、同意される場合は、［同意］ボタンをクリックしてください。

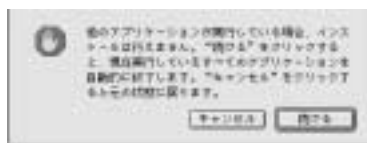
●ライセンス文の内容に同意できない場合は、**［不同意］**ボタンをクリックしてください。セットアップは終了します。

8 「インストールの場所」に表示されたインストール先を確認します。

●インストール先を変更したい場合は、
① **［ディスク切替］**をクリックしてインストールするボリューム（ディスク）を選びます。
②「**インストールの場所**」の選択リストボックスから**［フォルダ選択...］**を選び、インストール先フォルダを指定します。

簡易インストールでは、すべてのファイルがインストールされます。ユーティリティソフトウェアだけをインストールしたい、プラグインモジュールだけを使いたい、という場合は、カスタムインストールでどちらか一方のファイルだけをインストールできます。
①インストール方法選択の選択リストボックスから**［カスタムインストール...］**を選びます。
②インストールしたいプログラムの左のチェックボックス（□）をクリックして、中に×を表示させます。

9 ［インストール］ボタンをクリックします。

●インストールが始まります。後は画面の指示にしたがってください。
インストールが完了すると、それを表わすメッセージが現れます。
●他にアプリケーションソフトを起動してると、それを表わすメッセージが現れます。**［続ける］**を押してください。

10 ［再起動］または［終了］ボタンをクリックします。

●他にアプリケーションプログラムソフトをインストールする場合は、**［続ける］**ボタンをクリックしてください。
●セットアップが終了します。

（次ページに続く ☞）

Macintoshへのインストールが終了すると、指定したインストール先に DS MultiPRO というフォルダが作成され、その中にソフトウェアがインストールされています。

Adobe® Photoshop® 用Plug-In モジュールのインストール

1. **Adobe Photoshop が起動しているときは、終了させます。**
2. **Adobe Photoshop のフォルダを開きます。**
3. **Adobe Photoshop フォルダ内の［プラグイン］フォルダを開きます。**
4. **DS MultiPRO フォルダ内の［DS MultiPRO Plug-in］を、［プラグイン］フォルダ内にある［入出力］フォルダにドラッグコピーします。**

●本ソフトウェアをご使用になる前に「Readme」ファイルの内容をよくお読みください。

5. **インストールが完了し、それぞれのフォルダを閉じパーソナルコンピュータを再起動します。**

Windows搭載機種でのセットアップ時のご注意

9229-2887-24 X-A110

ドライバソフトウェアのインストールが完了するまでスキャナの電源はONにしないでください。

ドライバソフトウェアをインストールする前にスキャナの電源をONにした場合は、スキャナが正しく認識されない場合があります。

［注］Windows 2000 Professional /Windows NT4.0にドライバソフトウェアをインストールする場合は、管理者アカウント（Administrator）でログオンした状態で行なってください。

スキャナが正しく認識されていない場合は、

インストール完了後に、以下の手順でスキャナが正しく認識されているかご確認ください。

（Windows NT 4.0では以下の確認は不要です。）

1. デスクトップの［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。
2. ［システムのプロパティ］の画面が表示されますので、画面上の［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
（Windows 2000 Professionalの場合は、［システムのプロパティ］画面の［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。）
3. スキャナが正しく認識されている場合は［イメージングデバイス］の一覧に、
・SCSI接続では、「Minolta #2887」（Windows 2000 Professionalの場合は、「Minolta DiMAGE Scan Multi PRO」）と表示されます。
・IEEE1394接続では、［イメージングデバイス］の一覧に「Minolta DiMAGE Scan Multi PRO」と表示されます。
（［イメージングデバイス］の左が［+］マークになっている場合は、［+］マークをクリックしてください。イメージングデバイスの一覧が表示されます。）

スキャナが正しく認識されていない場合は、［その他のデバイス］の一覧に、

・SCSI接続では、「Minolta #2887」（Windows 2000 Professionalの場合は「Minolta #2887 SCSI Scanner Device」）と表示されます。
・IEEE1394接続では、「minolta SCANNER 2887 IEEE1394 SBP2 Device」と表示されます。

この場合は、以下（4.～6.）の操作を行ってください。

4. ［その他のデバイス］の一覧に表示されている「Minolta #2887」、「Minolta #2887 SCSI Scanner Device」、「minolta SCANNER 2887 IEEE1394 SBP2 Device」のいずれか（OS、インターフェースによって異なります）を右クリックし、［削除］を選択します。
5. ［デバイス削除の確認］の画面が表示されますので、画面上の［OK］ボタンをクリックします。
6. パーソナルコンピュータを再起動します。
（Windows 2000 Professionalでは、起動時に［デジタル署名が見つかりませんでした］の画面が表示される場合がありますが、この画面が表示された場合は、画面上の［はい］ボタンをクリックしてください。）

再起動後に、上記の1.～3.の手順でスキャナが正しく認識されていることをご確認ください。

操作編 I　詳細操作でのインデックススキャンまで

本製品は、Adobe® Photoshop®をはじめとする画像処理ソフトウェアから使用する、詳細操作ができるTWAINドライバ（Windows）/ Photoshop Plug-in（Macintosh）と、単独で使用できるユーティリティのドライバソフトウェアがあります。

インデックススキャンする操作の流れ

1．ソフトウェアの起動
Windows®の場合（31ページ）
Macintoshの場合（33ページ）
ソフトウェアの「メインウィンドウ」各部名称（34～35ページ）

2．「環境設定」をする（36～38ページ）

3．ホルダにフィルムをセットする（39～49ページ）

4．ホルダをスキャナにセットする（50ページ）

5．ソフトウェア画面でフィルムのフォーマットとタイプの選択する（51ページ）

6．インデックスタブの選択と各部名称（54ページ）
インデックススキャンする（55ページ）
ウィンドウサイズの変更・コマの選択・コマの順序の逆表示・インデックス画像の回転・インデックス画像の反転・全コマ一括表示・インデックス画像の保存・インデックスファイルの保存・インデックスファイルの読み込み

ソフトウェアの起動

■ Windows®搭載機種の場合

★TWAIN対応画像処理アプリケーションから呼び出して起動★

ここでは、画像処理アプリケーションとして、Adobe® Photoshop® 6.0を使用する場合を例に説明しています。その他のAdobe® Photoshop® 画面表示やコマンド、操作が異なる場合があります。また他の画像処理アプリケーションでは、画面表示やコマンド、操作が異なります。詳しくは画像処理アプリケーションに付属のマニュアル等をご覧ください。

1 DiMAGE Scan Multi PRO の電源を入れます。

2 パーソナルコンピュータの電源を入れ、Windows®を起動させます。

3 続いて Adobe® Photoshop® を起動させます。

4

［ファイル(F)］→［読み込み(M)］→［DS_Multi PRO 1.0...］を選びます。

●ソフトウェアが起動し、メインウィンドウ（34ページ参照）が現れます。

Ver.6以前のAdobe Photoshop の場合

①［ファイル(F)］→［入力用プラグ(M)］→［TWAIN_32対応機器の選択...］を選びます。
●TWAINソースの選択画面が現れます。

②ソースリストの中から DS_Multi PRO 1.0...を選び、［選択］をクリックします。

③［ファイル(F)］→［入力用プラグ(M)］→［TWAIN_32対応機器からの入力...］を選びます。

★ユーティリティソフトウェアの起動★
スキャンした画像を画像補正アプリケーションソフトなどを使って補正を行わなずにスキャンしたままのデータを必要とする場合、お使いのパーソナルコンピュータメモリ利用制約の場合など、画像のスキャンと保存のみを目的とする場合は、ユーティリティソフトウェアが使え、便利です。

前ページの 1 と 2 の操作のあと［スタート］→［プログラム(P)］→［Minolta DiMAGE Scan Multi PRO ver.1.0］→［DS MultiPRO Utility］を選びます。

●ソフトウェアが起動し、メインウィンドウ（34ページ参照）が現れます。

■ Macintoshの場合

★Adobe® Photoshop® の Plug-In として起動★

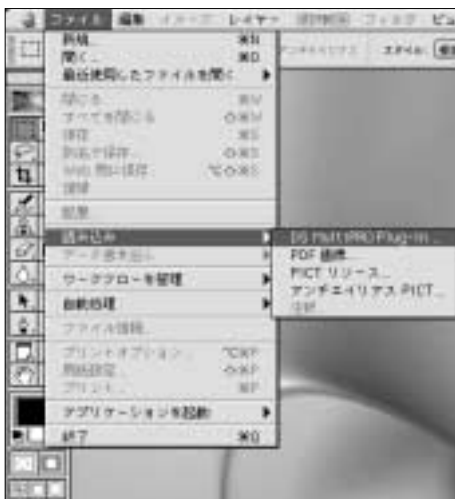
ここでは、Adobe® Photoshop® 6.0の入出力フォルダに DS MultiPRO Plug-In がインストールされている場合を例に説明しています。DS MultiPRO Plug-In モジュールのインストールのしかたについては、本書29ページをご覧ください。

1 DiMAGE Scan Multi PRO の電源を入れます。

2 Macintoshの電源を入れ、Mac OS を起動させます。

3 続いて Adobe® Photoshop® 6.0を起動させます。

4 ［ファイル］→［読み込み］→［DS MultiPRO Plug-in...］を選びます。

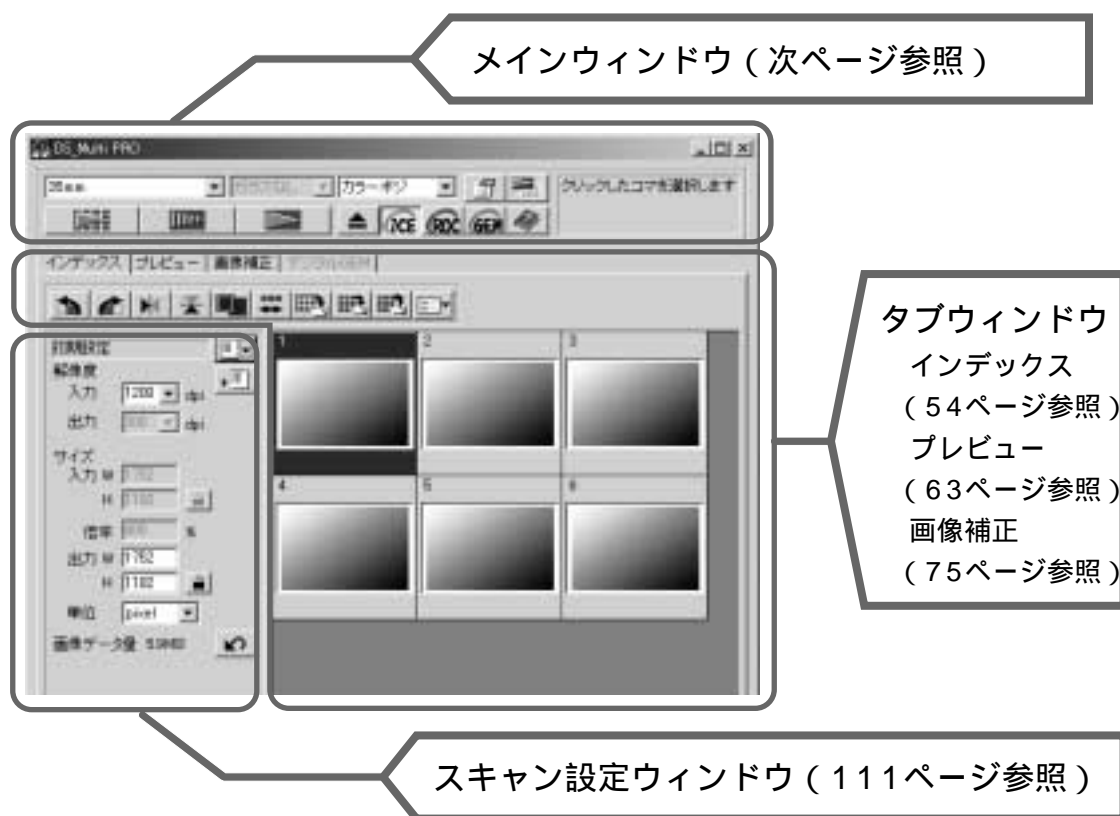
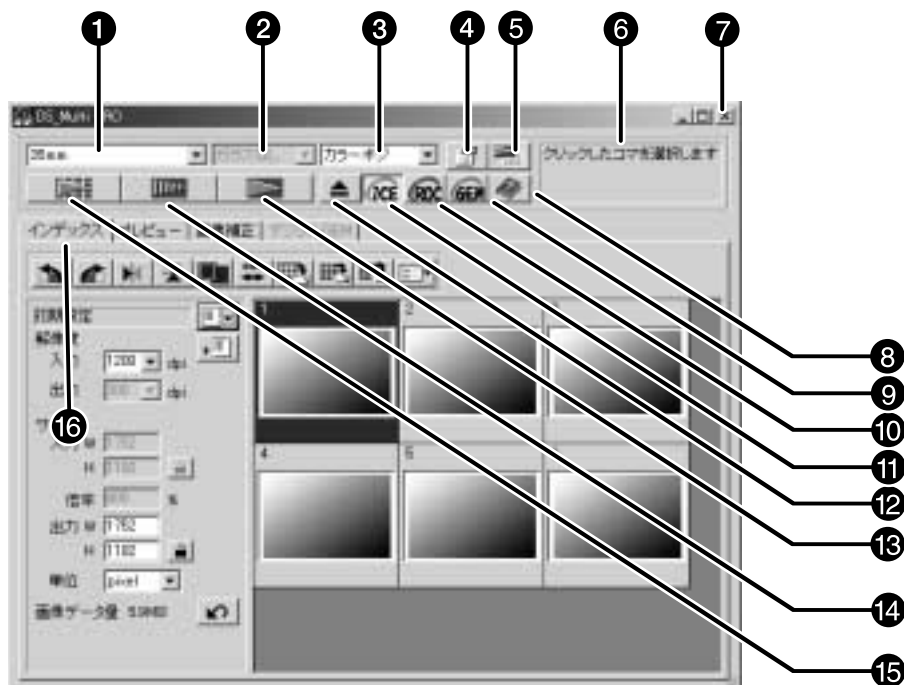
●ソフトウェアが起動し、しばらくした後、メインウィンドウ（次ページ）が現れます。

★ユーティリティソフトウェアの起動★

スキャンした画像を画像補正アプリケーションソフトなどを使って補正を行わなずにスキャンしたままのデータを必要とする場合など、画像のスキャンと保存のみを目的とする場合、お使いのパーソナルコンピュータメモリ利用制約の場合など、画像のスキャンと保存のみを目的とする場合は、ユーティリティソフトウェアが使え、便利です。

このページの1と2の操作のあと［DS MultiPRO］フォルダをダブルクリックして開く→［DS MultiPRO Utility］アイコンをダブルクリックします。

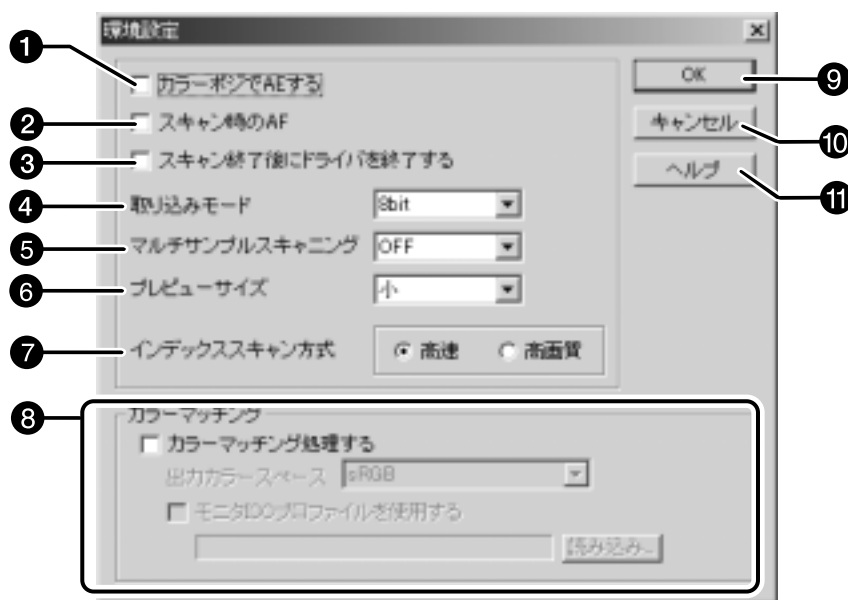
●ソフトウェアが起動し、メインウィンドウ（次ページ）が現れます。

メインウィンドウ

ソフトウェアを起動させると、下図のメインウィンドウが現れます。

メインウィンドウパートの各部名称（上部）

❶フィルムフォーマット選択リストボックス
❷フィルムホルダタイプ選択リストボックス
❸フィルムタイプ選択リストボックス
❹環境設定ボタン
❺カスタムウィザードボタン
❻ステータス表示
❼閉じるボタン（Macintosh版ではウィンドウの左上）
❽ヘルプボタン（Macintosh版では ）
❾デジタルGEMボタン
❿デジタルROCボタン
⓫デジタルICEボタン
⓬イジェクトボタン
⓭スキャンボタン
⓮プレビューボタン
⓯インデックススキャンボタン
⓰タブ：インデックス、プレビュー、画像補正、のタブ切替えができます。

環境設定をする

メインウィンドウの環境設定ボタン をクリックします。

環境設定ウインドウが表示され、次の項目を設定することができます。

文中の◎は、それが初期設定（お客様が初めてこのソフトウェアをお使いになられたときの設定）であることを表わします。

❶ カラーポジでAEする

カラーポジフィルムのスキャン時にAE（自動露出）するかしないかを設定します。

通常ポジフィルムでは、撮影時に露出や色が補正されていることが多いため、初期設定ではスキャンの際にAEを行わないように設定されています（チェックボックス□にチェックマーク✓は付いていません）。

しかし、露出不足気味のポジフィルムをスキャンする場合や、AE ロック/AE エリアロックの機能（68、69ページ）を使う場合は、チェックボックス□をクリックしてチェックマーク✓を付け、AEを行うように設定します。

❷ スキャン時のAF

プレビュースキャンおよび本スキャン時に常にAF （オートフォーカス）するかしないかを設定します。

初期設定では、スキャン速度向上のため、スキャンごとにAF は行わないように設定されています（チェックボックス□にチェックマーク✓は付いていません）。チェックボックス□をクリックしてチェックマーク✓を付けると、プレビュースキャン/本スキャンの度に、画像の中央部分でフィルム面にピント合わせを行います。

また、Digital ICE 、Digital ROC 、Digital GEM の機能（102 ～109ページ）を使う際は、チェックボックス□をクリックしてチェックマーク✓を付け、スキャンごとにAF を行うように設定しておくことをおすすめします。

（次ページに続く ☞）

❸スキャン終了後にドライバを終了する

TWAIN ドライバまたはPlug‐in モジュールと画像処理アプリケーションをお使いの場合、スキャン終了後にドライバソフトを終了するかしないかを設定します。

初期設定では、「終了しない」ように設定されています。複数枚の画像を連続スキャンして AdobePhotoshop などの画像処理アプリケーションに取り込む場合などもこの設定にします。逆に、1コマスキャンするごとに、その画像に画像処理アプリケーションで何らかのレタッチを加える、という作業をするときは、チェックボックス□をクリックしてチェックマーク✓を付け、「終了する」ように設定しておきます。

❹取り込みモード

スキャンしたデータを、ファイルまたはアプリケーションソフトウェアへ出力する際の形式を設定します。以下の選択リストボックスの選択肢から1 つを選びます。

◎ 8 bit	**RGB各色 8bitの 24bit画像**
16 bit	**RGB各色 16bitの 48bit画像**
16 bit リニア	**RGB各色 16bitの 48bit画像で、ガンマ補正など全ての補正がされません。したがってネガフィルムをスキャンした場合、ネガ画像のまま出力されます。**

●ユーティリティソフトウェア使用時、16bit および 16bitリニアの設定では、TIFF形式で保存します。

●画像処理アプリケーションソフトによっては、16bitの画像を取り込めないものがあります。

❺マルチサンプルスキャニング

マルチサンプルスキャニング（あらかじめ露出をサンプリングしたデータを分析して、ノイズの少ないスキャン画像を得る機能）の形式を設定します。以下の選択リストボックスの選択肢から1 つを選びます。

◎ OFF	**マルチサンプルスキャニング機能を使用しません。**
2回	**2回スキャンを行います。**
4回	**4回スキャンを行います。**
8回	**8回スキャンを行います。**
16回	**16回スキャンを行います。**

●マルチサンプリングの回数が多くなるほどノイズが低減できますが、スキャンに要する時間は長くなります。

❻プレビューサイズ

プレビュー画像の表示サイズを選択します。以下の選択リストボックスの選択肢から1 つを選びます。

大	**プレビュースキャンした画像をそのまま表示します。**
◎ 小	**プレビュースキャンした画像を縮小して表示します。**

❼インデックススキャン方式

インデックススキャンには、「高速」と「高画質」インデックスの2種類があります。いずれかのラジオボタンをクリックして変更します。

◎ 高速　高速でインデックス画像を得るための方式です。インデックススキャン時にAF は行われず、1 コマごとに簡易AE のみを行って、インデックス画像を表示します。
35mmフィルムホルダ（FH-P1）でインデックススキャンする場合、スキャンするコマの順番が実際のフィルムのコマの順番と異なります。これは本機の特性でより高速にするための設定です。スキャンする順番はホルダに記載のある番号で2→1→3→4→6→5の順です。

高画質　1 コマごとにプレビュースキャンをして、そのプレビュー画像を縮小してインデックス表示します。そのためインデックス画像の表示に時間がかかりますが、プレビュー表示させたいインデックス画像をダブルクリックすると、瞬時にプレビュー画像が表示されます。プレビュースキャンのときにAF するかしないか、カラーポジフィルムでAE するかしないか、は左記「カラーポジでAE する」、「スキャン時のAF 」の設定にしたがいます。

❽カラーマッチング設定

スキャンして得た画像をパーソナルコンピュータのモニタで表示する場合、モニタの種類によって画像の色の見え方が異なります。カラーマッチングの設定では、スキャンして得た画像をお使いのモニタの種類に合わせる機能の形式を設定します。

カラーマッチングについて133ページに記載していますので参照してください。

●カラーマッチング機能をONにしたときはスキャン時間が長くなります。

❾OKボタン

すべてを設定したら［OK］ボタンをクリックします。設定が終了し操作画面に戻ります。

❿キャンセルボタン

設定した環境設定を取り消すときは［キャンセル］ボタンをクリックし環境設定ウィンドウを閉じます。

⓫ヘルプボタン

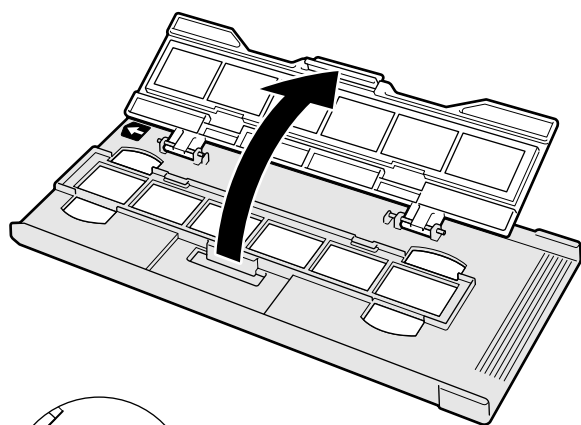
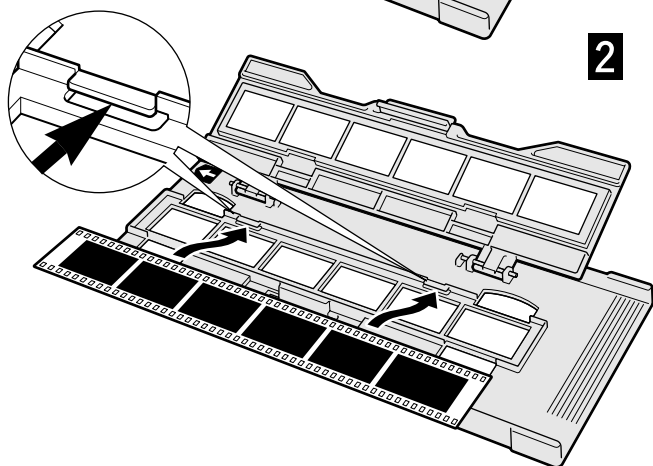
ヘルプファイルが必要な場合は［ヘルプ］ボタンをクリックしてヘルプファイルを起動します。

ホルダにフィルムをセットする

本製品には、3種類のフィルムホルダが付属しています。スキャンするフィルムの種類にあわせて、ホルダを選んでください。詳しくは、53ページの「使用可能フィルムとホルダの対応リスト」を参考にしてください。

●35mmフィルムホルダ（FH-P1）
●スライドマウントホルダ（SH-P1）
●ユニバーサルホルダ（UH-P1）

35mmフィルムホルダを使用する

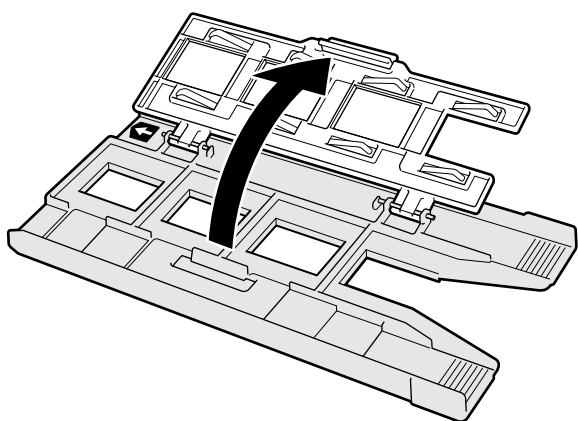
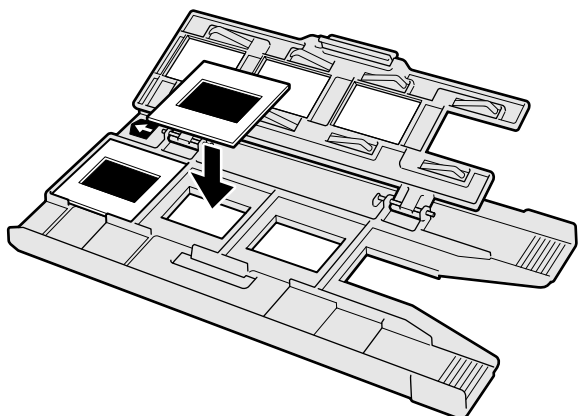
●35mmフィルムホルダFH-P1には6コマずつ切られたスリーブのフィルムがセットできます。
●フィルムを挿入する前に、ゴミ、ほこり等をブロアー等で取り除いてください。

1 フィルムホルダのフィルムカバーの「PULL」と書かれたつまみを持ち上げ、フィルムカバーを開けます。

2 フィルムのコマ番号が正しく読める向き（乳剤面を下）にして、フィルムをフィルムホルダにセットします。

●乳剤面を上にするとコマ番号が裏向きに見えます。
●フィルムホルダの画枠にフィルムの位置を合わせます。
●フィルムの端を図のように押さえ板の下に差し込みます。

3 フィルムホルダのカバーを確実に閉めます。

（スキャンするには50ページに続く ☞）

スライドマウントホルダを使用する（マウントフィルムの場合）

●スライドマウントホルダSH-P1には4コマのスライドフィルムが収まります。
●スライドマウントホルダは1.0mm～2.0mmの厚さのスライドマウントが使用できます。ガラス付きのスライドマウントは使用できません。
●フィルムを挿入する前に、ゴミ、ほこり等をブロアー等で取り除いてください。

1 スライドマウントホルダのフィルムカバーの「PULL」と書かれたつまみを持ち上げ、フィルムカバーを開けます。

2 スライドの乳剤面を下にし、横方向に置きスライドマウントホルダにセットします。

●スライドマウントホルダの画枠にフィルムの位置を合わせます。スライドを縦長方向にはセットしないでください。

3 スライドマウントホルダのカバーを確実に閉めます。

●4コマ目の画枠は、スライドホルダにスライドフィルムをセット後でも、フィルムカバーを持ち上げることなく、また本機へ挿入後のホルダを取りはずすことなくスライドフィルムを差し替えることができます。この場合スキャンする前に 、かならずプレビュースキャンをおこなってください。

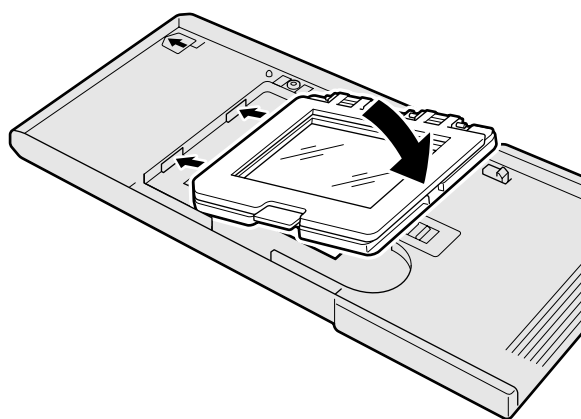
（スキャンするには50ページに続く ☞）

ユニバーサルホルダを使用する

以下のアタッチメントにあったフィルムをスキャンする場合は、ユニバーサルホルダ（UH-P1）を使用します。

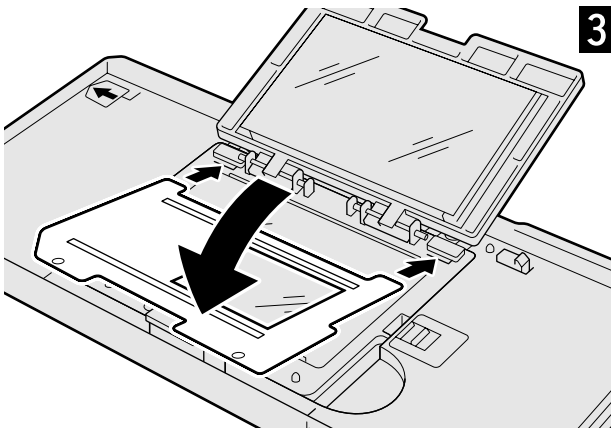
●ブローニ用アタッチメント（ガラスあり（HA-P1）、ガラスなし（HA-P2））
ブローニサイズ（6×4.5、6×6、6×7、6×8、6×9cm）のフィルムをスキャンするときに使います。
ガラスのあり、なしは、目的に合わせて選択してください。
ガラスあり：　フィルムを保護するときや、反りの大きなフィルムを平らにしてスキャンしたいときに使用します。
ガラスなし：　ガラスのあることをによる影響を回避したい場合、例えばガラスについたゴミやホコリを避けてスキャンしたいときなどに使用します。

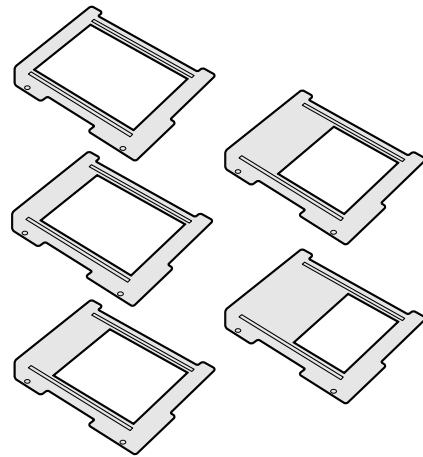
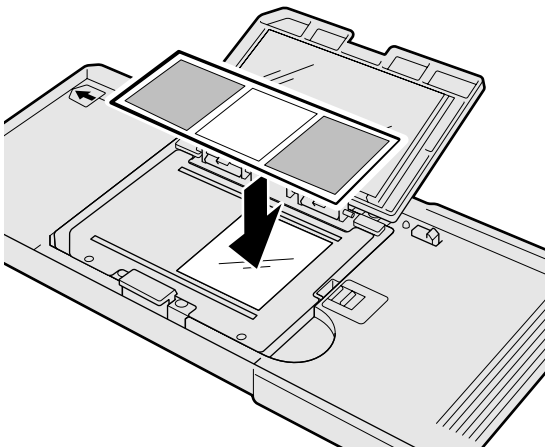
●マルチフォーマットアタッチメント（別売り、HA-P3）
電子顕微鏡フィルム、プレパラート、35mmフルパノラマフィルム、16mmフィルム、ベスト判（4×4cm）、カートリッジフィルム（24×24mm）、マイクロフィルムなどのカットフィルムをスキャンしたいときに使用します。

■ブローニ用アタッチメント（ガラスあり、HA-P1）を使用する

1 ブローニ用アタッチメントを、ユニバーサルホルダに取り付けます。

●アタッチメントは「PUSH」と書かれた文字が手前にくるようにします。
アタッチメントの左側にある2つのツメを図のようにユニバーサルホルダに指しこみ、次に右側を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。
●ホルダに他のアタッチメントがセットされているときは、先に取り外してください。

2 アタッチメントの「PUSH」を押しながら、フィルムカバーを持ち上げます。

●フィルムを置く前に、フィルムホルダ、アタッチメント、ガラス、マスクについたゴミやホコリをブロアーなどで取り除いてください。

3 セットするフィルム用のマスクを取り付けます。

●マスクは、6×4.5、6×6、6×7、6×8、6×9cmの5種類を同梱しています。フィルムに合わせてご使用ください。

●マスクの切り欠きが左下になるようにします。マスクの2つの穴に2本の位置決め用のピンがそれぞれ入るように、また、マスクのスリット部分に、フィルムホルダのフィルムガイドが入るように、マスクをアタッチメント上におきます。

4 フィルムの乳剤面を下にし、フィルムの下端をマスクのスリット部分から出たフィルムガイドにあわせて、マスク上に置きます。

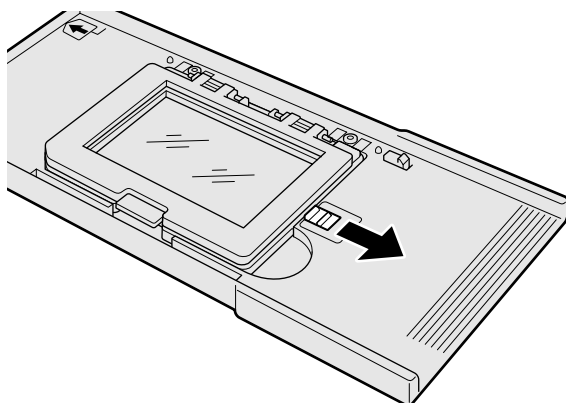
5 ブローニ用アタッチメントのカバーを確実に閉めます。

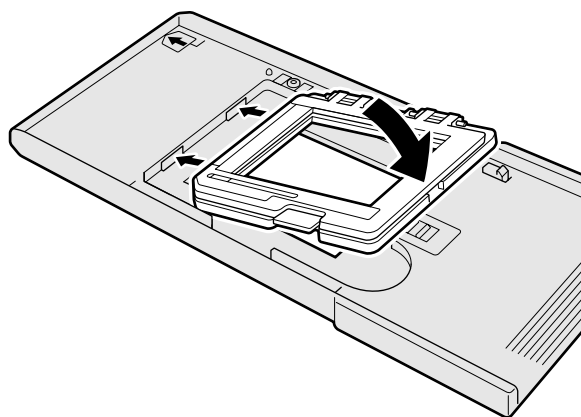
ブローニ用アタッチメント（ガラスあり）を使用してフィルムをスキャンするときは、かならず対応するマスクを取り付けてから、フィルムをセットしてください。ガラスプレート上に直接フィルムをセットしないでください。スキャンした画像に、光の干渉による同心円状の縞模様が発生することがあります。

（スキャンするには50ページに続く ☞）

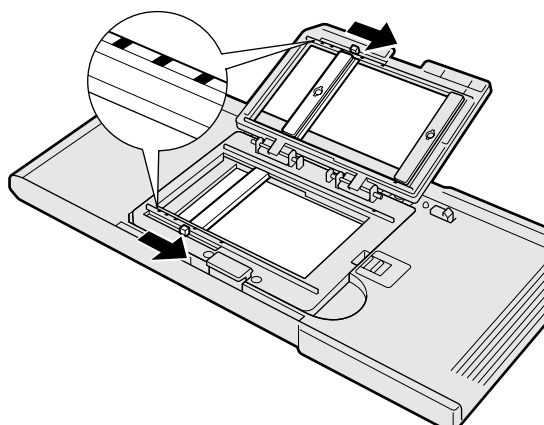
フィルムを取り出すには

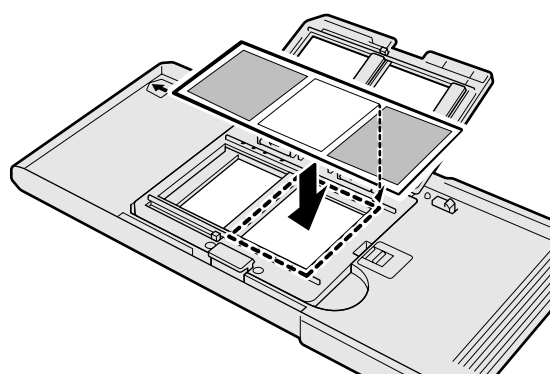
ブローニ用アタッチメントの「PUSH」を押しながら、フィルムカバーを持ち上げ、フィルムを取り出します。

ブローニ用アタッチメントを取りはずすには

ホルダのブローニ用アタッチメント右側にあるレバーを右にずらしながら、ブローニ用アタッチメント全体を持ち上げます。

■ブローニ用アタッチメント（ガラスなし、HA-P2）を使用する

1 ブローニ用アタッチメントを、ユニバーサルホルダに取り付けます。

- ●アタッチメントは「PUSH」と書かれた文字が上にくるようにします。
  アタッチメントの左側にある2つのツメをユニバーサルホルダに指しこみ、次に右側を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。
- ●ホルダに他のアタッチメントがセットされているときは、先に取り外してください。

2 アタッチメントの「PUSH」を押しながら、フィルムカバーを持ち上げます。

3 **セットするフィルムの大きさに合わせフィルムマウント用にスライダーの位置調整をします。**

- フィルムのスキャンする位置は向かって右側になります。フィルムのセット位置も右枠に合わせます。
  メインウィンドウ上のフィルムフォーマットの選択によって、スキャンする位置（幅）が決定します。
- フィルムの左側はスライダーでマウント位置を調整します。
  スライダーはアタッチメント底部、カバー部2カ所、またそれぞれ白いマーキングがあり、マーキングを目安に位置合わせを行ってください。
- フィルムを置く前に、フィルムホルダ、アタッチメント、ガラスについたゴミやホコリをブロアーなどで取り除いてください。

4 **フィルムの乳剤面を下にし、スキャンするフィルム実画面とマウントとの位置調整のうえ、アタッチメントの上に置きます。**

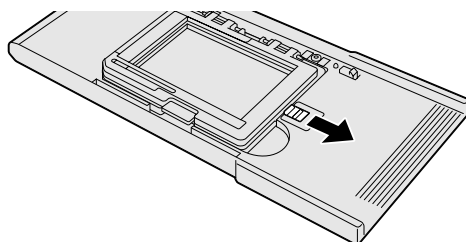
- フィルムのセット位置はフィルム実画面をマウントにけられないよう調整します。

5 **ブローニ用アタッチメントのカバーを確実に閉めます。**

（スキャンするには50ページに続く ☞）

フィルムを取り出すには

ブローニ用アタッチメントの「PUSH」を押しながら、フィルムカバーを持ち上げ、フィルムを取り出します。

ブローニ用アタッチメントを取りはずすには

ホルダのブローニ用アタッチメント右側にあるレバーを右にずらしながら、ブローニ用アタッチメント全体を持ち上げます。

■マルチフォーマットアタッチメント（別売り、HS-P1）を使用する

別売りのマルチフォーマットアタッチメントをお買い求め頂くことにより、16mmフィルムなどのブローニ以外の幅広い対応が可能となります。

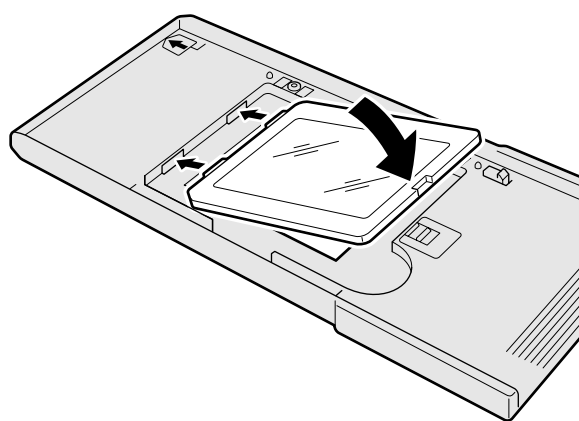
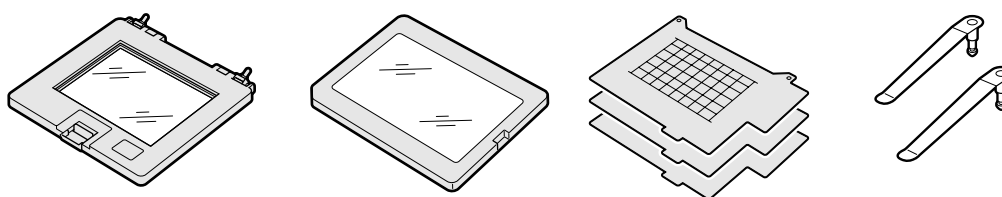
マルチフォーマットアタッチメント（別売り、HS-P1）同梱品の確認

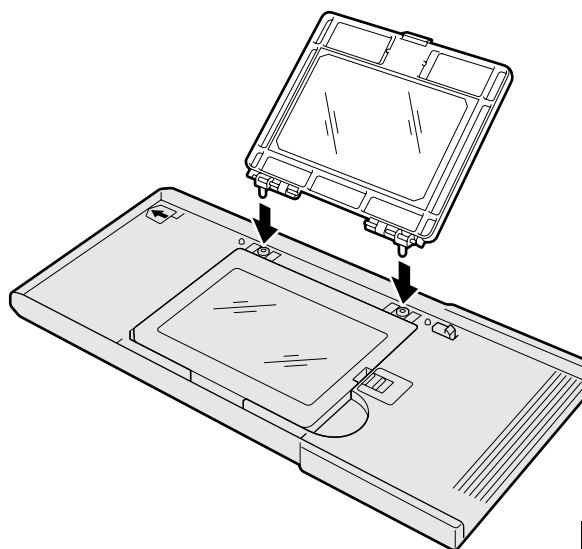
以下のものが梱包されているか確認してください。もし、不良品、欠品などがあればお買い求めの販売店にご連絡ください。

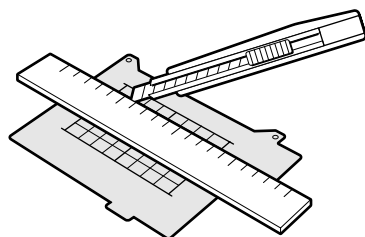
①マルチフォーマットアタッチメント（カバー部）HA-P3

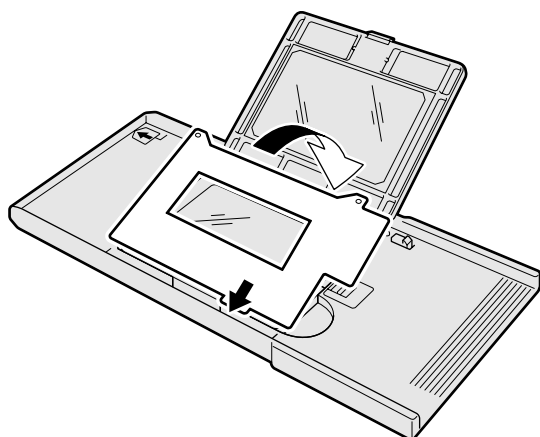
②マルチフォーマットアタッチメント（底部））HA-P3

③フィルムマスク (3枚)FM-P2

④プレパラート押え板 (2本)PI-1

1 マルチフォーマットアタッチメント（底部）を、ユニバーサルホルダに取り付けます。

- ホルダに他のアタッチメントがセットされているときは、先に取り外してください。
- アタッチメント（底部）は平らなガラス面が上にくるようにします。
- アタッチメント（底部）の左側にある2つのツメをユニバーサルホルダにさしこみ、次に右側を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。

2 マルチフォーマットアタッチメント（カバー部）を、ユニバーサルホルダに取り付けます。

●アタッチメント（カバー部）は、閉じたときガラス面が下になるようピン穴に差し込みます。2本のピンをホルダの2つの穴にあわせ、「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。

3 セットするフィルム用のマスクを作成します。

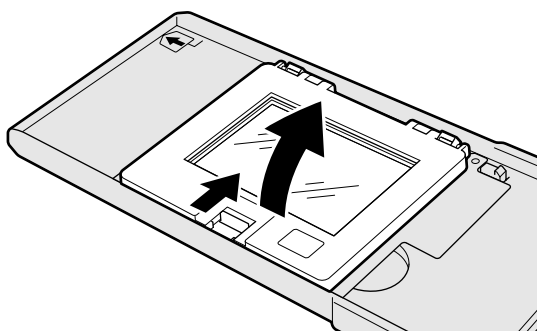
●マスクは、マスクに書かれた目盛りを目安に、フィルム実画面より大きく、広く切り抜かないよう、カッターなどで切り抜き作成してください。
もし広く切り抜いたマスクでスキャンしたときは、AE（自動露出）が正しく動作しないことがあります。

4 作成したマスクを取り付けます。

●マスクは、目盛りがかかれた面を上にして取り付けます。ホルダの手前にある切り欠きに、マスクをさしこみ、マスクの2つの穴に2本の位置決め用のピンがそれぞれ入るように、マスクをアタッチメント（底部）上におきます。
●フィルムを置く前に、フィルムホルダー、アタッチメント、マスクについたゴミやホコリをブロアーなどで取り除いてください。

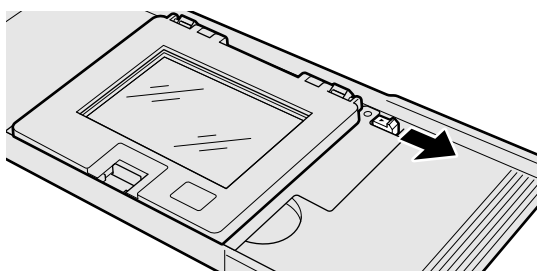
5 フィルムの乳剤面を下にし、マスクの切り抜いた部分にあわせて、マスク上に置きます。

6 マルチフォーマットアタッチメントのカバーを確実に閉めます。

マルチフォーマットアタッチメントを使用してフィルムをスキャンするときは、かならず対応するマスクを作成、取り付けてから、フィルムをセットしてください。ガラスプレート上に直接フィルムをセットしないでください。スキャンした画像に、光の干渉による同心円状の縞模様が発生することがあります。

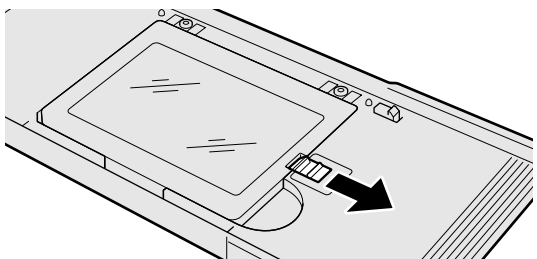
フィルムを取り出すには

マルチフォーマットアタッチメントのレバーを矢印方向にスライドさせながら、フィルムカバーを持ち上げ、フィルムを取り出します。

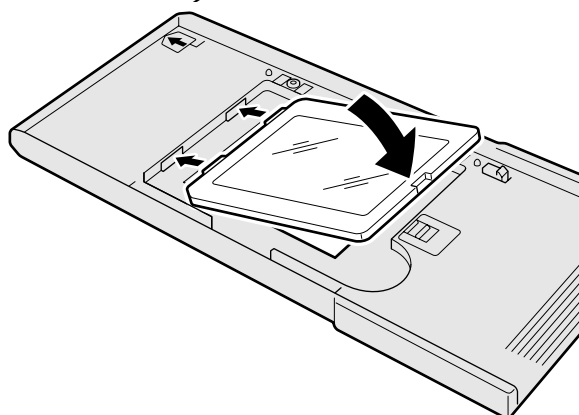
マルチフォーマットアタッチメントを取りはずすには

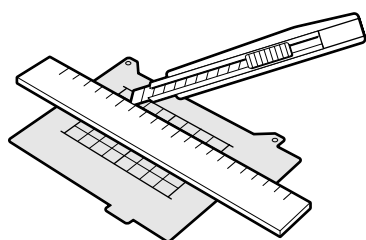
1　マルチフォーマットアタッチメント（カバー部）を取りはずします。

① マルチフォーマットアタッチメントのレバーを矢印方向にスライドさせながら、フィルムカバーを持ち上げます。

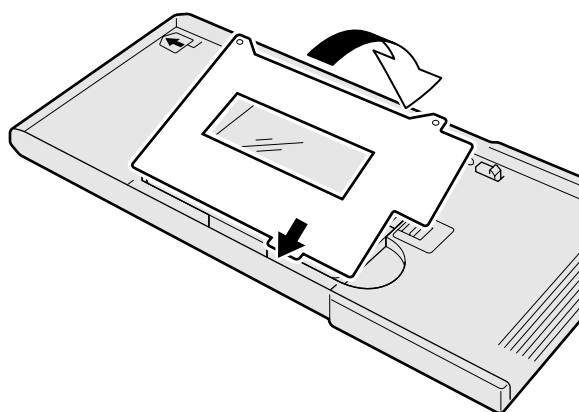
② アタッチメントの右上にあるレバーを矢印方向（右）にスライドさせながら、マルチフォーマットアタッチメント（カバー部）を取りはずします。

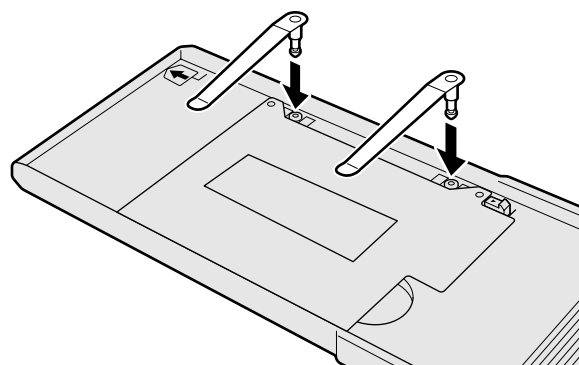
③ マスクをピンの方から持ち上げて取り外します。

2　マルチフォーマットアタッチメント（底部）を取りはずします。

ホルダのアタッチメント（底部）右側にあるレバーを右にずらしながら、アタッチメントを持ち上げます。

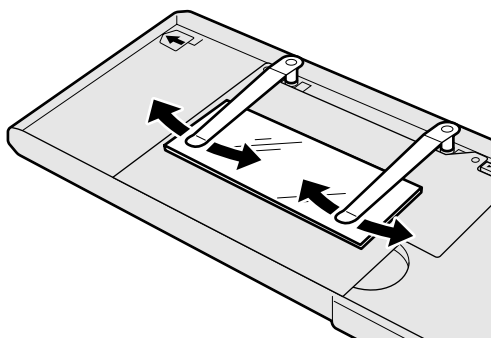
■プレパラート用にマルチフォーマットアタッチメント（別売り、HS-P1）を使用する

1 マルチフォーマットアタッチメント（底部）を、ユニバーサルホルダに取り付けます。

- アタッチメント（底部）は平らなガラス面が上にくるようにします。
- アタッチメント（底部）の左側にある2つのツメをユニバーサルホルダに指しこみ、次に右側を「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。
- ホルダに他のアタッチメントがセットされているときは、先に取り外してください。

2 セットする原稿（プレパラート）用のマスクを作成します。

- マスクは、マスクに書かれた目盛りを目安に、原稿（プレパラート）実画面より大きく、広く切り抜かないよう、カッターなどで切り抜き作成してください。
  もし広く切り抜いたマスクでスキャンしたときは、AE（自動露出）が正しく動作しないことがあります。
- 原稿（プレパラート）の角などがアタッチメントのガラス面に直接あたると、ガラス表面に傷がつく恐れがあります。

3 作成したマスクを取り付けます。

- マスクは、目盛りがかかれた面を上にして取り付けます。ホルダの手前にある切り欠きに、マスクを指しこみ、マスクの2つの穴に2本の位置決め用のピンがそれぞれ入るように、マスクをアタッチメント（底部）上におきます。

4 プレパラート押え板を、2本それぞれユニバーサルホルダに取り付けます。

- プレパラートの押え板のピンを「カチッ」と音がするまで確実に取り付けます。
- 原稿（プレパラート）を置く前に、フィルムホルダー、アタッチメント、マスクについたゴミやホコリをブロアーなどで取り除いてください。

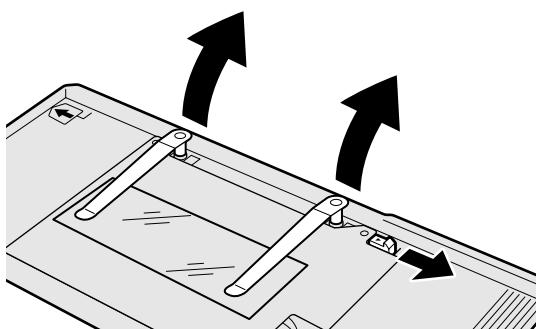
5 原稿（プレパラート）の乳剤面を下にし、マスクの切り抜いた部分にあわせて、マスク上に置きます。

6 原稿（プレパラート）のサイズに合わせ、プレパラートの押え板を原稿（プレパラート）上で左右位置調整をして固定してください。

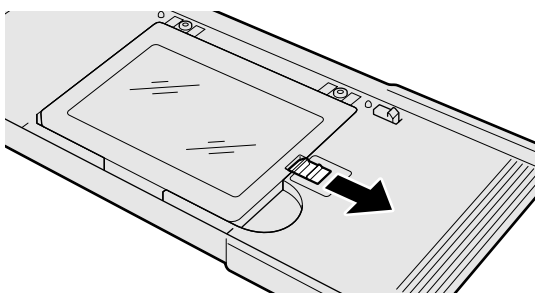
> **マルチフォーマットアタッチメントを使用して原稿（プレパラート）をスキャンするときは、かならず対応するマスクを作成、取り付けてから、原稿（プレパラート）をセットしてください。ガラスプレート上に直接原稿（プレパラート）をセットしないでください。**

原稿（プレパラート）を取りはずすには

プレパラート押え板を左右に動かして、原稿（プレパラート）を取りはずします。

マルチフォーマットアタッチメントを取りはずすには

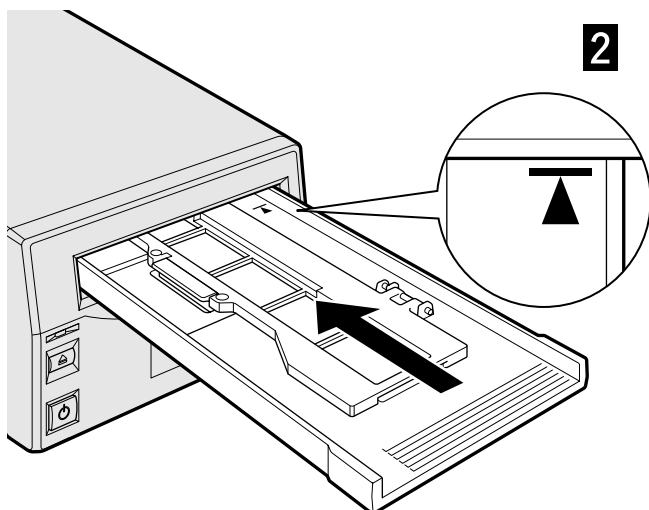
1　プレパラート押え板を取りはずします。

① アタッチメントの右上にあるレバーを矢印方向（右）にスライドさせながら、プレパラート押え板2本それぞれ取りはずします。
② マスクをピンの方から持ち上げて取り外します。

2　マルチフォーマットアタッチメント（底部）を取りはずします。

ホルダのアタッチメント（底部）右側にあるレバーを右にずらしながら、アタッチメントを持ち上げます。

ホルダをスキャナにセットする

●スキャナ本体のセットアップが終了し、インジケーターランプの点滅が点灯にかわるまで、フィルムホルダをスキャナに挿入しないでください。

1 本機の前面の電源スイッチを押して、本機をONにし、パーソナルコンピュータの電源を入れ、DiMAGE Scan Multi PROを起動します。

●本機のインジケーターランプが点滅します。インジケーターランプの点滅が終了するまでお待ちください。

2 フィルムホルダのアタッチメントが上面に来るように挿入し、挿入位置表示 ▶| までまっすぐにフィルムホルダを挿入します。

●フィルムホルダが初期設定位置まで自動的に引き込まれます。
●うまく挿入できなかった場合は、一度フィルムホルダを引き出してから再度挿入してください。
●フィルムホルダによって、挿入位置表示 ▶| の位置が異なります。ご注意ください。

フィルムフォーマットを選ぶ（次ページ）に続く ☞

フィルムホルダの取り外しかた

ソフトウェアのメインウインドウ内のイジェクトボタン ⏏ をクリックするか、本機前面のイジェクトボタンを押してください。

●フィルムホルダが挿入された状態で本機の電源スイッチを切ってしまった場合、再度電源を入れてください。セットアップ動作によりフィルムホルダが自動的に排出されます。

メインウィンドウでフィルムタイプを選ぶ

フィルムフォーマットを選ぶ

フィルムフォーマット表示部の選択リストボックスで選択し、スキャンするフィルムのフォーマットを選びます。

●選択可能なフィルムフォーマットは、35mm、ブローニ（6×4.5、6×6、6×7、6×8、6×9)、マルチフォーマット 35mm、マルチフォーマット 6×9です。

●35mmを選択するとインデックスウィンドウが現れます。

●各フィルムフォーマットとスキャン使用するホルダは以下のとおりです。

フィルムフォーマット	使用するホルダ類
35 mm	35 mmスライドマウントホルダSH - P1 または35 mmフィルムホルダFH - P1
ブローニ（6×4.5）～ ブローニ（6×9） マルチフォーマット 35mm マルチフォーマット 6x9	ユニバーサルホルダUH - P1および各フィルムに対応したアタッチメント、各フィルムサイズに対応したマスク

ホルダタイプを選ぶ

フィルムフォーマット表示部で、ブローニを選んだときは、ホルダタイプを選びます。

ホルダタイプ表示部の選択リストボックスで選択し、スキャンするホルダを選びます。

●選択可能なホルダタイプは、
ガラスあり
ガラスなし
2種類です。

フィルムタイプを選ぶ

フィルムタイプ表示部の選択リストボックスで選択し、スキャンするフィルムタイプを選びます。

●選択可能なフィルムタイプは、選択したフィルムフォーマットによって異なります。

選択したフィルムフォーマット	選択可能なフィルムタイプ
35mm、ブローニ（6×4.5）～（6×9）	カラーネガ、カラーポジ、白黒ネガ、白黒ポジ
マルチフォーマット 35mm、マルチフォーマット 6×9	カラーネガ、カラーポジ、白黒ネガ、白黒ポジ、プレパラート、電子顕微鏡*

* 電子顕微鏡を選択した場合は、電子顕微鏡用フィルムの特性に合わせた専用の画像処理を行います。

ご注意　DiMAGE Scan Multi PRO は、セピア調フィルムには対応していません。
セピア調フィルムをスキャンするときは、フィルムタイプの選択で " カラーネガ " を選択し、本スキャンの後、保存した画像データに画像処理アプリケーションでレタッチを加えてセピア調に仕上げてください。

メインウィンドウでフィルムタイプを選ぶ - 続き

使用可能フィルムとホルダの対応リスト

		ホルダの種類					
フィルムの種類	タイプ	35mm	スライドマウント	ユニバーサル（ブローニ用）		ユニバーサル（別売、マルチフォーマット用）	
				ガラス有り	ガラス無し	マルチフォーマット35mm	マルチフォーマット6×9
ブローニ	6×4.5、6×6、6×7、6×8、6×9			◎	◎	○	◎
35mm	スライド		◎	●		●	●
	スリーブ	◎		●		●	●
フルパノラマ	スリーブ			●		◎	◎
APS	スリーブ			●		◎	◎
16mm	スリーブ			●		◎	◎
Minox	スリーブ			●		◎	◎
電子顕微鏡	59×81.5			▲（＊1）		○	○（＊1）
	59×163			▲（＊2）		○	○
	82×102					△	○
	82×118					△	○
アパーチャーカード	マイクロフィルム用					○	◎
プレパラート	標準（26×76）					○（＊1）	◎
	標準大型（52×76）					○	◎
	鉱物用（28×48）					○（＊1）	◎
	スミヤースライド（24×60）					◎	◎
4×5		×	×	×	×	×	×
アパーチャーカード	ブローニ用	×	×	×	×	×	×
APS	カートリッジ	×	×	×	×	×	×

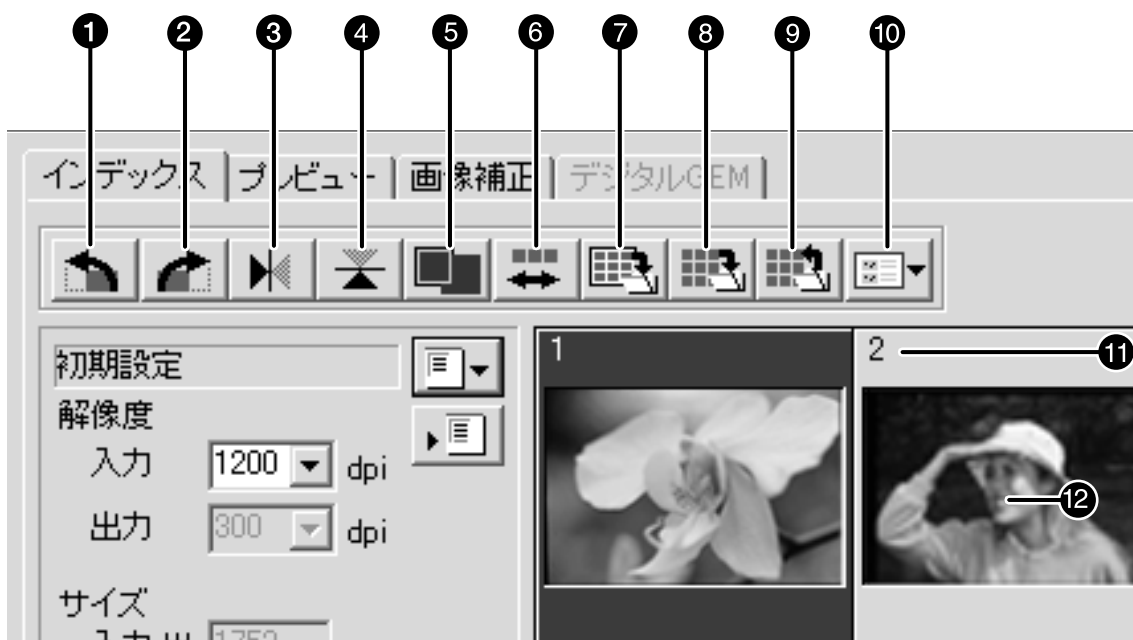
◎ 全域を一括スキャン可能
○ 原稿位置を動かすことにより部分的にスキャン可能
● 本来の使用法ではないが全域を一括スキャン可能
△ 一部分のスキャンが可能
▲ 本来の使用法ではないが一部分のスキャンが可能
× スキャン不可能
＊1 実画像により、原稿位置を動かすことにより部分的にスキャン可能
＊2 実画像により、本来の使用法ではないが全域を一括スキャン可能

インデックスタブ

インデックスタブの選択

フィルムフォーマット選択リストボックスで「35mm」を選択すると、インデックスタブが表示されます。

「35mm」以外を選択すると、インデックスタブはグレーダウンします。
インデックスタブのウィンドウには以下のように表示されます。

インデックスタブウィンドウの各部名称

❶ 左回転ボタン
❷ 右回転ボタン
❸ 左右反転ボタン
❹ 上下反転ボタン
❺ 全体表示ボタン
❻ コマ順逆表示ボタン
❼ インデックス画像保存ボタン
❽ インデックスファイル保存ボタン
❾ インデックスファイル読み込みボタン
❿ 画像補正ジョブ呼出ボタン
⓫ コマ番号
⓬ インデックス画像

インデックススキャンする

フィルムフォーマットとして「35 mm」を選択すると、メインウィンドウのインデックスタブがアクティブになります（前面に出てきます）。インデックススキャンをすると、スライドマウントホルダ（SH‐P1）あるいは35 mmフィルムホルダ（FH‐P1）にセットしたフィルムの全コマをメインウィンドウに表示します。　とくにカラーネガフィルムの画像が確認しづらい場合などには便利です。

インデックススキャンをするには

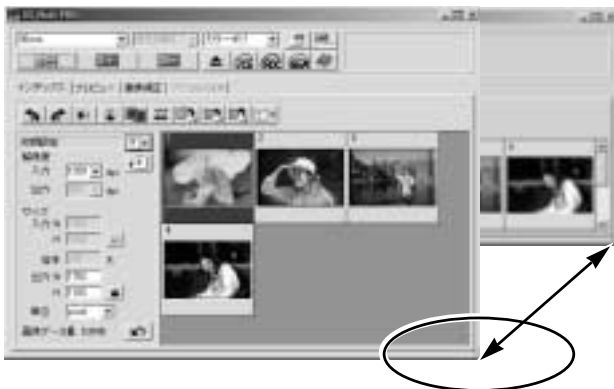
1 メインウィンドウのインデックススキャンボタン　をクリックします。

●スキャン中のフィルムの画像が次々にインデックスウィンドウに表示されます。

※インデックススキャンには、「高速スキャン」と「高画質スキャン」の2つの方法があります。これは、環境設定ウィンドウ（36 ページ参照）の設定で切り替えることができます。初期設定（ソフトウェアをインストールした直後）は「高速スキャン」になっています。

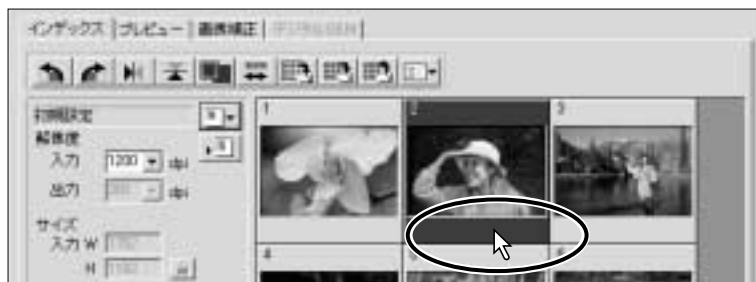
※インデックススキャンを途中でキャンセルするには、
Windows®　：ESCキーを押します。
Macintosh　：*Command*（⌘）キーと.（ピリオド）を同時に押します。

- **●インデックス画像は、もう一度［インデックススキャン］ボタンをクリックするか、インデックス画像を読み込むまでは記憶されています。**
- **●インデックス画像を、初期化（消去）する場合は、**
  WIndows®　：Ctrlキー、Shiftキー、Rキーを同時に押します。
  Macintosh　：*Command*（⌘）キー、Shiftキー、Rキーを同時に押します。
- **●インデックス画像の左上にはコマ番号が表示されますが、この番号はインデックス画像用の番号であり、フィルム上のコマ番号とは対応していません。**

インデックスタブウィンドウサイズの変更

ウィンドウ右下のウィンドウサイズ変更グリップをドラッグして、希望のウィンドウサイズにします。

●ウィンドウサイズにしたがって、インデックス画像が並び替えられます。
●ウィンドウサイズのみの変更になります。各インデックス画像（サムネール画像）の大きさは変わりません。

インデックス画像の選択

任意のインデックス画像をマウスでクリックすることで、その画像を選択できます。選択された画像は、 ボタンをクリックしてプレビュー（64ページ参照）させることができます。

【複数画像の選択】

2つ以上のインデックス画像を選択するには、以下の操作をします。
画像処理アプリケーションソフトによっては、一度に複数の画像を表示できないものがあります。

Windows®の場合

★Ctrlキーを押したままマウスでインデックス画像をクリックします。選択した画像をもう一度Ctrlキーを押したままマウスでクリックすると、選択が取り消されます。

★連続したコマ番号のインデックス画像を一度に選択するとき、たとえば、コマ番号2から6の画像を一度に選択するときは、

1. コマ番号2の画像をクリックします。
2. 引き続いて（他の操作をしないで）、Shiftキーを押したままコマ番号6の画像をクリックします。

★すべてのインデックス画像を選択するときは、CtrlキーとAキーを同時に押します。

Macintoshの場合

★*Command*（⌘）キーを押したままマウスでインデックス画像をクリックします。選択した画像をもう一度*Command*（⌘）キーを押したままマウスでクリックすると、選択が取り消されます。

★連続したコマ番号のインデックス画像を一度に選択するとき、たとえば、コマ番号2から6の画像を一度に選択するときは、

1. コマ番号2の画像をクリックします。
2. 引き続いて（他の操作をしないで）、shiftキーを押したままコマ番号6の画像をクリックします。

★すべてのインデックス画像を選択するときは、*Command*（⌘）キーとAキーを同時に押します。

インデックス画像の修正

インデックス画像の回転、反転

任意の全部または一部の選択した画像を90度単位で左右に回転させたり、また左右あるいは上下を反転することができます。

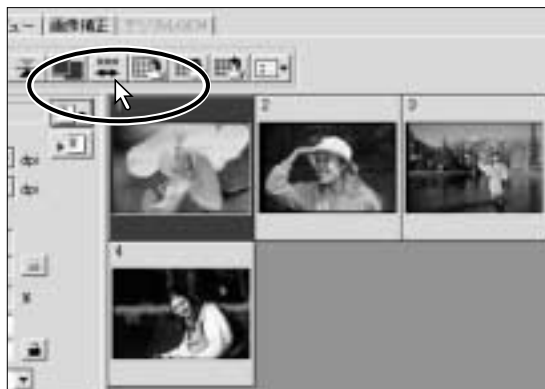
- 回転させたいインデックス画像をクリックして選択し、インデックスタブウィンドウの左回転ボタンまたは右回転ボタンをクリックします。
- 反転させたいインデックス画像をクリックして選択し、インデックスタブウィンドウの左右反転ボタンまたは上下反転ボタンをクリックします。

インデックス画像の全体または等倍表示

インデックスタブ上で全てのコマを一括に表示できます。

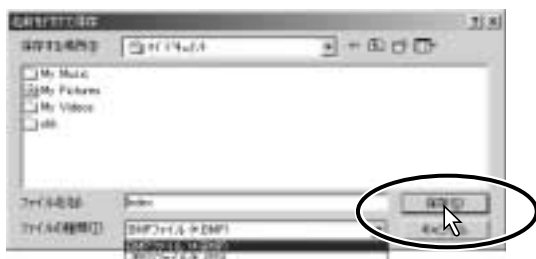
- インデックスタブウィンドウの全体/等倍表示ボタンをクリックすると、メインウィンドウのサイズによって、インデックス画像のサイズが自動的に変更され、縮小/拡大してすべてのインデックス画像がウィンドウに一括表示できます。
- 標準では全コマ、等倍サイズで表示します。ウィンドウサイズによって大きさは適宜変更されますが、コマ数によってウィンドウをスクロールして表示するようになります。

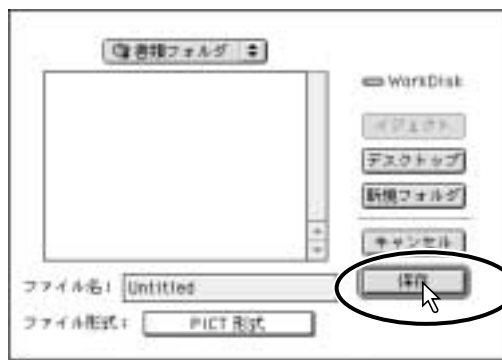
▶
◀

コマの順序の逆表示

インデックスタブ上でコマの順序を逆にすることができます。

●インデックスタブウィンドウのコマ順逆表示ボタン をクリックすると、表示するコマの順番を正←→逆に切り替えます。

インデックス画像の保存

インデックススキャンでインデックスタブウィンドウに表示されたサムネール画像全体を、ひとつの画像ファイルとして保存できます。インデックスプリントの作成に便利です。

【Windows®】

●Windows® では Windows® Bitmap（BMP）形式またはJPEG形式で保存することができます。

【Macintosh】

●Macintosh ではPICT形式またはJPEG形式で保存することができます。

1 インデックスタブウィンドウのインデックス画像保存ボタンをクリックします。

●各オペレーティングシステム標準のファイル保存ダイアログが現れます。

2 保存するファイル名を入力、保存先を設定し、[保存] ボタンをクリックします。

●インデックスタブウィンドウのサムネール画像全体が、設定した保存先に入力したファイル名で保存されます。

保存されるファイルには、次のようにインデックス画像が整列・配置されます。

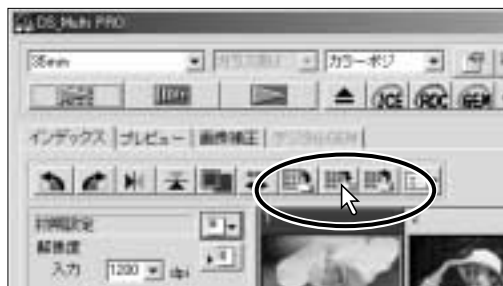
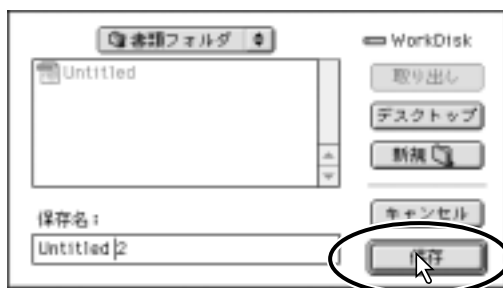
◆インデックス画像のコマ数が4 コマのときは、4 列×1 行、6 コマのときは、6 列×2行で配置されます。

◆上下左右には、それぞれ50 pixel （画素）分の余白がとられます。

◆横方向のコマ間スペースは、100 pixel（画素）、縦方向のコマ間スペースは、70 pixel （画素）です。

◆保存されるファイルの出力解像度は300dpi です。

インデックスファイルの保存

インデックスファイルの保存では、インデックスタブウィンドウに表示されている複数のインデックス画像を、インデックスファイルとして保存することができます。インデックスファイルを保存しておくと、同じフィルムを後でもう一度スキャンする時に、インデックススキャンしなおす手間が省けます。

【Windows®】

【Macintosh】

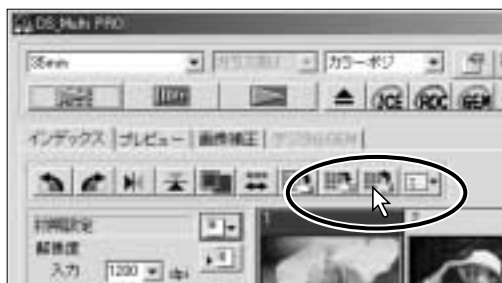
1 インデックスタブウィンドウのインデックスファイル保存ボタンをクリックします。

●各オペレーティングシステム標準のファイル保存ダイアログが現れます。

2 保存するファイル名を入力、保存先を設定し、［保存］ボタンをクリックします。

●インデックス画像が表示されている場合は、そのときスキャナにセットされているフィルムと、インデックス画像が異なっていても、表示されているインデックス画像が保存されます。
●インデックス画像が表示されていない場合は、インデックススキャンした後に、インデックス画像を保存します。
●インデックス画像に抜けがある場合は、そのコマのみインデックススキャンを行い、インデックス画像に抜けがない状態にしてから保存します。
●ファイルの種類（または、ファイル形式）は、インデックス画像ファイル（*.idx ）のみで、それ以外は選べません。
このファイルは、このソフトウェア独自のフォーマットになります。

インデックスファイルの読み込み

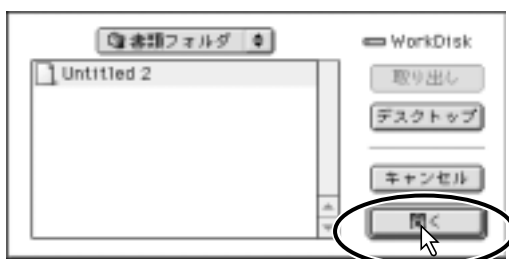
前ページで「インデックスファイルの保存」で保存したインデックスファイルを読み込んで、インデックスタブウィンドウに表示します。

【Windows®】

【Macintosh】

1 インデックスタブウィンドウのインデックスファイル読み込みボタンをクリックします。

● 各オペレーティングシステム標準のファイルオープンダイアログが現れます。

2 読み込むインデックスファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックします。

● インデックスファイルを読み込むと、今まで表示していたプレビュー画像は、破棄されます。

プレビューから画像補正するまでの操作の流れ

1．プレビュースキャンをする（次ページ～）

操作編II ではプレビュータブのいろいろな詳細操作機能を使って、スキャナでプレビュースキャンした画像の範囲を選び出したり、画像の方向を変えたり、画像の露出具合やフォーカス具合を調整します。

プレビュータブの機能

トリミングプレビュー・トリミングエリアの変更・自動トリミング・画像の回転・画像の反転・プレビュー画像の全体表示・プレビュー画像の拡大／縮小・プレビュー画像のスクロール・AEロック・AEエリアロック・マニュアルフォーカス・ポイントAF・コマ番号表示・RGBレベルの表示

▼

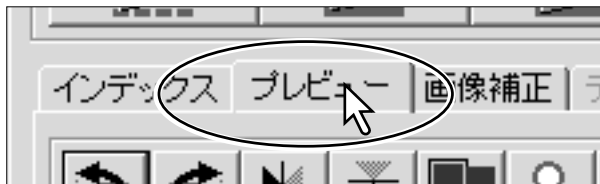
2．画像補正する（75ページ～）

次に画像補正タブのいろいろな詳細操作機能を使って、スキャナでプレビュースキャンした画像の明るさ、コントラスト、色調を調整します。また画像補正結果を保存したり、過去の画像補正結果を呼びだして使います。

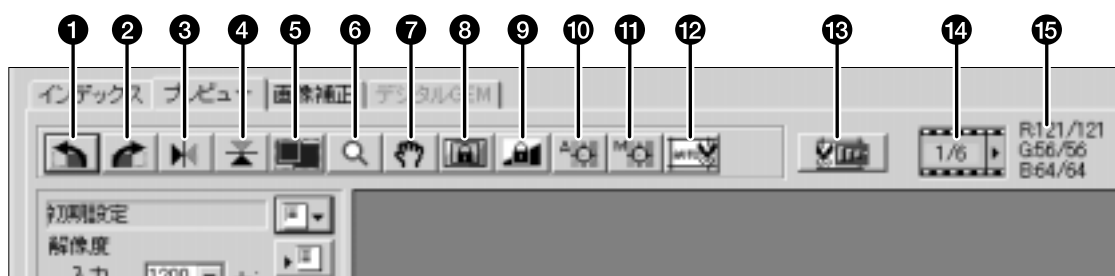
画像補正タブの機能

トーンカーブ／ヒストグラム補正・明るさ／コントラスト／カラーバランス補正・色相／彩度／明度補正・バリエーション補正・選択色補正・アンシャープマスク・画像補正の取り消し・画像補正の再実行・画像補正のリセット・画像補正の途中経過を一時的に保管する・画像を並べて補正結果を確認・全体表示・画像補正ジョブの登録と呼び出し・画像補正ジョブ・画像補正ジョブの登録・画像補正ジョブの呼び出し

プレビュータブ

プレビュータブの選択

プレビュータブをクリックすると、プレビュータブが前面に出ます。

プレビュータブウィンドウには以下のように表示されます。

プレビュータブウィンドウの各部名称

❶ 左回転ボタン
❷ 右回転ボタン
❸ 左右反転ボタン
❹ 上下反転ボタン
❺ 全体表示ボタン
❻ 拡大縮小ボタン
❼ グラバーボタン
❽ AEエリアロックボタン
❾ AEロックボタン
❿ ポイントAF（オートフォーカス）ボタン
⓫ マニュアルフォーカスボタン
⓬ 自動トリミングボタン
⓭ トリミングプレビューボタン
⓮ コマ数表示
⓯ RGB値

プレビュースキャン

プレビュースキャンとは、本スキャンをする前の画像の補正やトリミングなどを行うためのスキャンです。

プレビュースキャンをする

メインウィンドウのプレビューボタン をクリックします。

タブがプレビュータブに変りプレビュータブウィンドウに画像が表示されます。

- インデックスタブウィンドウに画像が表示されている場合は、プレビューしたいコマをダブルクリックします。（インデックス画像がなくても、プレビュースキャンできます。）
- 複数のコマを選択し、[プレビュー] ボタンをクリックすると、選択した全コマのプレビュースキャンを行います。

画像の回転

プレビュー画像を90度単位で回転させることができます。

プレビュータブウィンドウの左回転ボタン または右回転ボタン をクリックします。

- ボタンをクリックするごとに、90度単位でプレビュー画像が回転します。
- プレビューで回転させた画像は、本スキャンではその回転させた状態でスキャンされます。

画像の反転

プレビュー画像を上下方向/左右方向に反転させることができます。

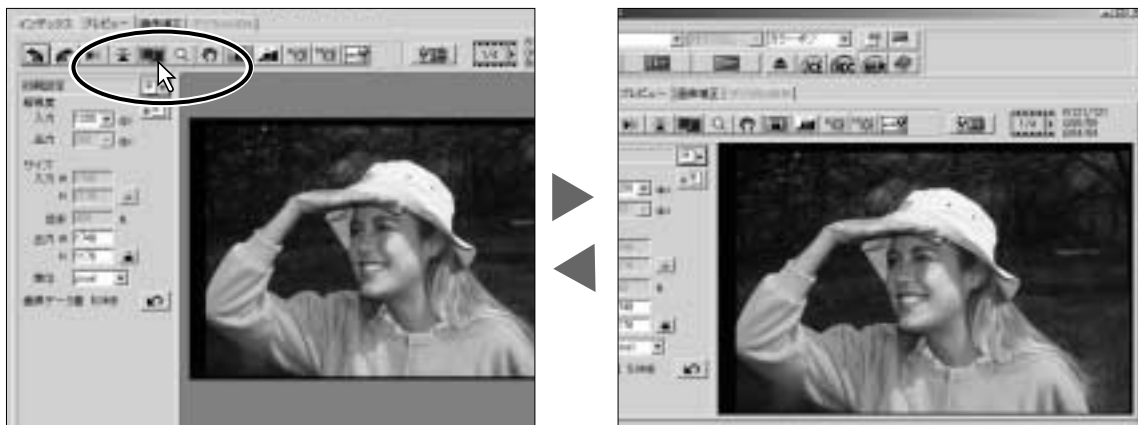
プレビュータブウィンドウの上下反転ボタン [上下反転ボタン] または左右反転ボタン [左右反転ボタン] をクリックします。

●ボタンをクリックするごとに、上下または左右方向にプレビュー画像が反転します。
●プレビューで反転させた画像は、本スキャンではその反転させた状態でスキャンされます。

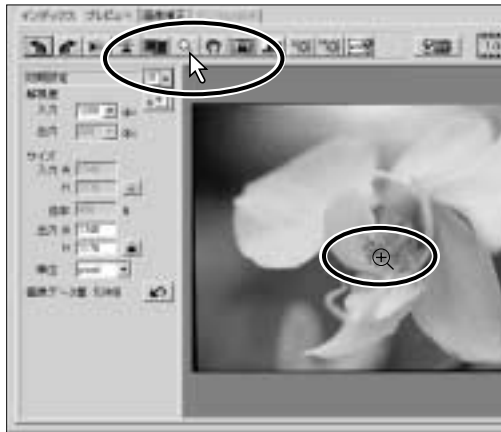
画像のフルスクリーン表示

プレビュー画像をウィンドウ画面いっぱいに表示します。細かい部分や本スキャンの仕上がり目安を確認することができます。

プレビュータブウィンドウの全体表示ボタン [全体表示ボタン] をクリックします。

●ウィンドウのサイズにしたがってプレビュー画像全体が表示されます。
●再度全体表示ボタン [全体表示ボタン] をクリックすると、全体表示する前の状態にもどります。

画像の拡大・縮小表示

プレビュー画像の拡大・縮小表示

プレビュー画像を、トリミング枠（70ページ参照）には関係なく、拡大または縮小表示します。

1 プレビュータブウィンドウの拡大縮小ボタン［🔍］をクリックします。

- マウスポインタが、中に＋の書かれたルーペ状のものに変わります。
- 全体表示ボタン［▬］を選択しているときは［拡大縮小］ボタンは使えません。

2 拡大表示させたいところでマウスをクリックします。

- クリックしたところを中心に画像が拡大表示されます。続けてクリックすると、続けて拡大表示されます。
- 最大倍率まで拡大すると、マウスポインタのルーペの中の＋が消えて、それ以上拡大表示できないことをお知らせします。

3 縮小表示させたいときは、拡大表示のマウスポインタが現れている状態で、
Windows®：
Ctrlキーを押したままにします。
Macintosh：
optionキーを押したままにします。

- マウスポインタが、中に－の書かれたルーペ状のものに変わります。

4 上記キーを押したままで、縮小表示させたいところでマウスをクリックします。

- クリックしたところを中心に画像が縮小表示されます。続けてクリックすると、続けて縮小表示されます。
- 最小倍率まで縮小すると、マウスポインタのルーペの中の－が消えて、それ以上縮小表示できないことをお知らせします。

プレビュー画面のスクロール

プレビュー画像のスクロール

プレビュー画像が拡大表示されているときに、グラバーツールでプレビュー画像を自由にスクロールして表示することができます。

1 プレビュータブウィンドウのグラバーボタン をクリックします。

- マウスポインタが、手のひら状のものに変わります。
- 全体表示ボタン を選択しているときはグラバーボタンは使えません。

2 プレビュー画像上の任意の場所にマウスポインタを置き、ドラッグします。

- マウスの動きに応じて、リアルタイムで画像がスクロールします。

自動露出調整

自動露出調整は以下の場合におこなわれます。
- **ネガフィルムをスキャンした場合**
- **環境設定ウィンドウで「カラーポジでAEする」を選択して（36ページ参照）、カラーポジフィルムをスキャンする場合**

AEロック（自動露出調整の固定）

AEロックとは、画像取り込み時のAE（自動露出調整）の値を固定する機能です。
AEロック機能を使用すると、AEロックを有効にしたコマのAE（自動露出調整）の値で、その後のプレビュースキャン、本スキャンを行うため、同一フィルム内の複数のコマに対してすべて同じ露出で画像を取り込むことができます。
たとえば、逆光シーンの撮影や意図的に露出を少しづつずらして撮影したフィルムをスキャンする場合、AEロックすることで、撮影時の露出補正が反映されたスキャン画像を得ることができます。

1 AE（自動露出調整）をともなうプレビューをしたあと、プレビュータブウィンドウのAEロックボタン をクリックします。

●プレビュー画面に表示されている画像の明るさ（露出）の設定が記憶されました。

2 同じ露出値を使う目的の画像を選び、プリビューボタン をクリックし、再度プレビュースキャンします。

●スキャナはプレビュー毎にしている画像の自動露出調整をしません。
●前回AEロックした露出調整の結果が、今回のプレビューした画像に反映されています。

- **ふたたび［AEロック］ボタンをクリックして、AEロックを解除しプレビューをするか、フィルムタイプを変更するまで、スキャナは前回AEロックした露出調整の結果で、プレビュースキャンおよび本スキャンを続けます。**
- **フィルムタイプの選択でポジフィルムを選んだとき、環境設定ウィンドウ（36ページ参照）で「カラーポジでAEする」を選択しない（チェックマーク✓を消す）と、このAEロック機能とAEエリアロック機能（次ページ参照）は使用できません。**
- **デジタルROC機能（105ページ参照）をオンにしているときは、AE ロックおよびAE エリアロック機能（次ページ参照）は無効になります。**

AEエリアロック（自動露出調整エリアの指定）

プレビュー画像の、ある特定の範囲だけで自動露出補正を行い、その結果をプレビュー画像全体に適用します。たとえば、ハイライト部分を重点的に再現したい場合は、その部分をAEエリアロックすることで白く飛んでしまうことなく中間の明るさに再現されます（ただしあるレベル以下のシャドウ部分は黒くつぶれます）。

1 自動露出調整をともなうプレビューをしたあと、プレビュータブウィンドウのAEエリアロックボタン をクリックし、オンにします。

● Shiftキーを押すとトリミング枠（破線）がAEエリア（実線）にかわり、自動露出の範囲を表します。この範囲をマウスのカーソルでドラッグして移動し、自動露出（中間の明るさにする）範囲を指定します。

2 プレビューボタン をクリックし、再度プレビュースキャンします。

● 指定範囲が自動露出され、その結果がプレビュー画像全体に適用されます。
● AEエリアロックボタン をオフにするとAEエリアロックを解除することができます。

画像のトリミング

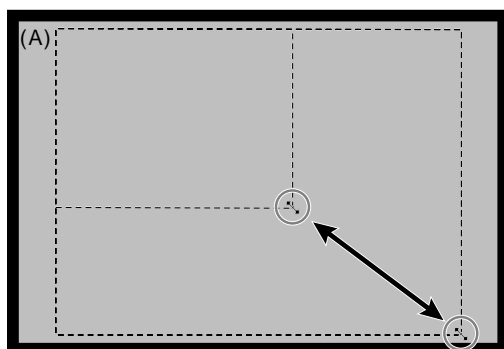
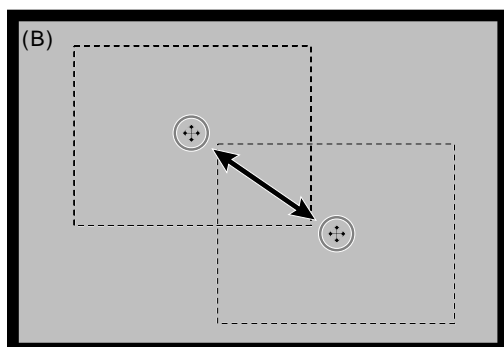
画像の自動トリミング

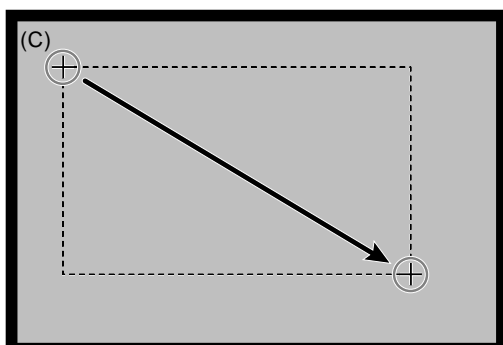
スライドマウント枠など画像の余白部分を自動で取り除いてスキャンすることができます。

プレビュータブウィンドウの自動トリミングボタンをクリックします。

●プレビュー画像の範囲に入っている、ホルダー枠やスライドマウント枠など、画像の余白部分を自動的に取り除きます。

画像のマニュアルトリミング

プレビュータブウィンドウ内の点線のトリミング枠を操作して、本スキャンで実際に取り込む範囲を決定します。画像の不要な部分を取り除いてスキャンすることができます。もちろんトリミングなし（フルトリミング）でスキャンすることもできます。

マウスのカーソルをトリミング枠の角上に置くと、マウスカーソルがななめ両矢印表示になります（A）。その状態でトリミング枠をドラッグすると、トリミング枠の縦横の大きさを自由に変えることができます。

マウスのカーソルをトリミング枠内に置くと、マウスカーソルが移動カーソル表示になります（B）。その状態でトリミング枠をドラッグすると、トリミング枠全体が移動します。

（次ページに続く ☞）

マウスカーソルが+の状態のとき、プレビューエリア内でマウスをドラッグすると、その部分が新たなトリミングエリアになり（C)、元のトリミングエリアはクリアされます。

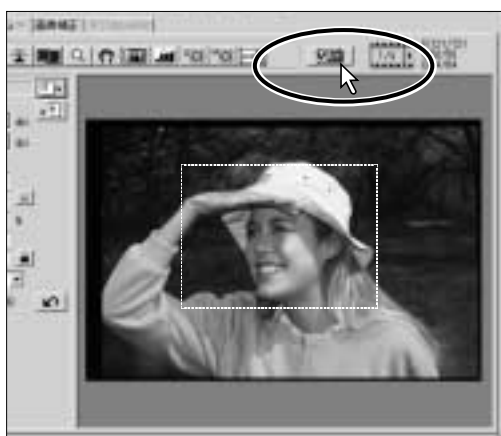
※フルトリミング（トリミングなし）にするには、マウスの操作でトリミング枠を拡大・移動させる操作の他に、パーソナルコンピュータのキーボードから操作することもできます。プレビュータブウィンドウがアクティブ（選択された状態）のときに、

Windows® ：Ctrlキー、Aキーを同時に押します。

Macintosh ：*Command*（⌘）キー、Aキーを同時に押します。

トリミングプレビュー

トリミング枠内を再度プレビュースキャンし、トリミング枠内のより詳細なプレビュー画像を表示することができます。

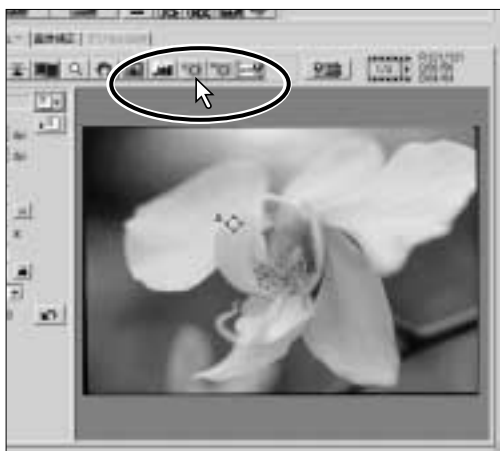
プレビュータブウィンドウのトリミングプレビューボタン をクリックします。

※フルトリミングプレビューを行なった後、トリミング枠を戻す（広げる）場合は、再度プレビュースキャンを行ない、トリミングを行なってください。

ポイントAF（オートフォーカス）とマニュアルフォーカス

プレビュースキャン時に、画像の中央部分でフィルム面にピント合わせをします。
初期設定および環境設定ウィンドウ（36ページ参照）で「スキャン時のAF」のチェックボックスのチェック✔を外している（スキャン時にオートフォーカスしないに設定している）場合は、ポイントAF または マニュアルフォーカスでピント合わせをする必要があります。
自動的に画像の中央部分でフィルム面にピント合わせをしたい場合は、環境設定ウィンドウ（36ページ参照）で「スキャン時のAF」のチェックボックスにチェック✔をすることによりプレビュースキャン/本スキャンをするたびにピント合わせをします。

フォーカス調整は画像のコントラストを検出して行いますので、コントラストのない部分(真っ白な雲や真っ黒な物など)では適切なピント合わせができない場合があります。

ポイントAF（オートフォーカス）

プレビュー画像上の任意の1点で、自動でピント合わせをします。

1 プレビュータブウィンドウのポイントAFボタン をクリックします。

- マウスポインタが、ポイントAF に変わります。
- 再度［ポイントAF］ボタンをクリックすると、マウスポインタは元の形状にもどります。

2 プレビュー画像のピントを合わせたいところに、マウスポインタの十文字の中心（交点）を合わせ、マウスをクリックします。

- クリックしたところで自動でピント合わせが行なわれ（オートフォーカス）、再度画像がプレビュースキャンされます。

操作編 II

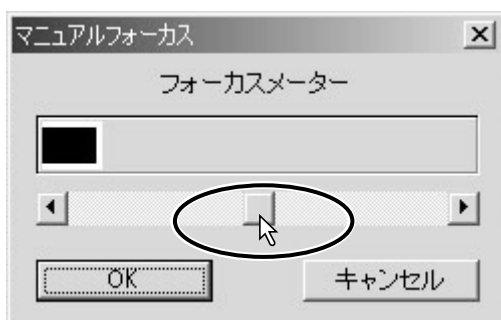
マニュアルフォーカス

フォーカスメーターを参照しながら、手動でピントを合わせます。

1 プレビュータブウィンドウのマニュアルフォーカスボタン をクリックします。

- マウスポインタが、マニュアルフォーカス に変わります。
- 再度［マニュアルフォーカス］ボタン をクリックすると、マウスポインタは元の形状にもどります。

2 プレビュー画像のピントを合わせたいところに、マウスポインタの十文字の中心（交点）を合わせ、マウスをクリックします。

- マニュアルフォーカスのダイアログが現れ、フォーカスメーターで設定をします。

3 フォーカスメーターの黒色、白色バーの長さが最も長くなるように、フォーカス位置設定スライダーをマウスでドラッグします。

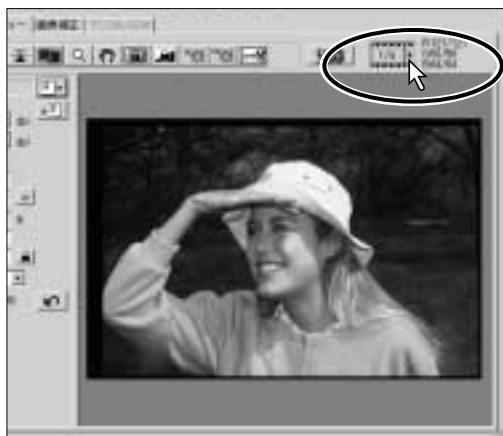
- 黒色のバーは現在のフォーカス評価値を、白色のバーはこれまでの最大評価値を示しています。
- 矢印ボタンとスライダーとの間をクリックすると、大まかな調整ができます。両端の矢印ボタンをクリックすると、微調整ができます。
- ［キャンセル］ボタンをクリックすると、フォーカス位置の設定はキャンセルされ、マニュアルフォーカスのダイアログが閉じられます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

- 操作 2 のクリックしたところでピント合わせが行なわれ、再度プレビュースキャンされます。

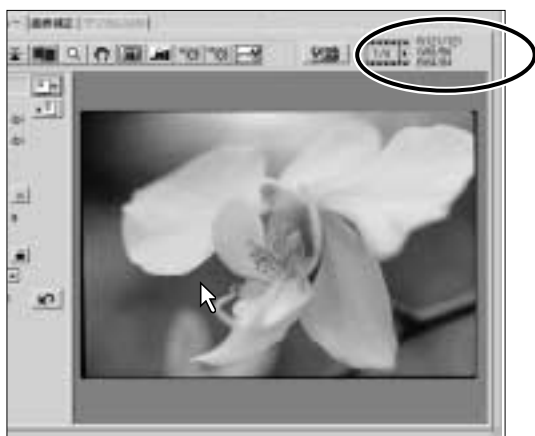
プレビューウィンドウのその他の表示

コマ番号表示

フィルムファーマットで「35mm」を選択したときに、表示しているプレビュー画像のコマ番号と、フィルムの総コマ数を表示します。

1 右矢印ボタン▶ をクリックすると、次のコマを表示します。

2 左矢印ボタン◀ をクリックすると、前のコマを表示します。

●選ばれた画像がプレビュースキャンされていない場合は、プレビュースキャンしてから表示します。

RGB値あるいはCMY値の表示

プレビュー画像上にマウスカーソルを移動させると、その位置のRGB値またはCMY値をプレビュータブウィンドウ右上部に表示します。
Windows®ではShiftキーを押すとRGB値のかわりに、CMY値が表示されます。
Macintoshでは*Command ⌘*キーを押すとRGB値のかわりに、CMY値が表示されます。

●表示される数字はカーソル位置の補正前/補正後の値です。

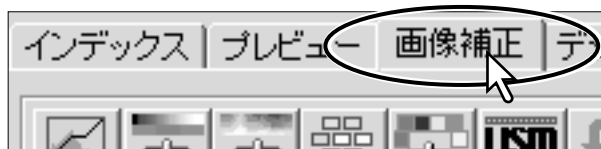
操作編 II

スキャン設定

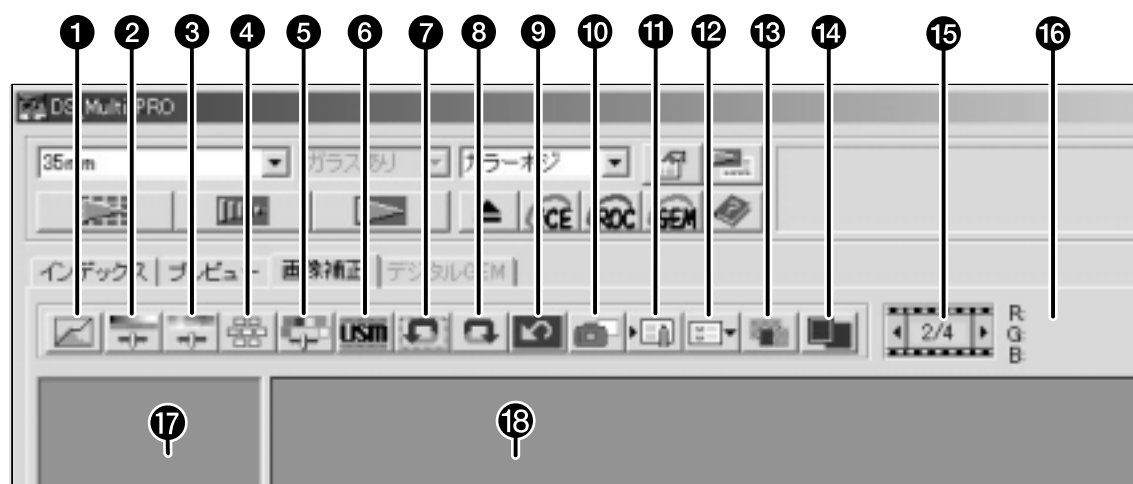
スキャン設定ウィンドウでは、原稿フィルムをどれくらい細かく読み取るのか（入力解像度）とか、どれくらい細かく出力するのか（出力解像度）、どの大きさで出力するのか（出力サイズ/倍率）といったさまざまな設定を行ないます。
この使用説明書では、111ページから詳しく説明しています。

画像補正するには

カメラは人間の目に映っている画像を、そのままの形でフィルムに記録してくれるわけではありません。そのため、フィルムの画像をより自然に見えるように再現するには、明るさ、コントラスト、色合い、ピントなど画質の調整を行なう必要があります。この作業を画像補正といいます。

画像補正タブの選択

画像を補正するために画像補正タブをクリックすると画像補正タブウィンドウが前面に出ます。

画像補正タブウィンドウは以下のように表示されます。

画像補正タブウィンドウの各部名称

❶ トーンカーブ/ヒストグラム補正ボタン
❷ 明るさ/コントラスト/カラーバランス補正ボタン
❸ 色相/彩度/明度補正ボタン
❹ バリエーション補正ボタン
❺ 選択色補正ボタン
❻ アンシャープマスクボタン
❼ 取消ボタン
❽ 再実行ボタン
❾ 補正取り消しボタン
❿ スナップショットボタン
⓫ 画像補正ジョブ登録ボタン
⓬ 画像補正ジョブ呼び出しボタン
⓭ 補正前後画像比較表示ボタン
⓮ 全体表示ボタン
⓯ コマ数表示
⓰ RGB値表示
⓱ スナップショット表示エリア
⓲ 補正画像表示エリア

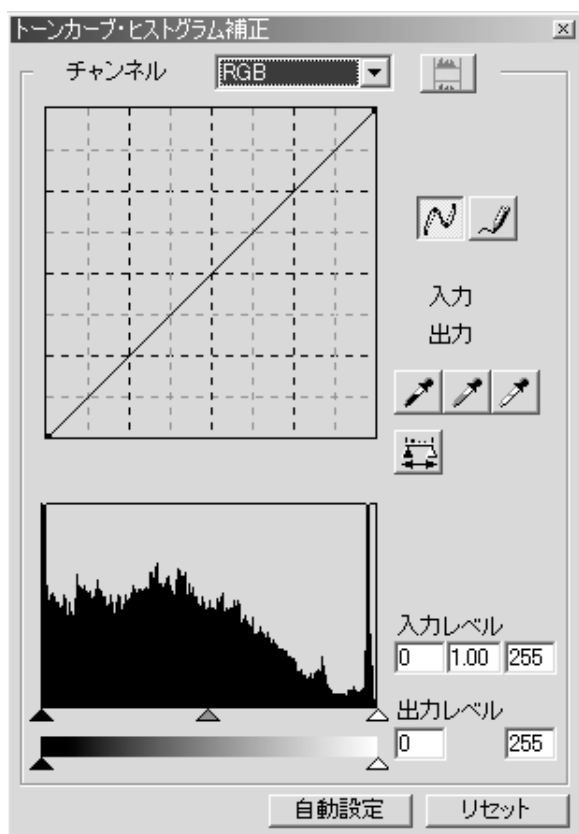
トーンカーブ・ヒストグラム補正

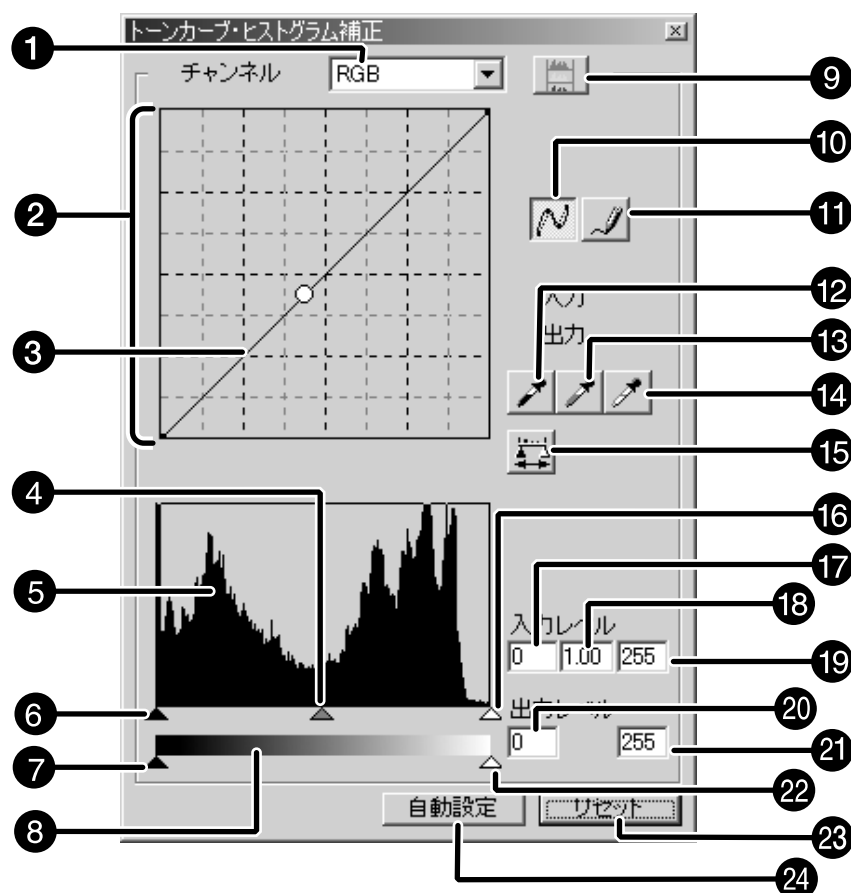
トーンカーブ・ヒストグラム補正の選択

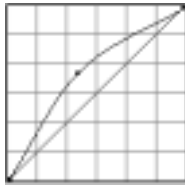
画像補正タブウィンドウのトーンカーブ/ヒストグラム補正ボタン をクリックします。

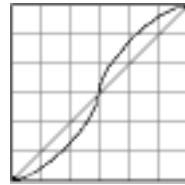
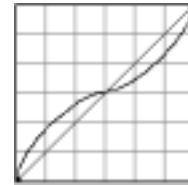
●トーンカーブ・ヒストグラム補正ダイアログが表示されます。

トーンカーブ・ヒストグラム補正は、明るさ・コントラストや色調を自由に、そしてより細かく調整することができる機能です。画像が明るすぎたり（露出オーバー）、暗すぎたり（露出アンダー）、コントラストが不足してメリハリがなかったり、という場合の補正に適しています。シミュレーション画像を見ながら、トーンカーブにてγ（ガンマ）補正ができます。また、RGB まとめてまたはRGB 各色ごとヒストグラムで入出力レベルの補正ができます。

操作編 II

（次ページに続く ☞）

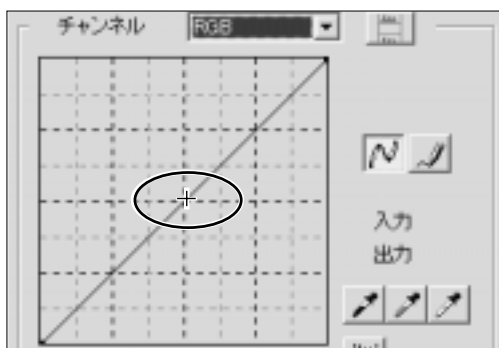
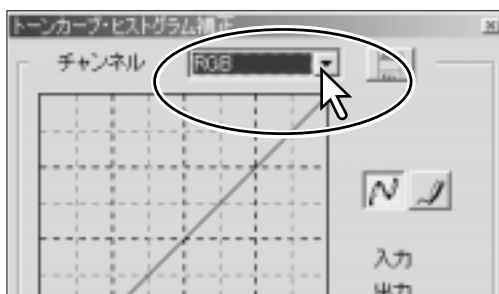
トーンカーブ・ヒストグラム補正ダイアログの各部名称

❶ チャンネル選択リストボックス
❷ トーンカーブパレット
❸ トーンカーブ
❹ 入力ガンマスライダ
❺ ヒストグラム
❻ 入力下限値スライダ
❼ 出力下限値スライダ
❽ グレースケール
❾ ヒストグラムRGB同時表示ボタン
❿ トーンカーブ/滑らかボタン
⓫ トーンカーブ描画ボタン
⓬ 黒点スポイトボタン
⓭ グレースポイトボタン
⓮ 白点スポイトボタン
⓯ アプライボタン
⓰ 入力上限値スライダ
⓱ 入力下限値テキストボックス
⓲ 入力ガンマ値テキストボックス
⓳ 入力上限値テキストボックス
⓴ 出力下限値テキストボックス
㉑ 出力上限値テキストボックス
㉒ 出力上限値スライダ
㉓ リセットボタン
㉔ 自動設定ボタン

トーンカーブは、補正前の明るさの値（横軸）*と補正後の明るさの値（縦軸）の関係をグラフ化したものです。横軸が入力、縦軸が出力を表します。トーンカーブをドラッグして階調を変化させ、シミュレーション画像で確認しながら明るさやコントラストを調整します。下記に明るさとコントラストのトーンカーブの例を示します。

明るくなる

暗くなる

**コントラスト
上がる**

**コントラスト
下がる**

**チャンネル選択リストボックスから「RGB」を選ぶと、R, G, B各色が同じ割合で補正されます。
「R」、「G」、「B」を選ぶと、各色を別々に補正できます。この場合には、たとえば赤い色だけの暗い部分を明るくしたり、という色調の補正ができます。**

* DiMAGE Scan Multi PRO標準のγ（ガンマ＝中間調のこと）補正値

トーンカーブを使って補正

1 チャンネル選択リストボックスから、補正するトーンカーブのチャンネルを選びます。

- プレビュー画像が白黒画像の場合は、「RGB」チャンネルのみ選択できます。

2 マウスカーソルをトーンカーブの上に持ってゆき、変更したいところでマウスをドラッグします。

- マウスカーソルの座標の数値が、横軸は入力座標値のボックスに、縦軸は出力座標値のボックスに、それぞれ表示されます。
- 補正された画像は、補正後画像フレームに表示されます。

（次ページに続く ☞）

図1（概念図）

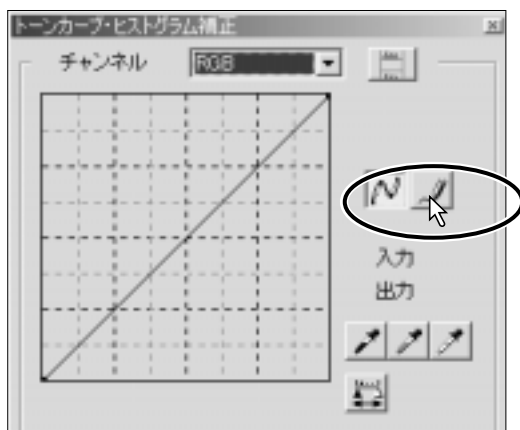
図2.（概念図）

図3.

モニタ自体のγ特性は図1.のようなカーブを描いており、直線的に明るさの変化するスキャン画像を表示すると、フィルムと異なった画像に見えます。
本機（スキャナ）では、モニターのγ特性がある程度規定されていることから、モニターに対して図2.のような補正をかけて、適当な再現性 図3.をもたせています。
トーンカーブ補正ではさらに、フィルムが本来持っているγ特性や、モニタごとのγ特性の誤差の修正をかけることができます。

このトーンカーブ補正とは別に、お使いのモニタにあった補正が選べるよう「カラーマッチング機能」（133ページ参照）があります。

フリーハンドでトーンカーブを作成

自由に線を引くように、トーンカーブを描くことができます。

1 チャンネル選択リストボックスから、補正するトーンカーブのチャンネルを選びます。

●プレビュー画像が白黒画像の場合は、「RGB」チャンネルのみ選択できます。

2 トーンカーブ描画ボタン をクリックし、マウスカーソルをトーンカーブ表示の上に移動します。

●マウスカーソルがペン形状のものに変わります。

3 マウスをドラッグしてトーンカーブを描きます。

- マウスカーソルの座標の数値が、横軸は入力座標値のボックスに、縦軸は出力座標値のボックスに、それぞれ表示されます。
- 補正された画像は、補正後画像フレームに表示されます。

4 描いたカーブがなめらかではなく、断点がある場合などは、トーンカーブ/滑らかボタン を クリックすると、滑らかなカーブに変更されます。

操作編 II

RGB値/CMY値の表示

ウィンドウ画像上にマウスカーソルを移動させると、その位置のRGB値またはCMY値を画像補正ウィンドウ右上部に表示します。

Windows®：Shiftキーを押すとRGB値のかわりに、CMY値が表示されます。

Macintosh：*Command*（⌘）キーを押すとRGB値のかわりに、CMY値が表示されます。

（次ページに続く ☞）

白点/黒点/グレースポイトボタンを使って補正

白点（ハイライトポイント）は明るくしたい部分を、黒点（シャドーポイント）は暗くしたい部分を、グレーは中間調にしたい部分を表します。ハイライトとシャドーのない画像は、はっきりしない、くすんだような感じに見えます。白点／黒点／グレースポイトボタンを使うことで、ハイライト部とシャドー部を強調し、真っ白または真っ黒くならないメリハリのある画像に補正できます。また、陰影が強すぎる画像には、ハイライト部とシャドー部を弱めに調整補正します。

白点指定

1 白点スポイトボタン をダブルクリックします。

- スポイト値設定ダイアログが表示されます。
- 初期値は255（真っ白）になっています。

2 スポイト値設定ダイアログ白点スポイト値に、ハイライトポイント補正後の数値を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

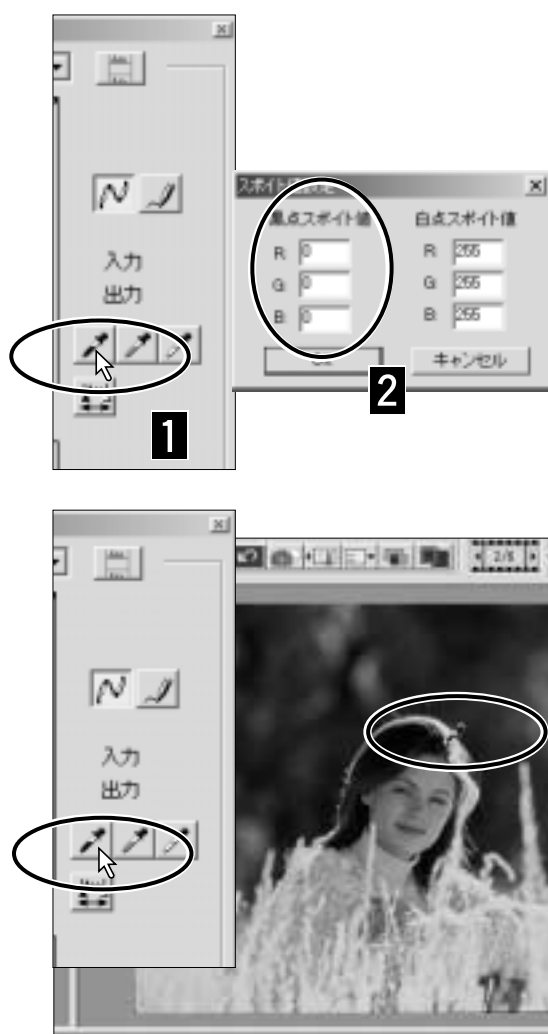
3 再度［白点スポイト］ボタンをクリックします。

- マウスカーソルがスポイト状になります。

4 プレビュー画像の中で、白くしたいところをクリックします。

- クリックした点が、ハイライトポイントになるように、画像を補正します。ハイライトポイントの色は、操作2で入力した白点スポイト値になります。
- 補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

●反射部分のようなディテールを含まない純粋な白い部分ではなく、画像内の本当のハイライト部分を識別する必要があります。ディテールのない白はスペキュラホワイト（反射のような白）とも呼ばれ、プリント時はインキが適用されません。
●通常、R、G、Bそれぞれ250〜253で設定すると、真っ白からやや落ち着いた白になりますが、白いカップなどは輝きを失ったように見える場合があります。

黒点指定

1 黒点スポイトボタン をダブルクリックします。

●スポイト値設定ダイアログが表示されます。
●初期値は0.0.0.（真っ黒）になっています。

2 スポイト値設定ダイアログ黒点スポイト値に、シャドーポイント補正後の数値を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

3 再度［黒点スポイト］ボタンをクリックします。

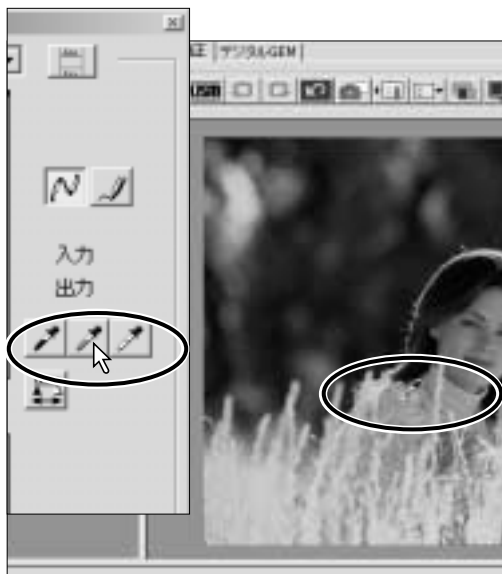
●マウスカーソルがスポイト状になります。

4 プレビュー画像の中で、シャドーポイント（黒くしたいところ）をクリックします。

●クリックした点が、シャドーポイントになるように、画像を補正します。シャドーポイントの色は、操作2で入力した黒点スポイト値になります。
●補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

●通常、R、G、Bそれぞれ10〜30で設定すると、例えは髪の毛などのつぶれ、真っ黒くなるような画像を回避できます。

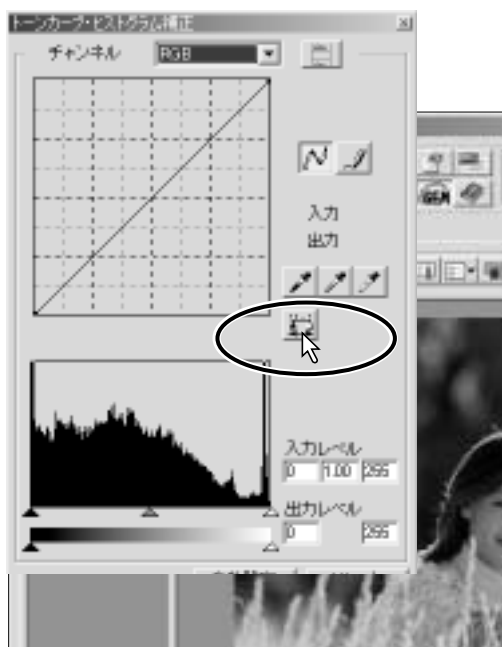
（次ページに続く ☞）

グレー点指定

1 画像の中から、無彩色（グレー）にしたいところを指定します。

2 グレースポイトボタン をクリックします。

●マウスカーソルがスポイト状になります。

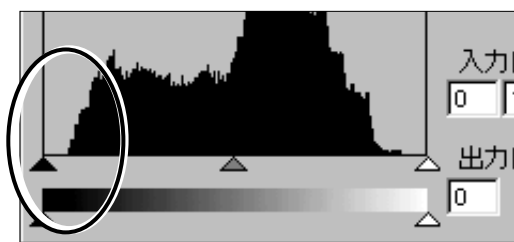
3 補正前画像の無彩色（グレー）にしたいところをクリックすると、その点が、輝度はそのままでカラーバランスがそろう無彩色（グレー）になるように、画像を補正します。

●補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

アプライボタン をクリックしたまま、マウスボタンから指を離さないでいると、補正後のヒストグラムが表示されます。

●マウスボタンから指を離すと（クリックをやめると）、補正前のヒストグラム表示にもどります。

ヒストグラムを使って補正

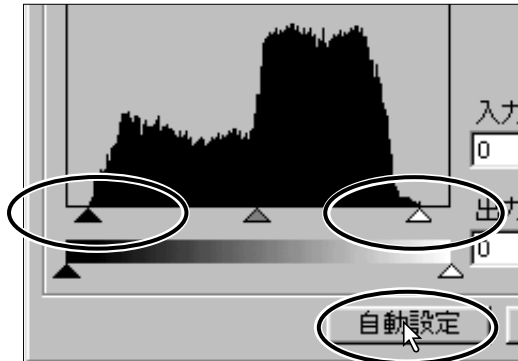
ヒストグラムは、画像を構成するピクセルの数の分布グラフで、横軸が明るさ、縦軸がその明るさのピクセルの数を表しています。ヒストグラムの山が高いところは、その明るさのピクセルが数多くあることになります。全体に右に寄っていると、この画像は明るく白っぽいことになり、左に寄っていると暗く黒っぽい画像ということになります。真ん中の山だけが高い場合は、コントラストの余りない平坦な画像になります。
ヒストグラム補正は、ヒストグラムの分布から明るさやコントラストを判断して、状況ごとに最適な補正を行うことができます。RGB各色で表示でき、階調は0〜255の256階調で表現することができます。
また、トーンカーブを修正すれば、ヒストグラムも自動的に修正されるというように、トーンカーブとヒストグラムは連動しています。

画素が無い部分

ヒストグラムパレットの下には、入力用スライダと出力用スライダの2つのスライダがあります。入力用スライダには、上限値スライダ（右）、ガンマスライダ（中間）、下限値スライダ（左）の3種類があり、出力用スライダーには、上限値スライダ（右）、下限値スライダ（左）があります。
各スライダをマウスでドラッグするか、または、入力レベル/出力レベルの各テキストボックスに直接数値を入力して、補正を行います。

たとえば、入力用スライダの上限値スライダ（右）、下限値スライダ（左）で、画素のない真っ黒（または真っ白）の部分を取り除くと、画像が本来持っている階調を最大限に使った豊かな階調の画像になります。

出力用スライダは、通常ではあまりさわる必要はありませんが、出力機器の特性に合わせてご使用ください。たとえば、黒のレベルが0のままプリントすると、黒がつぶれてしまうような場合に使用します（このケースでは、出力用スライダの下限値スライダ（左）を少し右にスライドさせ、出力レベルを0 から少し上げます。どの程度レベルを上げるかは、出力結果を見ながら調整します）。

ガンマスライダは、初期設定ではそれぞれ「DiMAGE Scan Multi PRO標準のγ（ガンマ＝中間調のこと）補正値」に設定してあります。お使いになられてるパーソナルコンピュータ、モニタまたは画像処理ソフトの環境によって必要と思われる場合変更してください。詳しくはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

（次ページに続く ☞）

自動設定

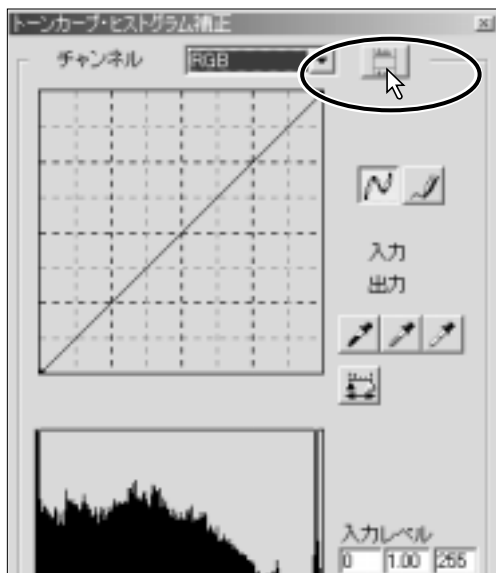
［自動設定］ボタンをクリックします。

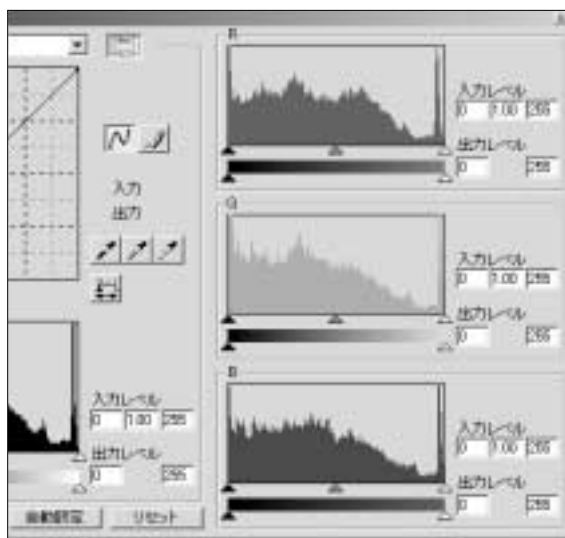
- ヒストグラムから情報の無い部分を切り、0〜255の全ての階調領域を使った画像に、自動で補正します。
- 補正された画像は、補正画像表示エリアに表示されます。

補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると、プレビュー画像は補正のないもとの状態に戻ることができます。

ＲＧＢ各チャンネルをヒストグラムで補正

RGB各チャンネルそれぞれに対して、入力レベルおよび出力レベルのスライダ、数値入力による補正ができます。

1 トーンカーブ・ヒストグラム補正ダイアログのヒストグラムRGB同時表示ボタンをクリックします。

- トーンカーブ・ヒストグラム補正ダイアログが横に広がり R、G、B のそれぞれのヒストグラムが表示されます。
- 再度クリックすると、R、G、B各チャンネルのヒストグラムは非表示になります。

2 **R、G、B各チャンネルに対してヒストグラムパレットの下には、入力用スライダと出力用スライダの2つのスライダがあります。入力用スライダには、上限値スライダ（右）、ガンマスライダ（中間）、下限値スライダ（左）の3種類があり、出力用スライダーには、上限値スライダ（右）、下限値スライダ（左）があります。**

各スライダをマウスでドラッグするか、または、入力レベル/出力レベルの各テキストボックスに直接数値を入力して、補正を行います。

●R、G、B のそれぞれのヒストグラムもまたテキストボックスに数値で入力下限値や入力上限値を直接書き入れることも出来ます。
●補正された画像は、補正後画像フレームに表示されます。
●R、G、B それぞれのヒストグラムで補正された内容はトーンカーブにも反映されます。

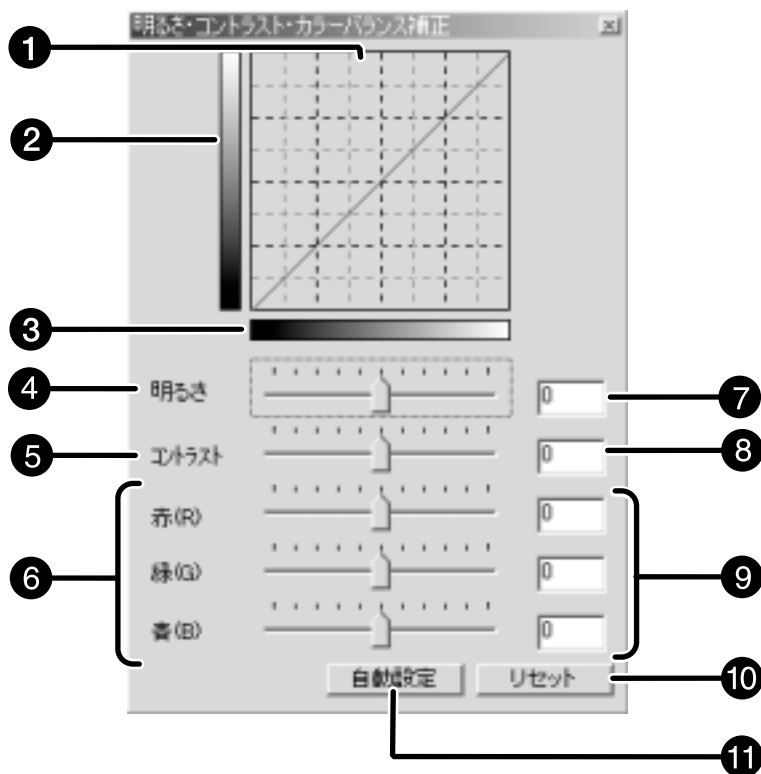
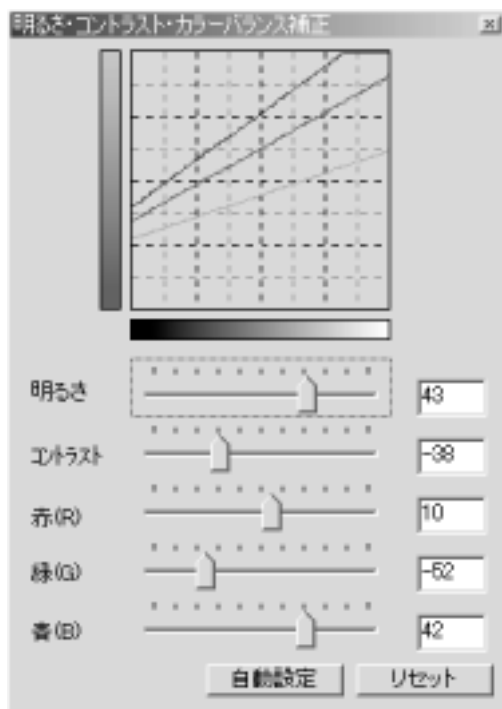
たとえば、R、G、B各チャンネルに入力用スライダの上限値スライダ（右）、下限値スライダ（左）で、画素のない真っ黒（または真っ白）の部分を取り除くと、画像が本来持っている階調をR、G、B各チャンネルで最大限に使った豊かな階調の画像になります。

R、G、B各チャンネルの出力用スライダは、通常ではあまりさわる必要はありませんが、出力機器の特性に合わせてご使用ください。どの程度レベルを上げるかは、出力結果を見ながら調整します)。

ガンマスライダは、初期設定ではそれぞれ「DiMAGE Scan Multi PRO標準のγ（ガンマ＝中間調のこと）補正値」に設定してあります。お使いになられてるパーソナルコンピュータ、モニタまたは画像処理ソフトの環境によって必要と思われる場合変更してください。詳しくはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

明るさ・コントラスト・カラーバランス補正

明るさ・コントラストは、画像全体の明るさとコントラストを調整します。カラーバランスは、RGB各色の色の割合を調整することで、画像全体に緑っぽい色や赤っぽい色など、特定の色がかぶっているようなケース（色かぶり）の補正ができます。

画像補正タブウィンドウの明るさ/コントラスト/カラーバランス補正ボタン をクリックすると、明るさ・コントラスト・カラーバランス補正ダイアログが表示されます。

❶ 補正結果LUT（ルックアップテーブル）表示
❷ 補正後グレースケール
❸ 補正前グレースケール
❹ 明るさ調整スライダ
❺ コントラスト調整スライダ
❻ カラーバランス調整スライダ
❼ 明るさ調整値テキストボックス
❽ コントラスト調整値テキストボックス
❾ カラーバランス調整値テキストボックス
❿ リセットボタン
⓫ 自動設定ボタン

明るさ、コントラスト、カラーバランス（赤（R)、緑（G)、青（B)）の各スライダをドラッグしたり、テキストボックスに100から-100の数値を入力します。

●補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

明るさ補正

調整スライダを上げる（右方向にする）と、画像そのものの明るさ全体を上げることが出来ます。

コントラスト補正

調整スライダを上げる（右方向にする）と、画像の明るいところはより明るく、暗いところはより暗くすることが出来ます。

赤（R)、緑（G)、青（B)（カラーバランス補正）

調整スライダを上げる（右方向にする）と、それぞれの色の割合を増加させることることが出来ます。

自動設定

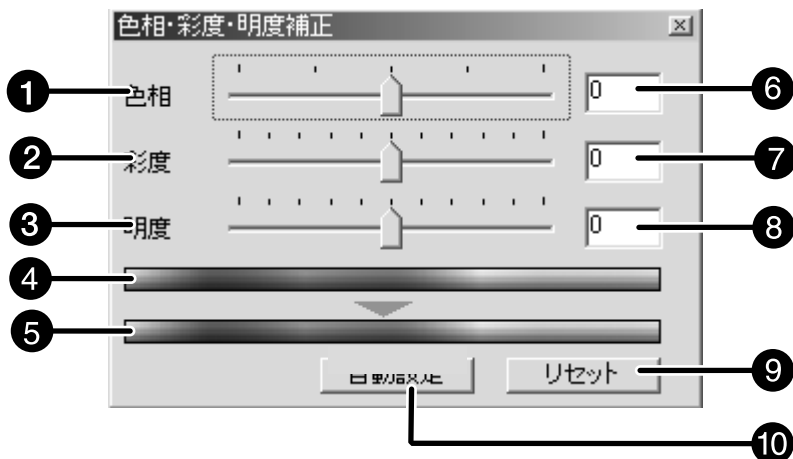
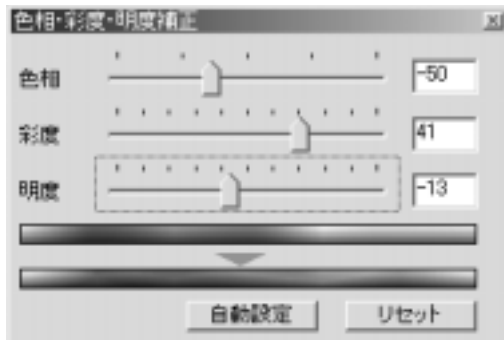
［自動設定］ボタンをクリックすると、明度情報をもとに入力のカラーバランスはそのままの状態で、明るさとコントラストを補正を自動で補正します。

補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると補正のない、元の状態に戻すことが出来ます。

色相・彩度・明度補正

カラー3要素である色相（色合い）・彩度（鮮やかさ）・明度（明るさ）を個別に調整することができます。色が沈んだ感じなのでもう少し鮮やかな色にしたいという場合などに適しています。色相・彩度・明度をうまく組み合わせて調整する必要があります。

画像補正タブウィンドウの色相/彩度/明度補正ボタン をクリックすると、色相・彩度・明度補正ダイアログが表示されます。

❶ 色相調整スライダ
❷ 彩度調整スライダ
❸ 明度調整スライダ
❹ 補正前調整色見本
❺ 補正後調整色見本
❻ 色相調整値テキストボックス
❼ 彩度調整値テキストボックス
❽ 明度調整値テキストボックス
❾ リセットボタン
❿ 自動設定ボタン

色相、彩度、明度の各スライダをドラッグしたり、テキストボックスに色相は180 から-180の数値を、彩度や明度では100 から-100の数値を入力します。

●補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

色相補正

調整スライダを移動させると、画像の赤緑青の補正前調整色見本にある色相が、それぞれ補正後調整色見本のように変わります。色相を最大の180移動させると、色相が全く逆の色相になります。

彩度補正

調整スライダを上げる（右方向にする）と、画像をより色鮮やかにします。反対に調整スライダを下げる（左方向にする）と、画像の彩度を下げスクリーン効果を出します。

明度補正

調整スライダを上げる（右方向にする）と、画像そのものの明るさ全体を上げることが出来ます。

自動補正

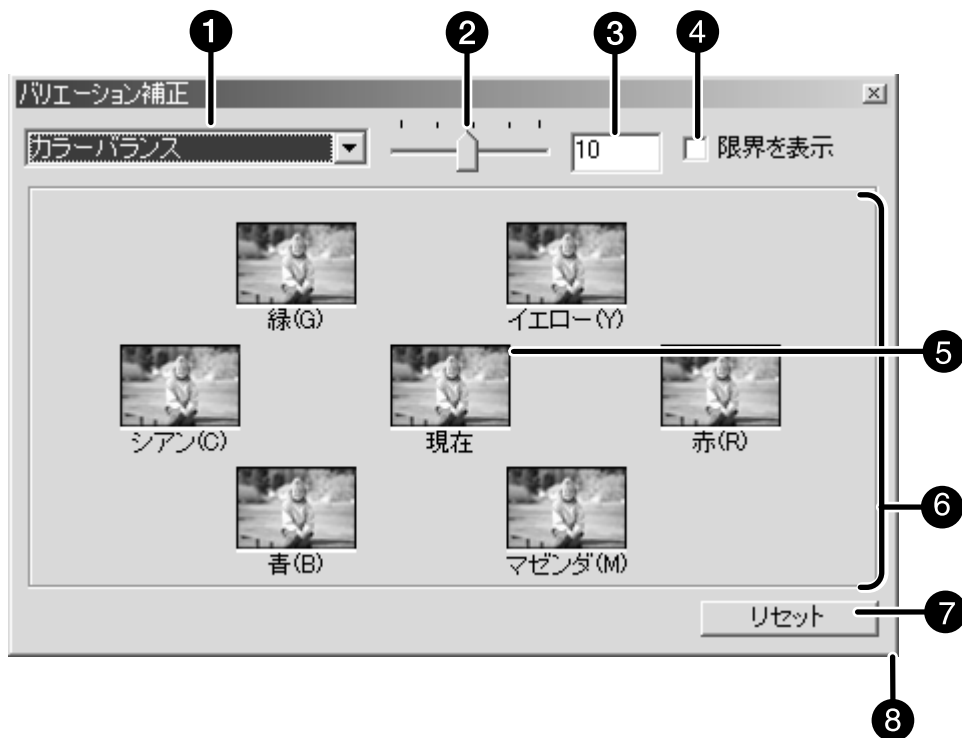
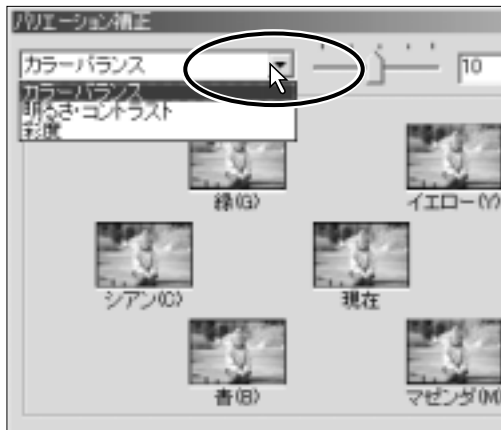
［自動設定］ボタンをクリックすると、画像の目立ちやすい部分に注目した彩度補正を自動で行ないます。

補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると補正のない、元の状態に戻すことが出来ます。

バリエーション補正

画像のカラーバランス／明るさ・コントラスト／彩度を、バリエーション画像で確認しながら直感的に調整することができます。正確な色調補正をする必要がなく、画像全体の色調をおおまかに補正するような場合に便利です。

画像補正タブウィンドウのバリエーション補正ボタン をクリックすると、バリエーション補正ダイアログが表示されます。

❶ 補正内容選択リストボックス
❷ 変化量設定スライダ
❸ 変化量設定値テキストボックス
❹ 限界表示チェックボックス
❺ 現在画像表示
❻ 補正後画像表示エリア
❼ リセットボタン
❽ ウィンドウサイズ変更グリップ

補正内容選択リストボックスから補正内容カラーバランス、明るさ・コントラスト、彩度から選択します。

●フィルムタイプが白黒のときは、カラーバランスと彩度は選択することはできません。
●選択した補正内容によって補正された数コマのバリエーション画像が表示されます。

カラーバランス

中央の現在の画像に対し、赤（R）、緑（G）、青（B）、シアン（C）、マゼンダ（M）、イエロー（Y）方向にそれぞれ1段階補正させた6つの画像が表示されます。

変化量設定スライダを移動させると、1段階に補正される度合いを、初期値の10から、1から20の範囲で変更することができます。また変化量は変化量設定値ボックスに表示します。

限界表示チェックボックスにチェックを入れると、赤（R）、緑（G）、青（B）、シアン（C）、マゼンダ（M）、イエロー（Y）のそれぞれの方向に変化させたとき、表現の限界（0または255になってしまう部分を反転させる）を表示します。

（次ページに続く ☞）

明るさ・コントラスト

中央の現在の画像に対し、水平方向に明るさ、垂直方向にコントラストを、1段階補正させた8つの画像が表示されます。変化量設定スライダを移動させると、1段階に補正される度合いを、初期値の10から、1から20の範囲で変更することができます。
限界表示チェックボックスにチェックを入れると、明るさ、コントラストを変化させたとき、表現の限界（0または255になってしまう部分を反転させる）を表示します。

彩度

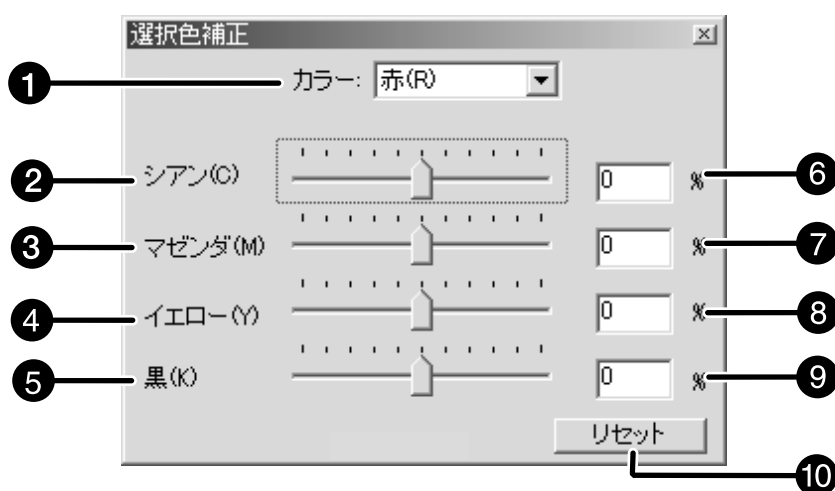
中央の現在の画像に対し、水平方向に彩度を1段階補正させた左右の画像が表示されます。変化量設定スライダを移動させると、1段階に補正される度合いを、初期値の10から、1から20の範囲で変更することができます。
限界表示チェックボックスをチェックすると、彩度を変化させたとき、表現の限界（0または255になってしまう部分を反転させる）を表示します。

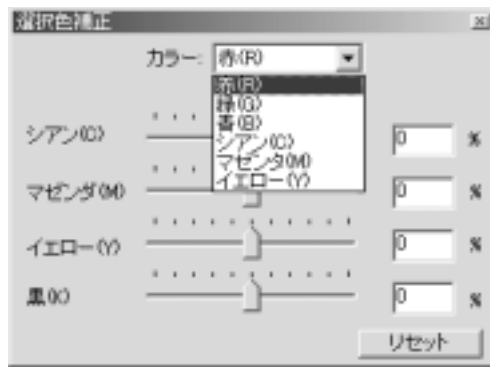
補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると補正のない、元の状態に戻すことが出来ます。

選択色補正

画像の色域を「赤」、「緑」、「青」、「シアン」、「マゼンダ」、「イエロー」、「黒」の7系統に分け、それぞれの色域に対して「シアン」、「マゼンタ」、「イエロー」、「黒」という各プロセスカラーの成分量を調整することができます。画像全体ではなく、ある特定の色の中にある色を加えたい、あるいは特定の色の中の不要な色を除きたいという場合に使います。たとえば、紫っぽい空をより青く鮮やかにするために、「青」の色域からマゼンタの成分量を減少させ、青々とした空に補正します。

画像補正タブウィンドウの選択色補正ボタン をクリックすると、選択色補正ダイアログが表示されます。

❶ 色域（カラー）選択リストボックス
❷ シアン調整スライダ
❸ マゼンダ調整スライダ
❹ イエロー調整スライダ
❺ 黒調整スライダ
❻ シアン調整値テキストボックス
❼ マゼンダ調整値テキストボックス
❽ イエロー調整値テキストボックス
❾ 黒調整値テキストボックス
❿ リセットボタン

（次ページに続く ☞）

色域（カラー）選択リストボックスで色域（赤（R)、緑（G)、青（B)、シアン（C)、マゼンダ（M)、イエロー（Y)）を選択して、シアン（C)、マゼンダ（M)、イエロー（Y)、黒（K）の各スライダをドラッグしたり、テキストボックスに-100から100の数値を入力します。

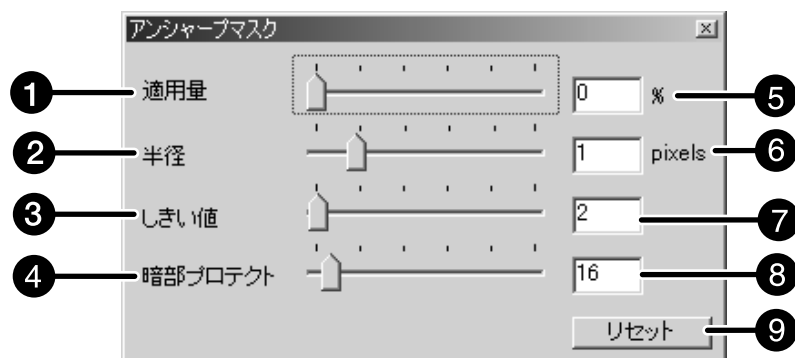
●調整スライダを上げる（右方向にする）と、それぞれの色を補正することができます。
●補正結果は、プレビュー画像に反映されます。

補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると、補正の無い、元の状態に戻ることができます。

アンシャープマスク

アンシャープマスクは、画像を鮮明にし、はっきり見えるようにすることができます。どこか焦点がはっきりしない画像や、眠たくて輪郭があいまいな画像の補正に役立ちます。特に、機械類の金属のメタリックな感じを表現する場合に効果を発揮します。

画像補正タブウィンドウのアンシャープマスクボタン USM をクリックすると、アンシャープマスクダイアログが表示されます。

❶ **適用量調整スライダ**
❷ **半径調整スライダ**
❸ **しきい値調整スライダ**
❹ **暗部プロテクト調整スライダ**
❺ **適用量調整値テキストボックス**
❻ **半径調整値テキストボックス**
❼ **しきい値調整値テキストボックス**
❽ **暗部プロテクト調整値テキストボックス**
❾ **リセットボタン**

（次ページに続く ☞）

アンシャープマスク - 続き

適用量

調整スライダを上げる（右方向にする）または数値を入力すると、ピクセル（pixels）のコントラストの増加量が大きくなります。あまり数値を大きくしますとピクセレーション（ピクセルが目立ってザラついた画像になる現象）を引き起こします。通常高解像度プリント画像には150〜200%をお勧めします。

半径

調整スライダを上げる（右方向にする）または数値を入力すると、エッジの周囲のピクセルがシャープになります。各ピクセルに対してどれくらいの半径でシャープネス効果をかけるかを設定します。通常高解像度プリント画像には1〜2をお勧めします。
この変更は高解像度プリント画像では画面上ほどプリントでは認識できません。2ピクセルの半径では比較的狭い範囲にあるからです。

しきい値

シャープ対象のピクセルを制限するために使います。周囲のピクセルとの差がしきい値を超えたピクセルのみ、シャープ対象のピクセルとして判断されます。2〜20の範囲を設定して肌の色や空の色など、階調の変化がなめらかな部分をさけて必要な部分だけ効果をだすことができます。

暗部プロテクト

シャープ対象のピクセルを制限するために使います。輝度が暗部プロテクト値を超えたピクセルのみ、シャープ対象のピクセルとして判断されます。

アンシャープマスク補正の設定

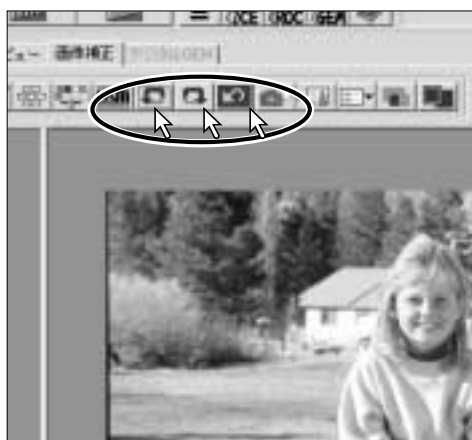
適用量／半径／しきい値／暗部プロテクトの各スライダをドラッグしたり、テキストボックスに適用量は0から500%の数値を、半径には0.1から5.0の数値を、しきい値や暗部プロテクトでは0から255の数値を入力します。

●補正結果は、プレビュー画像に反映されませんが、本スキャンした画像に反映されます。

画像補正タブウィンドウのアンシャープマスクボタン を再度クリックすると、アンシャープマスク補正が設定されダイアログが閉じます。

補正のリセット

［リセット］ボタンをクリックすると、補正の無い、元の状態に戻ることができます。

画像補正のやり直し

画像補正の取り消し

画像補正タブウィンドウの取消ボタン をクリックすると、今の画像補正を取り消して、前の状態に戻します。

●補正前の画像はメモリのある限りさかのぼって戻すことができます。

画像補正の再実行

画像補正タブウィンドウの再実行ボタン をクリックすると、取り消した補正を再度実行することができます。

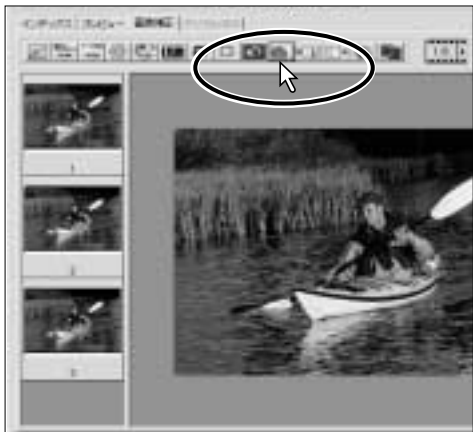
画像補正のリセット

画像補正タブウィンドウの補正取り消しボタン をクリックすると、全ての画像補正を破棄して、いちばん最初のプレビュースキャンの画像に戻します。

●補正内容はすべて取り消されます。上記再実行ボタンをクリックしても、何も再実行されません。

スナップショット

実際の複数の画像補正をサムネイルにして比較したり、プレビュー画面で確認して、より適切な画像補正がおこなえます。

画像補正タブウィンドウのスナップショットボタン をクリックすると、スナップショット表示エリアがウィンドウ左側に現れます。

現在表示されているプレビュー画像を、スナップショット表示エリアに一時的に保管して、サムネイル表示します。
逆に、スナップショット表示エリアのサムネイルをクリックすると、プレビュータブウィンドウにクリックした画像が表示されます。

●メモリの許す限り、スナップショット表示エリアにサムネイル画像を表示できます。

●スナップショット表示エリアのサムネイル画像をクリックすると、その画像がプレビュー画像として表示されます。
●スナップショット表示エリアのサムネイル画像を消去したい場合は、消去したいサムネイル画像をクリックして、Delete キー（Macintosh では、*Command* ⌘キーとD キーを同時に）押します。
●補正の［取消］ボタン（前項）をクリックしたり、ドライバソフトウェアを終了すると、スナップショット表示エリアのサムネイル画像はすべて消去されます。

画像補正の登録

各補正項目で行った画像補正データを、画像補正ジョブとして登録できます。
また登録した画像補正ジョブを呼び出すだけで、スキャンする画像に対して、簡単に画像補正を行うことができます。

画像補正ジョブの登録

1 画像補正タブウィンドウの画像補正ジョブ登録ボタン をクリックします。

●画像補正ジョブ登録ダイアログが表示されます。

2 ジョブ名を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

●直近まで行っていた画像補正データが、画像補正ジョブとして登録されます。

画像補正ジョブの呼び出し

画像補正ジョブを呼び出して、表示されている画像に画像補正を行います。

1 画像補正タブウィンドウの画像補正ジョブ呼び出しボタン をクリックします。

●画像補正ジョブ選択ダイアログが表示されます。

2 前項操作2で登録した画像補正ジョブを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

登録した画像補正ジョブを削除する場合は、画像補正タブウィンドウ上の削除したい画像をクリックしてDeleteキー（Macintosh では、*Command* ⌘キーとD キーを同時に）を押します。

画像補正の比較

画像補正タブウィンドウの補正前後画像比較表示ボタン をクリックすると、左側に補正前の画像が、右側に補正後の画像が表示され、画像を並べて補正結果を確認することができます。

画像補正タブウィンドウの全体表示 をクリックすると、画像補正タブウィンドウ上で補正画像全体を表示します。

Digital ICE/ROC/GEM（デジタルICE/ROC/GEM）

Digital ICE/ROC/GEM機能をお使いになる前に

この画像補正機能を十分に活用するためには、お使いになるパーソナルコンピュータの以下の動作環境を必要または推奨とします。
お使いのパーソナルコンピュータの仕様を再度ご確認ください。

■ Windows

SCSIインターフェース接続の場合

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオンのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	メモリ	HDD空き容量	CPU	メモリ	HDD空き容量
35mm	Pentium 166MHz以上	128MB	約1.2GB	Pentium III以上	512MB	約2GB
マルチフォーマット35mm	Pentium 166MHz以上	256MB	約2GB	Pentium III以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Pentium 166MHz以上	256MB	約4GB	Pentium III以上	512MB	約6GB

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオン＋16Bit取り込みのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	メモリ	HDD空き容量	CPU	メモリ	HDD空き容量
35mm	Pentium 166MHz以上	256MB	約2GB	Pentium III以上	512MB	約3GB
マルチフォーマット35mm	Pentium 166MHz以上	256MB	約3GB	Pentium III以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Pentium 166MHz以上	256MB	約6GB	Pentium III以上	512MB	約8GB

IEEE1394インターフェース接続の場合

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオンのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	メモリ	HDD空き容量	CPU	メモリ	HDD空き容量
35mm	Pentium II以上	128MB	約1.2GB	Pentium III以上	512MB	約2GB
マルチフォーマット35mm	Pentium II以上	256MB	約2GB	Pentium III以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Pentium II以上	256MB	約4GB	Pentium III以上	512MB	約6GB

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオン＋16Bit取り込みのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	メモリ	HDD空き容量	CPU	メモリ	HDD空き容量
35mm	Pentium II以上	256MB	約2GB	Pentium III以上	512MB	約3GB
マルチフォーマット35mm	Pentium II以上	256MB	約3GB	Pentium III以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Pentium II以上	256MB	約6GB	Pentium III以上	512MB	約8GB

■ Macintosh

SCSIインターフェース接続の場合

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオンのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量
35mm	Power PC 604以上	96MB	約1.5GB	Power PC G4以上	384MB	約2GB
マルチフォーマット35mm	Power PC 604以上	192MB	約2GB	Power PC G4以上	384MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Power PC 604以上	192MB	約4GB	Power PC G4以上	384MB	約6GB

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオン＋16Bit取り込みのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量
35mm	Power PC 604以上	256MB	約2GB	Power PC G4以上	512MB	約3GB
マルチフォーマット35mm	Power PC 604以上	256MB	約3GB	Power PC G4以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Power PC 604以上	256MB	約6GB	Power PC G4以上	512MB	約8GB

IEEE1394インターフェース接続の場合

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオンのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量
35mm	Power PC 604以上	96MB	約1.2GB	Power PC G4以上	384MB	約2GB
マルチフォーマット35mm	Power PC 604以上	192MB	約2GB	Power PC G4以上	384MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Power PC 604以上	192MB	約4GB	Power PC G4以上	384MB	約6GB

Digital ICE/Digital ROC/Digital GEMをオン＋16Bit取り込みのとき

	最低動作環境			推奨環境		
	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量	CPU	空き メモリ	HDD 空き容量
35mm	Power PC 604以上	256MB	約2GB	Power PC G4以上	512MB	約3GB
マルチフォーマット35mm	Power PC 604以上	256MB	約3GB	Power PC G4以上	512MB	約4GB
マルチフォーマット6×9	Power PC 604以上	256MB	約6GB	Power PC G4以上	512MB	約8GB

※Macintoshの空きメモリはOS、アプリケーションに必要なメモリを除いた空き容量です。
Photoshopの場合は、Photoshopの推奨サイズと空きメモリを足して割り当ててください。

Digital ICE（デジタルICE）

Digital ICE（Image Correction Enhancement）は、目に見えるホコリやキズ、指紋、カビなどを自動で補正します。

メインウィンドウのデジタルICEボタン をクリックします。

●Digital ICE機能がオンになります（機能が働くようになります）。この状態でプレビュースキャン、本スキャンを実行すると、目に見えるホコリやキズ、指紋、カビなどの画像表面のキズが除去された画像が表示されます。

●白黒フィルムをスキャンする場合は、Digital ICE機能は無効になります（オンにできません）。
●Digital ICE機能をオンにしたときは、スキャン時間が長くなります。
●コダック コダクロームは使用できません。
●次の白黒フィルムはカラーフィルム用の現像を行い、メインウィンドウのフィルムタイプ選択リストでカラーネガを選択すると、Digital ICE機能を使ってスキャンできます。
イルフォード XP2　SUPER
コダック　T400CN
Select Black&White 400

Digital ROC（デジタルROC）

Digital ROC（Reconstruction Of Color）は、退色したフィルムの色を復元する画像補正機能です。
時間とともに色褪せてしまったフィルムでも、この機能を使うことで、失われた色を画像取り込み時に自動的に再構築して色補正を行い、適切な色合いのデジタル画像を再生します。

メインウィンドウのデジタルROCボタン をクリックします。

●Digital ROC機能がオンになります（機能が働くようになります）。この状態でプレビュースキャン、本スキャン（122ページ参照）を実行すると、退色した色が復元された画像が表示されます。

●白黒フィルムをスキャンする場合や、カラーフィルムでも環境設定（36ページ参照）で取り込みモードとして「16bitリニア」を選んでいる場合は、Digital ROC機能は無効になります（オンにできません）。
●Digital ROC機能をオンにしているときは、環境設定（36ページ参照）の「カラーポジでAEする」の設定、および、カラーマッチングの設定、また、プレビュースキャンのAEロック機能（68ページ参照）、AEエリアロック機能（69ページ参照）は、すべて無効になります。
●Digital ROC機能を使う際は、本スキャンの前にかならずプレビュースキャンを行ってください。またプレビュースキャン後に、ポイントAF（72ページ参照）または マニュアルフォーカス（73ページ参照）でフォーカス調整をしてから、本スキャンを実行してください（環境設定（36ページ参照）で「スキャン時のAF」をオンにしておく（チェックボックスにチェックマーク✓をつけておく）ことをおすすめします）。
●Digital ROC機能がオンのとき、もう一度デジタルROCボタンをクリックすると、Digital ROC機能はオフになります（機能が働かないようになります）。
●フィルムや退色の状態によっては、Digital ROCの効果が得られにくい場合があります。また通常の（退色していない）フィルムにDigital ROC機能を使用すると、正しくない色が表示される場合があります。
●Digital ROC機能を使用すると、この機能を使用しない場合に比べてスキャンに要する時間は長くなります。
●Digital ROC機能がオンの場合は、プレビュースキャン時に本スキャンと同等の読み取りを行います。本スキャン時は、プレビュースキャン時に取得した画像を本スキャン画像として取り込みますので、プレビュースキャンを実行している場合は、本スキャン時のスキャン動作は行われず、画像の処理だけを行います。
●次の白黒フィルムはカラーフィルム用の現像を行い、メインウィンドウのフィルムタイプ選択リストでカラーネガを選択すると、Digital ROC機能を使ってスキャンできます。
イルフォード XP2　SUPER
コダック　T400CN
　　　　　Select Black&White 400

当社ホームページに、Digital ICE/ROC/GEMの効果作例画像を掲載しております。
詳しくは、http://www.minolta.com/japan/dp/multipro/ をご覧ください。

Digital GEM（デジタルGEM）

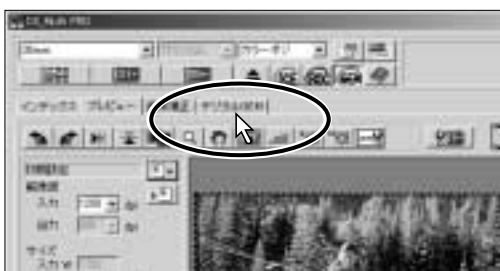
Digital GEM（Grain Equalization & Management）は、フィルムの粒状性ノイズを軽減する画像補正機能です。
高感度フィルムで撮影された原稿や高解像度で画像を取り込んだ場合、粒状性が目立つことがあります。この機能を使うことで、取り込んだ画像の粒状性を自動で補正しますので、35㎜で撮った画像を拡大しても、粒状性の軽減された滑らかな画質が得られます。

1 メインウィンドウのデジタルGEMボタン をクリックします。

● ［デジタルGEM］タブがアクティブ（有効）になります。

2 メインウィンドウのプレビューボタン をクリックします。

●プレビュースキャンを行います。
●タブが［プレビュータブ］に変わり、タブウィンドウにプレビュー画像が表示されます。

3 スキャン設定ウィンドウ（111ページ参照）で入力解像度を設定します。

4 ［デジタルGEM］タブをクリックします。

●次ページの画面が現れます。

（次ページに続く ☞）

デジタルGEM調整スライダ

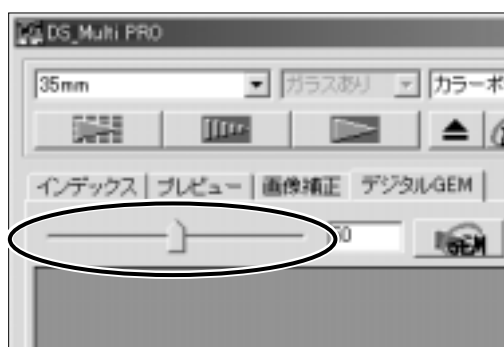
デジタルGEM調整値テキストボックス

デジタルGEM確認ボタン

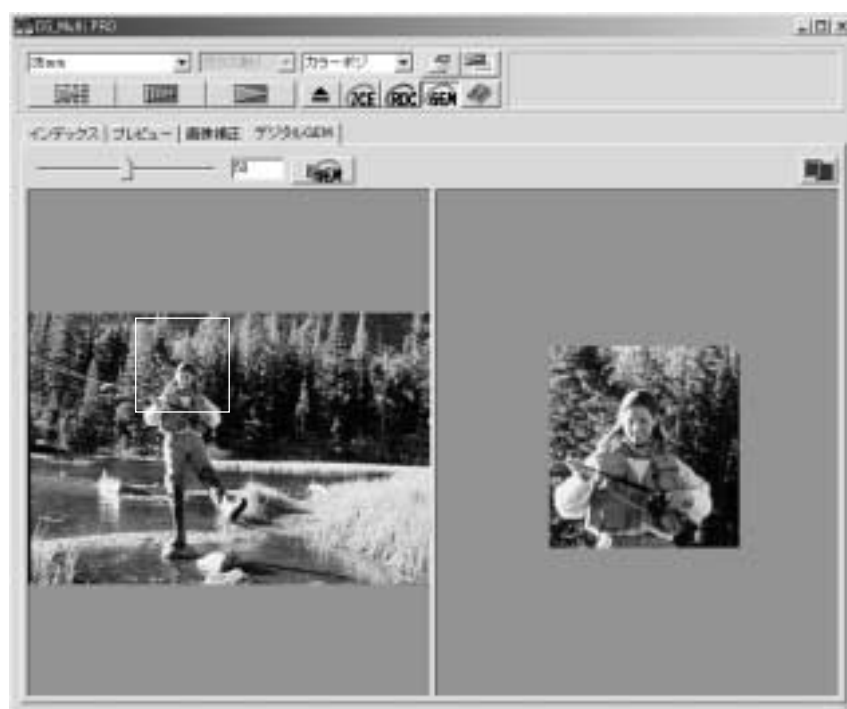
全体表示ボタン

デジタルGEM確認エリア

プレビュー画像表示エリア

デジタルGEM確認用画像表示エリア

5 デジタルGEMタブウィンドウのデジタルGEM調整スライダをマウスでドラッグするか、または、調整値テキストボックスに直接数値を入力します。

●数値は、0〜100までの値を入力できます。調整値に大きい値を設定するほど、補正の効果が強くなります。

▼

6 必要に応じてデジタルGEM確認エリアをサイズ変更・移動させ、補正効果を確認したいエリアを指定します。

- 初期設定では確認エリアは、プレビュー画像の中央に、64pixel×64pixelの大きさで表示されます。
- 確認エリアのサイズ変更や移動の操作方法は、トリミング枠のサイズ変更や移動の操作（70ページ参照）と同様です。

7 デジタルGEMタブウィンドウのデジタルGEM確認ボタンをクリックします。

- デジタルGEM確認用画像を取得するために、操作3で設定した入力解像度で、フィルムをスキャンします。
- 操作5で設定した値に応じて、操作6で指定した確認エリアの粒状性ノイズが軽減された確認用画像が、デジタルGEM確認用画像表示エリアに表示され、補正の効果を確認できます。
- 全体表示ボタンをクリックすることにより、デジタルGEM確認用画像表示エリア内で確認の拡大表示ができます。

（次ページに続く ☞）

8 必要に応じて操作5～操作7を繰り返し、最適な補正効果の得られるデジタルGEM調整値を決定します。

9 スキャンボタン をクリックして、本スキャンを行います。

●設定値（デジタルGEM調整値）にしたがって、粒状性ノイズが軽減された画像がスキャンされます。
●本スキャン時は、デジタルGEM確認時に取得した画像を本スキャン画像として取り込みますので、デジタルGEM確認を実行している場合は、本スキャン時のスキャン動作は行われず、画像の処理だけを行います。

●本スキャン以降の操作方法については、次ページ以降をご覧ください。

●白黒フィルムをスキャンする場合は、Digital GEM機能は無効になります。
●Digital GEM機能を使う際は、本スキャンの前にかならずプレビュースキャンを行ってください。またプレビュースキャン後に、ポイントAF（72ページ参照）または マニュアルフォーカス（73ページ参照）でフォーカス調整をしてから、本スキャンを実行してください（環境設定（36ページ参照）で「スキャン時のAF」をオンにしておく（チェックボックスにチェックマーク✔をつけておく）ことをおすすめします)。
●フィルムの状態によっては、Digital GEMの効果が得られにくい場合があります。
●Digital GEM機能を使用すると、この機能を使用しない場合に比べてスキャンに要する時間は長くなります。
●次の白黒フィルムはカラーフィルム用の現像を行い、メインウィンドウのフィルムタイプ選択リストでカラーネガを選択すると、Digital GEM機能を使ってスキャンできます。
イルフォード XP2 SUPER
コダック T400CN
Select Black&White 400

◆Digital ICE³™、Digital ICE™、Digital ROC™、Digital GEM™は、米国Applied Science Fiction社の商標であり技術です。

◆Digital ICE³™は、Digital ICE™、Digital ROC™とDigital GEM™とを含んだものです。

操作編 III　本スキャンと画像の保存

スキャン設定して画像を保存するまでの操作の流れ

「ジョブ機能」とは（112ページ）

「ジョブ」であらかじめ登録してある設定を使用しスキャンする場合

1．ジョブの登録と呼び出し適用する
　ジョブを選ぶ（113ページ）

ユーザーが選択できるそれぞれのジョブ設定の詳細説明は「資料」の「ジョブファイルリスト」（137～150ページ）に記載しています。

自分でスキャン条件を設定してスキャンする場合

2．スキャン条件の設定（115ページ）
- 入力解像度の設定
- 出力解像度の設定
- 入力サイズの設定
- 倍率の設定
- 出力サイズの設定
- 単位の設定
- 画像データ量の確認
- 設定のリセット

3．本スキャンする（122ページ）
- TWAINドライバ／Plug-inモジュールを使う場合（122ページ）
- ユーティリティソフトウェアを使う場合（123ページ）

4．スキャンした画像を保存する（123ページ）

「スキャン設定ウィンドウ」で解像度やサイズを設定してジョブとして登録できます

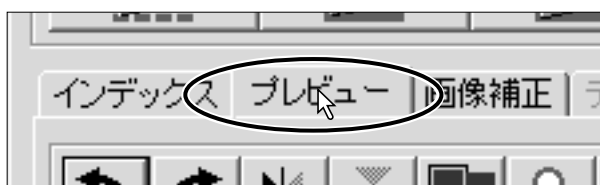
1．スキャン設定ウィンドウを呼び出す（111ページ）

2．設定項目を入力する（118ページ）

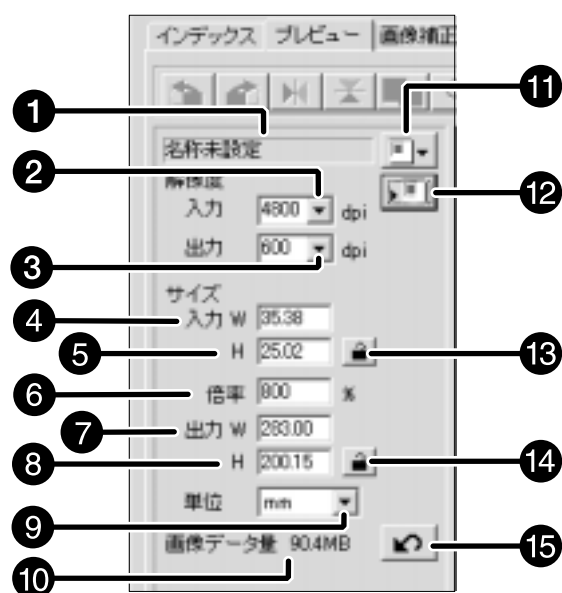
3．スキャン設定をジョブとして登録（120ページ）

スキャン設定ウィンドウ

スキャン設定ウィンドウでは、原稿フィルムをどれくらい細かく読み取るのか（入力解像度）とか、どれくらい細かく出力するのか（出力解像度）、どの大きさで出力するのか（出力サイズ/倍率）といったさまざまな設定を行ないます。

プレビュータブの選択

本スキャンの条件を設定するためにプレビュータブをクリックします。

プレビュータブのウィンドウの下段には以下のようなスキャン設定ウィンドウが表示されます。

スキャン設定ウィンドウの各部名称

❶ ジョブ名表示リスト
❷ 入力解像度選択リストボックス
❸ 出力解像度選択リストボックス
❹ 入力サイズ幅テキストボックス
❺ 入力サイズ高さテキストボックス
❻ 倍率入力テキストボックス
❼ 出力サイズ幅テキストボックス
❽ 出力サイズ高さテキストボックス
❾ 単位選択リストボックス
❿ 画像容量表示
⓫ ジョブ呼出ボタン
⓬ ジョブ登録ボタン
⓭ 入力サイズロックボタン
⓮ 出力サイズロックボタン
⓯ スキャン条件リセットボタン

ジョブを使ったスキャン設定

ジョブ機能

本スキャンの前には、スキャン設定ウィンドウで、原稿フィルムをどれくらい細かく読み取るのか（入力解像度）とか、どれくらい細かく出力するのか（出力解像度）、どの大きさで出力するのか（出力サイズ/倍率）といったさまざまな設定が必要になります。
これらの設定は、画像の最終的な使用目的やサイズ等に応じた最適な結果を本スキャンで得るために、とても重要な設定なのですが、初心者にとっては複雑で分かりにくいものになっています。

「ジョブ」とは、このスキャン設定ウィンドウ上での全項目についての設定を、名前を付けてファイルとして保存し、必要なときに呼び出す機能のことです。この「ジョブ」を使うことで、解像度や画像サイズ、倍率といった複雑なスキャン設定を簡素化でき、スキャナ初心者の方でも簡単に、使用目的にあった最適の設定で本スキャンが行なえます。

スキャン設定ウィンドウでは、最大で8つの項目について数値などを設定します。「ジョブ」ではその8つの項目について、ある1つのパターンの設定を1つのファイルとして保存します。設定のパターンが変わるとそれはまた別のファイルとして保存され、それらが集まって「ジョブファイルリスト」を形成しています。「ジョブファイルリスト」は、画像の出力先（何に出力するか）別に大きく10個に分類されており（そのひとつひとつを「カテゴリー」といいます）、全部で約570種類が用意されています。

もちろん、それ以外の任意の設定を「ジョブファイルリスト」に追加登録する（120ページ参照）ことができますので、中・上級者の方は普段よく使うスキャン設定を「ジョブファイルリスト」に登録しておくことで、作業をより効率化することができます。また、スキャンする画像にかかわらずスキャン設定が一定の場合、ジョブファイルとして登録しておくことで作業時間の短縮ができます。

※セットアッププログラム（インストーラ）の指示通りにソフトウェアをインストールした場合、ジョブファイルは以下のフォルダに、カテゴリー別のフォルダとして収められています。

Windows®の場合（起動ハードディスクを Cドライブ とします）
［C:］→［Program Files］フォルダ→［DS_MultiPRO］フォルダ→［Job］フォルダ

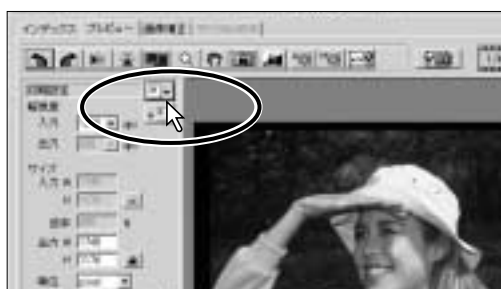
Macintoshの場合
［起動ディスクのシステム］フォルダ→［初期設定］フォルダ→［DS Multi PRO Jobs］フォルダ

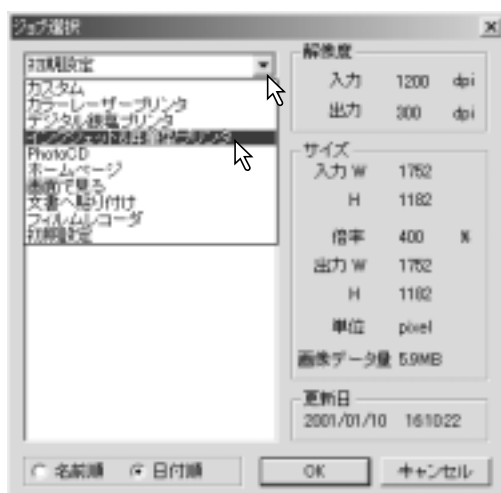
※ジョブリストへの追加登録やジョブファイルの削除は、後述する「ジョブを登録する」「ジョブを削除する」に記載の手順で行なってください。上記フォルダ内のファイルを、エクスプローラや Macintosh の Finder で直接操作しないでください。

※本書の137〜150ページに、すべてのジョブのスキャン設定内容を表にまとめた「ジョブファイルリスト」を記載しています。

ジョブ

ジョブを読み込む

既存のジョブファイルリストからひとつのジョブファイルを読み込んで、現在のプレビュー画像にそのファイルの（スキャン）設定を適用します。

1 スキャン設定ウィンドウのジョブ呼び出しボタン をクリックします。

●ジョブ選択ダイアログが現れます。

2 ジョブカテゴリー選択リストボックスから、カテゴリーを選びます。

3 表示されるリストから、設定を適用したいジョブを選びます。

●選んだジョブのファイルに保存されているスキャン設定の内容が、ダイアログ右側に表示されます。別のジョブを選ぶと、それに応じてスキャン設定の内容も変わります。

●ダイアログ左下のラジオボタンで、ジョブの並び順を、名前順か日付順かに変えることができます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

●選んだジョブの設定がプレビュー画像に適用され、ジョブ選択ダイアログは閉じられます。選んだジョブは、スキャン設定ウィンドウのジョブ名リストに表示されます。

カテゴリーについて

カテゴリー名	
カスタム	お客様が、ご自身の固有の設定等を任意に登録できるカテゴリーです。
カラーレーザープリンタ	スキャン画像を、デジタルカラーコピー機やカラーレーザープリンタなどで出力することを前提にしたスキャン設定が保存されています。 出力解像度を600dpi、出力サイズを A4 と レターサイズ のバリエーションで出力する場合のスキャン設定です。6種類の設定が用意されています。
デジタル銀塩プリンタ	スキャン画像を、銀塩方式の高画質プリンタなどで出力することを前提とした設定が保存されています。 出力解像度は400dpi、画像の出力サイズは、プリンタの用紙サイズに合わせて12種類の設定が用意されています。
インクジェット& 昇華型プリンタ	スキャン画像を、インクジェットプリンタまたは昇華型プリンタで出力することを前提として、出力解像度を300dpi、出力サイズははがき全面サイズからA3ノビサイズまで11種類の設定が保存されています。
Photo CD	写真画像を記録できる追記型CD（マスターフォトCD）への記録。出力解像度を300dpi、768×512ドットから1536×1024ドットまでの3種類の設定が保存されています。
ホームページ	インターネットのホームページに掲載するための、出力解像度を72dpi、984×663ドットから 1112×750ドットまで7種類のスキャン設定が保存されています。
画面で見る	モニター画面で見ることを前提とし、出力解像度を72dpi、画面サイズに合わせた 1920×1200ドット から 640×480ドット まで9種類のスキャン設定が保存されています。
文書へ貼り付け	ワープロ文書などにスキャン画像を挿入することを前提としたスキャン設定が保存されています。出力解像度72dpi、出力サイズを A4/レターサイズ の1/2 から 1/8 とした設定が保存されています。6種類の設定が用意されています。
フィルムレコーダ	プレゼンテーション資料などフィルムレコーダで記録することを前提としています。35㎜フィルム 2K、3Kの設定が保存されています。
初期設定	最高解像度の1/4で全画面をスキャンする設定が保存されています。

スキャン設定項目

❶ 入力解像度選択リストボックス

入力解像度を設定します。選択リストボックスに表示される数値の中から選択するか、選択リストボックスをダブルクリックして直接数値を入力します。
選択したフィルムフォーマットによって、表示される入力解像度が異なります。◎は初期設定値を表わします。

フィルムフォーマット	設定可能範囲	リストの項目
35mm、 マルチフォーマット 35mm	4800～300	4800/2400/1600/◎1200/800/600/480
ブローニ、 マルチフォーマット6×9	4800～200	4800/3200/2400/1600/1200/◎800/600/400/320

（直接数値を入力する場合は、「設定可能範囲」欄の記載範囲の任意の値）

❷ 出力解像度選択リストボックス

出力解像度を設定します。選択リストボックスに表示される数値の中から選択するか、選択リストボックスをダブルクリックして直接数値を入力します。
選択リストボックスに表示される数値は以下のとおりです。◎は初期設定値です。

2400/1440/1200/800/720/600/400/360/350/◎300/240/200/180/150/96/72/36
（直接数値を入力する場合は、36～2400 の範囲の任意の値）

※単位選択リストボックスで「pixel」を選んでいるときは、出力解像度は選択/設定できません。

❸ 入力サイズテキストボックス

入力サイズを入力します。通常入力サイズは、お客様の設定されたトリミング枠（62ページ参照）の大きさで決まりますが、W（幅）とH（高さ）のボックスに直接数値を入力することもできます。この場合は、入力した値に応じてトリミング枠の大きさが変わります。

※単位選択ドロップダウンリストで「pixel」を選んでいるときは、入力サイズは選択/設定できません。

❹ 入力サイズロックボタン

入力サイズテキストボックス内の数値をロック（変更できない状態に）します。
入力サイズをロックするとトリミング枠もロックされ、大きさの変更ができなくなります。

❺ 倍率入力テキストボックス

倍率を設定します。通常は入力解像度を出力解像度で割った値、または、出力サイズを入力サイズで割った値が百分率（%）で表示されます。ボックスに直接数値を入力することもできます。

※入力サイズと出力サイズがロックされていない（変更できる状態の）ときは、設定した倍率に応じて入力解像度と出力サイズが変わります。
※出力サイズがロックされている（変更できない状態の）ときは、設定した倍率に応じて入力解像度と入力サイズが変わります。
※入力サイズがロックされている（変更できない状態の）ときは、設定した倍率に応じて入力解像度と出力サイズが変わります。
※単位選択ドロップダウンリストで「pixel」を選んでいるときは、倍率は選択/設定できません。

❻ 出力サイズテキストボックス

出力サイズを入力します。初期設定では、本スキャン後に100%の縮尺で印刷される場合の大きさになります。
通常出力サイズは、入力解像度と出力解像度、そしてお客様の設定されたトリミング枠（70ページ参照）の3つで大きさで決まりますが、W（幅）とH（高さ）のボックスに直接数値を入力することもできます。この場合は、入力した値に応じて入力解像度と入力サイズが変わり、トリミング枠も大きさが変わります。

❼ 出力サイズロックボタン

出力サイズテキストボックス内の数値をロック（変更できない状態に）します。

❽ 単位選択リストボックス

入力サイズ、出力サイズの（長さの）単位を選択します。選択リストボックスに表示される項目の中から選択します。
選択リストボックスに表示される項目は以下のとおりです。◎は初期設定項目です。
◎pixel/mm/cm/inch/pica/point

❾ 画像容量表示

現在のスキャン設定の状態で本スキャンした後の、画像の容量の目安を表示します。

❿ スキャン条件リセットボタン

スキャン設定を、現在選択されているジョブの値に初期化します。

解像度と出力サイズ

解像度とは画像の1インチ（約25.4㎜）の長さの中に入る画素の数で、単位はdpi（ドットパーインチ）で表わします。
画像のサイズと解像度は画像データファイルの大きさにかかわっており、高解像度の画像はスキャン時間やプリント時間が低解像度の画像と比べて長くかかります。

出力解像度は画像を出力する機器によって必要な解像度が決まります。たとえば一般のディスプレイでは72dpi、一般のプリンタで150〜300dpi などです。
各項目の関係は以下の式で表わされます。

$$\frac{\text{入力解像度}}{\text{出力解像度}} = \frac{\text{出力サイズ}}{\text{入力サイズ}} = \text{倍率}$$

たとえば、35㎜フィルムの画像を、解像度300dpi のプリンタで 15㎝×10㎝ の大きさに、できるだけ高品質の画像を印刷したい場合、上式に当てはめると、

$$\frac{\text{入力解像度}}{\text{300dpi}} = \frac{\text{100㎜}}{\text{24㎜（フィルムの短辺側）}} = \text{約4倍}$$

となり、これから、300dpi × 4倍 で、1200dpi の入力解像度が必要ということがわかります。

スキャン設定ウィンドウを使った設定

スキャン設定の例―モニタに表示する場合

ここでは13型モニタ（640ドット×480ドット）に表示する場合を例に説明します。

1 単位選択リストボックスから選択し、「pixel」を選びます。

●出力解像度、入力サイズがグレーに変わり、入力できなくなります。

2 出力サイズのW（幅）に640、H（高）に480 と入力し、出力サイズロックボタン をクリックします。

●出力サイズがロック（変更できない状態に）され、グレー表示に変わります。

3 トリミング枠をドラッグして、トリミングエリアを決めます（70ページ参照）。

●トリミングエリアに連動して、入力解像度が変わります。

※以上でスキャン設定は終了です。

スキャン設定の例―プリンタに印刷する場合

ここでは横長方向のはがき（148㎜×100㎜）に解像度360dpi のプリンタで印刷する場合を例に説明します。

1 単位選択リストボックスから選択し、「mm」を選びます。

2 出力解像度選択リストボックスから選択し、「360」を選びます。

●お使いのプリンタの解像度については、そのプリンタの取扱説明書をご覧になるか、プリンタ製造メーカーにお問い合わせください。

3 出力サイズのW（幅）に148.00、H（高）に100.00 と入力し、出力サイズロックボタン 🔒 をクリックします。

● 出力サイズがロック（変更できない状態に）され、グレー表示に変わります。

4 トリミング枠をドラッグして、トリミングエリアを決めます（70ページ参照）。

●トリミングエリアに連動して、入力解像度が変わります。
● 出力サイズをロック（変更できない状態に）しているため、トリミング枠の縦横比は変わりません。変更したい場合は出力サイズロックボタンを再度クリックして、ロックを解除します。しかしこの場合は、得られる画像のサイズがトリミングエリアによって変更されます。

※以上でスキャン設定は終了です。

スキャン設定の登録

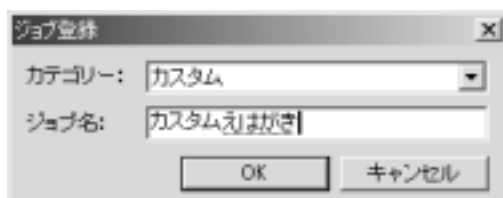
ジョブとして登録する

お客様の普段よくお使いになる設定やお好みの設定を、既存のジョブファイルリストに追加登録することができます。

1 スキャン設定ウィンドウで、ジョブとして登録したいスキャン設定を設定します。

2 スキャン設定ウィンドウのジョブ登録ボタンをクリックします。

●ジョブ登録ダイアログが現れます。

3 「カテゴリー：」の選択リストボックスから登録するカテゴリーを選択します。

4 「ジョブ名：」を入力して［OK］ボタンをクリックします。

●入力した名前で、スキャン設定がジョブとして登録され、ジョブ登録ウィンドウが閉じられます。

●ジョブ名は全角12文字以内、半角24文字以内で入力してください。

スキャン設定ジョブの削除

ジョブを削除する

不要なスキャン設定ジョブをジョブファイルリストから削除します。

1 ジョブ呼出ボタン をクリックします。

●スキャン設定ジョブ選択ダイアログが現れます。

2 ジョブカテゴリー選択リストボックスから、削除したいジョブを登録したカテゴリーを選びます。

3 削除したいジョブ名をクリックし、
Windows®：
Deleteキーを押します。
Macintosh：
Command（⌘）キーとDキーを同時に押します。

●削除したジョブを復活させることはできません。誤って削除した場合は、120ページからの記載の手順で、再度登録し直してください。

本スキャンする

プレビュー画像に対してのトリミングや各補正を行い、ジョブの選択でプレビュー画像に対してのスキャン設定が終了したら、本スキャンを行ないます。

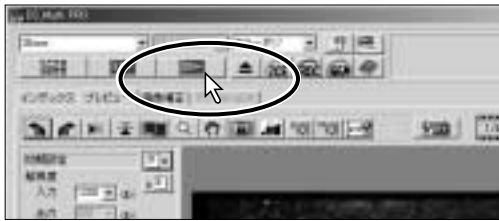
【TWAINドライバ/Plug-inモジュール と 画像処理アプリケーション をお使いの場合】

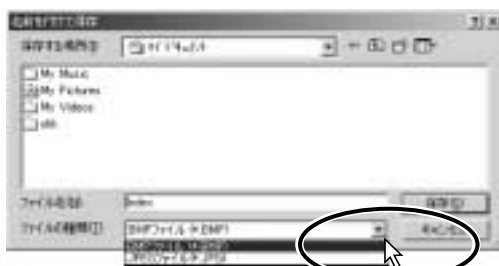
1 メインウィンドウのスキャンボタン をクリックします。

●本スキャンが始まります。
●スキャンニングが完了すると、本スキャン画像は画像処理アプリケーションソフトのウィンドウに表示されます。

2 以後は、各画像処理アプリケーションソフトの操作にしたがって作業を進めてください。

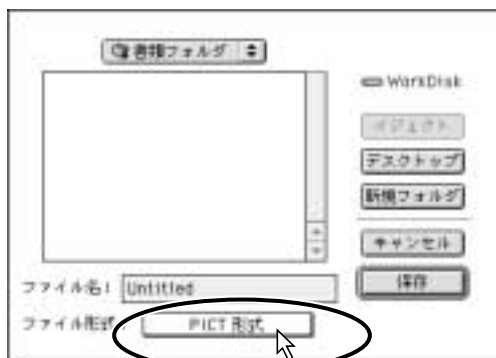
●詳細は、各画像処理アプリケーションソフトに付属のマニュアル等をご覧ください。

【ユーティリティソフトウェアをお使いの場合】

1 メインウィンドウのスキャンボタン をクリックします。

●各オペレーティングシステム標準のファイル保存ダイアログが現れます。

【Windows®】

2 保存先を設定し、保存するファイル名を入力します。

3 「ファイルの種類（T）:」選択リストボックス（または、「ファイル形式：」プルダウンメニュー）から、保存する画像の形式を選びます。

●［JPEG］を選んだときは、圧縮率を3つのオプション［低圧縮率（高画質）］［標準］［高圧縮率］から1つ選びます。
●Macintoshの［PICT］では、横4,096 pixel以上の画像は保存できません。他の［JPEG］または［TIFF］にて保存してください。

【Macintosh】

ユーティリティソフトウェアでは、本スキャン後の画像を以下の形式で保存することができます。

Windows® Bitmap（BMP）（Windows® 版のみ）

Windows® が標準でサポートしている画像形式です。この形式で保存された画像ファイルは、特別な画像処理アプリケーションがなくても、Microsoft Paint など OS に標準で添付されているソフトウェアで見ることができます。

JPEG

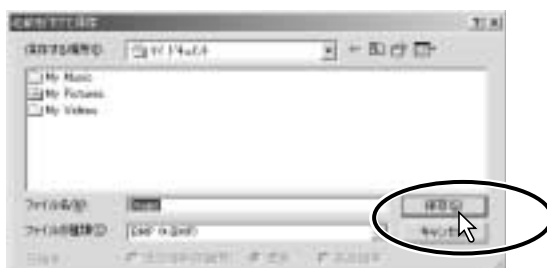
Joint Photographic Experts Group の略で、本来は静止画像の圧縮・伸張に関する国際標準規格のことをいいます。後述する TIFF 形式同様プラットフォームに依存せず、また圧縮率も大きいので、広く用いられている形式です。

TIFF（非圧縮）

Tag Image File Format の略で、高解像度のビットマップファイルです。マルチプラットフォームのファイル形式ですので、IBM-PC/AT やその互換機、Macintosh などさまざまな機種で取り扱うことのできるファイル形式です。

PICT（Macintosh 版のみ）

Macintosh で最も広く使われており、事実上標準の画像形式です。この形式で保存された画像ファイルは、特別な画像処理アプリケーションがなくても、SimpleText など OS に標準で添付されているソフトウェアで見ることができます。画像幅4,096pixlは、PICTでは対応してません。

●環境設定で「取り込みモード」を16bitまたは16bitリニアを選択した場合（36ページ参照）は、TIFFのみが有効になります。

4 ［保存（S)］ボタンをクリックします。

●本スキャンが始まります。
●スキャンニングが完了すると、指定した保存場所に、入力したファイル名で、選んだ画像形式で保存されます。
●保存後、画面はプレビューウィンドウにもどります。

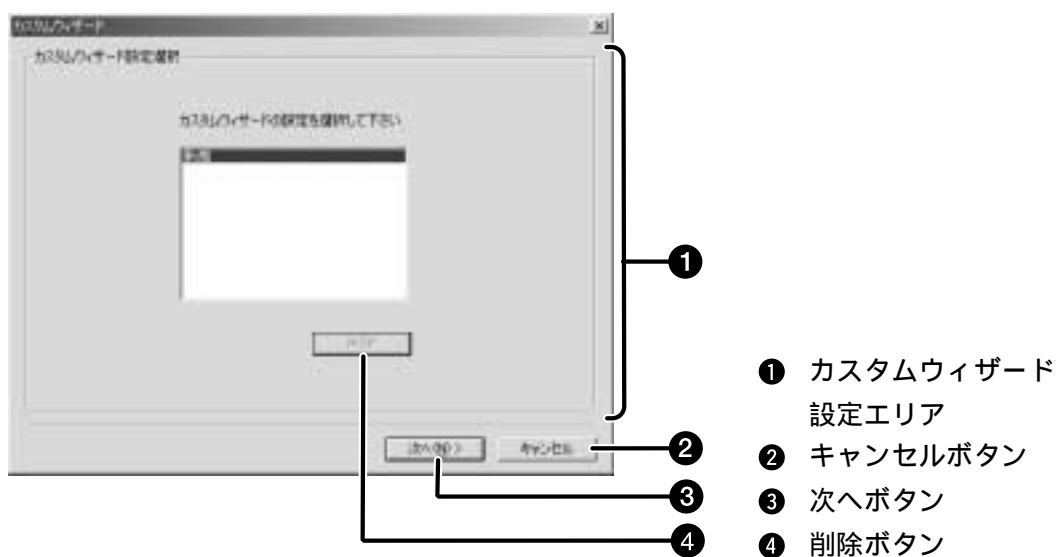
カスタムウィザード

カスタムウィザードを使うと、スキャン時の一連の操作を自動化（ナビゲーション機能）することができます。メインウィンドウの［カスタムウィザード］ボタンをクリックすると、カスタムウィザードウィンドウが表示されます。

初期設定では自動操作でインデックススキャン、プレビュースキャン、自動トリミング、そして本スキャンします。

1　スキャンしようとしているフィルムのホルダをスキャナにセットします。

2　メインウィンドウのカスタムウィザードボタン をクリックします。

●カスタムウィザードウィンドウが表示されます。

●初めてカスタムウィザードウィンドウを表示したときは、「新規」が選択されています。

3 カスタムウィザードのセットを新しく作る場合は、「新規」をクリックし、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

●フィルム選択ウィンドウが表示されます。

❶ フィルムフォーマット選択リストボックス
❷ ホルダータイプ選択リストボックス
❸ フィルムタイプ選択リストボックス
❹ コマ番号選択チェックボックス

●詳しくは、「フィルムフォーマットを選ぶ」（51ページ参照）をご覧ください。
●スキャンするコマ番号を選択チェックボックスにチェックマークをつけます。

4 ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

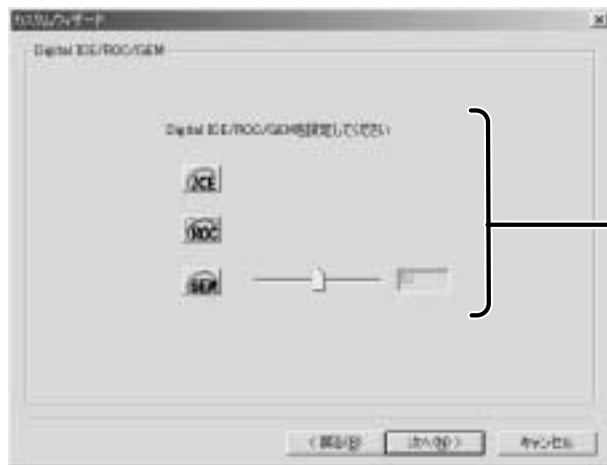
●環境設定ウィンドウが表示されます。

❶ 「カラーポジでAEする」チェックボックス
❷ 「スキャン時のAF」チェックボックス
❸ 「取り込みモード」選択リストボックス
❹ マルチサンプルスキャニング選択リストボックス
❺ カラーマッチングチェックボックス

●カラーポジでAEする、スキャン時のAF、取り込みモード、マルチサンプルスキャニング、カラーマッチングについて詳しくは、「環境設定を行う」（36ページ参照）、「カラーマッチング」（133ページ参照）をご覧ください。

（次ページに続く ☞）

5 [次へ(N)>］ボタンをクリックします。

●Digital ICE/ROC/GEMウィンドウが表示されます。

❶ **Digital ICE、Digital ROC、Digital GEM、デジタルGEM調整スライダ、調整値テキストボックス**

●各機能について詳しくは、「Digital ICE」、「Digital ROC」、「Digital GEM」（102〜109ページ参照）をご覧ください。

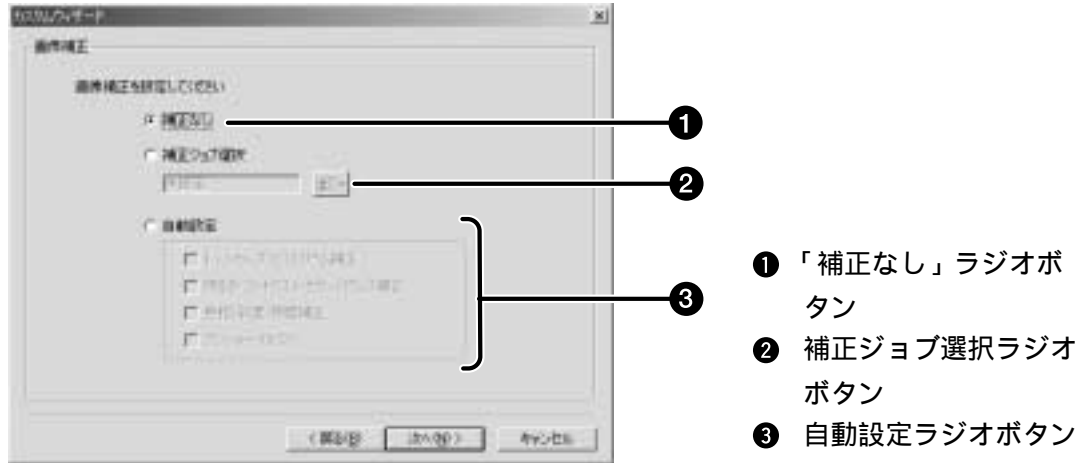
6 [次へ(N)>］ボタンをクリックします。

●スキャン設定ウィンドウが表示されます。

❶ **スキャン設定パート**
❷ **自動トリミング設定チェックボックス**

●スキャン設定について詳しくは、「スキャン設定ウィンドウ」（111ページ参照）をご覧ください。
●自動トリミング設定チェックボックスをチェックすると、自動的にプレビューを行い、自動的にトリミングを行います（70ページ参照）。

7 ［次へ(N)＞］ボタンをクリックします。

●画像補正ウィンドウが表示されます。

●画像補正について詳しくは、「画像補正タブ」（75ページ参照）をご覧ください。

8 ［次へ(N)＞］ボタンをクリックします。

●設定完了ウィンドウが表示されます。

●［保存］ボタンをクリックすると、ウィザード設定保存ウィンドウが表示されます。名前をつけて［OK］ボタンをクリックすると、設定内容が登録保存され、次回、手順 2 で選択することにより簡単に呼び出すことができます。

（次ページに続く ☞）

9 ［実行］ボタンをクリックします。

●設定完了ウィンドウが表示されたままスキャンが始まり、スキャン終了時にスキャン完了ウィンドウが表示されます。
●指定した全コマのスキャンが完了すると、フィルムホルダがイジェクトされます。
●「自動トリミング」または画像補正の「自動設定」のいずれかをチェックした場合のプレビュー画面は、カスタムウィザード終了時点のメインウィンドウに表示されます。

続けて同じ設定でスキャンする場合は、スキャン完了ウィンドウの［実行］ボタンをクリックします。
●続けてスキャンが始まります。

作業が完了したときは、［終了］ボタンをクリックします。
●カスタムウィザードが終了します。

登録した設定を実行する

カスタムウィザートの登録した設定を呼び出すことにより、簡単にスキャニング操作ができます。

1 スキャンしようとしているフィルムのホルダをスキャナにセットします。

2 メインウィンドウのカスタムウィザードボタン をクリックします。

●カスタムウィザードウィンドウが表示されます。

3 登録してある名前を選択して、[実行] ボタンをクリックします。

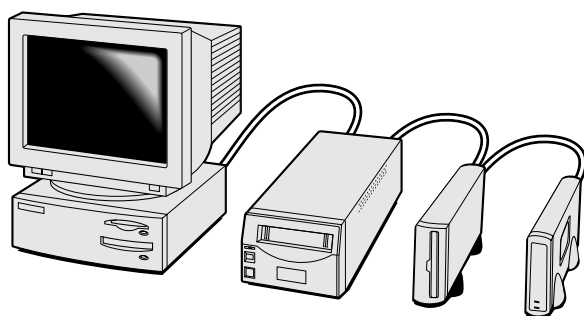
●スキャンが始まり、スキャン終了時にスキャン完了ウィンドウが表示されます。
●指定した全コマのスキャンが完了すると、フィルムホルダがイジェクトされます。

資料

IEEE1394インターフェイスについて

IEEE1394（アップル社のMacintoshではFireWire）インターフェイスは、スキャナや外部取付CD-R機器などのパーソナルコンピュータ周辺機器およびデジタルビデオカメラなどのデジタル機器をパーソナルコンピュータに接続することが出来る、高速シリアルバスの規格です。

IEEE1394インターフェイス接続はSCSIのように各機器のID番号やターミネータを設定する必要がないため、周辺機器を容易に接続することが出来ます。また1つのインターフェイスで最大63台までパーソナルコンピュータに接続することが出来ます。

電源をオン/オフする順序は、IEEE1394インターフェイス機器が先でもパーソナルコンピュータが先でも構いません。

IEEE1394インターフェイス接続ではパーソナルコンピュータやIEEE1394インターフェイス機器の電源がオンの状態のまま、IEEE1394インターフェイス機器を接続したり、外したりできます。ただし**本機や他の周辺機器が動作中（交信中）は、絶対にIEEE1394ケーブルプラグの抜き差しはしないでください。**

PCとスキャナの電源をONにしたまま取り外す場合Windows 2000 Professionalでは

1.ドライバソフトを終了させる。
2.本機のインジケータランプが点灯状態であることを確認する。
3.IEEE1394を取り外す。

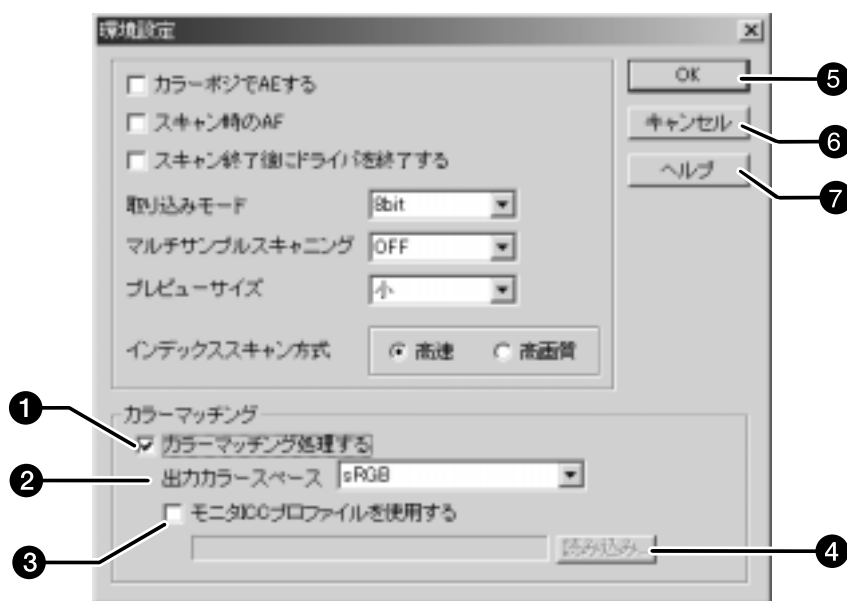
PCとスキャナの電源をONにしたまま取り外す場合Windows 2000 Meでは

1.ドライバソフトを終了させる。
2.本機のインジケータランプが点灯状態であることを確認する。
3.デスクトップ右下のタスクトレイに表示されている （ハードウェアの取り外し）をダブルクリックする。
4.表示される「ハードウェア取り外し」の画面で、「Minolta DiMAFGE Scan Multi PRO」を選択し、停止ボタンをクリックする。
5.表示される「ハードウェアデバイスの停止」画面の、OKボタンをクリックする。
6.表示される「ハードウェアの取り外し」画面の、OKボタンをクリックする。
7.IEEE1394を取り外す。

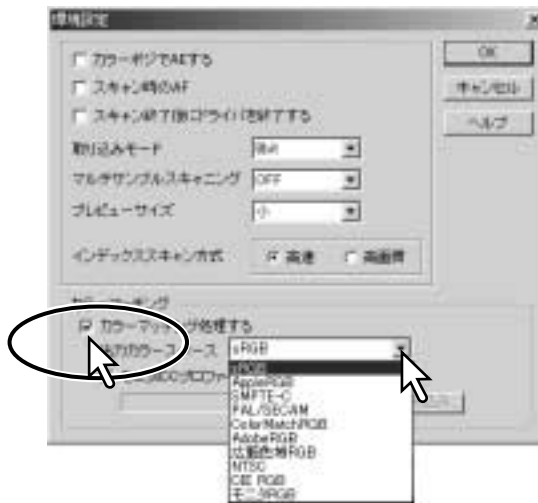
カラーマッチング

スキャナーで取り込んだ画像データは出力機器（モニタやプリンタ）の特性によって再現される色や階調が異なります。
出力機器による色の再現性の違いを少なくするには、色を扱う環境（出力カラースペースと呼びます）を決めてその環境に色を合わせせることと、その環境で出力するための機器の特性を補正する必要があります。
DiMAGE Scan Multi PROのカラーマッチング機能では、指定したカラースペース（sRGBなど）に、スキャンした画像の色を合わせ込んだり、モニタのICCプロファイル（モニタの色再現特性が記述されているファイル）を使用して、お使いのモニタに合わせた色で画像を再現することができ、フィルムの色とスキャン画像のモニタ表示の色を近づけることができます。

カラーマッチングウィンドウは、「環境設定」ウィンドウ内、下段にあります。

メインウィンドウの環境設定ボタン をクリックします。

❶「カラーマッチング処理する」チェックボックス
❷「出力カラースペース」選択リストボックス
❸「モニタICCプロファイルを使用する」チェックボックス
❹ 読み込みボタン
❺ OKボタン
❻ キャンセルボタン
❼ ヘルプボタン

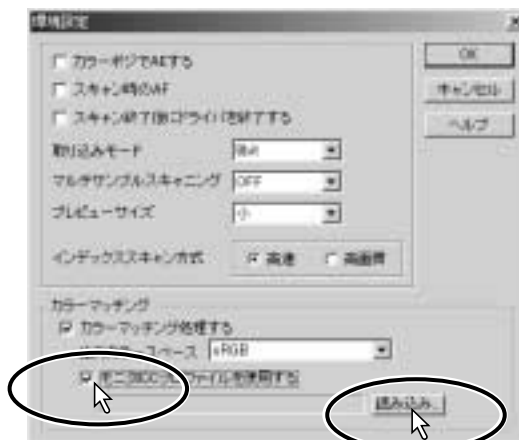
●「カラーマッチング処理する」をオンにすると、スキャン時間は長くなります。

出力カラースペースの設定

1 「カラーマッチング処理する」にチェックします。

2 出力カラースペース選択リストボックスで選択すると、選択可能な出力カラースペースが表示されます。

3 設定する出力カラースペースをクリックします。

●設定できる出力カラースペースについては136ページで説明しています。

モニタICCプロファイルの設定

1 「モニタICCプロファイルを使用する」にチェックします。

2 [読み込み] ボタンをクリックします。

●パーソナルコンピュータOS標準のファイルオープンダイアログが表示されます。

3 お使いのモニタのICCプロファイルを選択します。

4 [OK] ボタンをクリックします。

●[OK] ボタンは、他の環境設定項目と兼用しています。設定時ご注意ください。

資料

出力カラースペースとモニタICCプロファイルの設定について、画像処理アプリケーションとの組み合わせによる推奨設定は以下の通りです。

モニタ補正表示機能(*1) があるアプリケーション（Adobe Photoshop Ver.5〜Ver.6など）で、モニタ補正表示機能(*1) をONにして使用されている場合

出力カラースペース　　：任意の出力カラースペースが選択可能
（アプリケーションで指定している色空間と同じ設定を選択します。）
ICCプロファイル(*2)　　：使用する

モニタ補正表示機能(*1) がないアプリケーションを使用されている場合
この場合は、任意の出力カラースペースではなく、ご使用のモニタ独自の色空間に合わせることが可能です。

出力カラースペース　　：「モニタRGB」を選択します。
ICCプロファイル(*2)　　：使用する

＊Adobe Photoshop 4.0.1のWindows版を使用されている場合は、アプリケーションのモニタガンマの設定を2.2に設定している場合のみ、上記の設定が有効です。

*1：モニタ特性を補正して画像を表示させる機能です。
*2：ICCプロファイルは、ご使用のモニタのICCプロファイルを設定します。

ドライバソフトウェアインストール時に*[Color]フォルダ(Windows版)、[ColorSyncプロファイル]フォルダ(Macintosh版)に、以下のスキャナプロファイルがインストールされます。
スキャン画像のカラーマッチング処理を行なう場合、スキャナのカラーマッチング機能の使用を推奨していますが、他の色変換処理を使用される場合は、以下のプロファイルの利用が可能です。他のソフトやOSの色変換処理等で使用した場合は、多少色味が異る場合があります。

- **MLTF5000.icc**
  16bitリニア以外の設定で取り込んだポジフィルムの画像に使用可能
  表示名称：DiMAGE Scan Multi PRO(Posi)
- **MLTF5000p.icc**
  16bitリニアの設定で取り込んだポジフィルムの画像に使用可能
  表示名称：DiMAGE Scan Multi PRO(Posi Linear)

*[Color]フォルダは、
Windows 98/98SE/Meでは、[Windows]フォルダ→[System]フォルダ内に、
Windows NTでは、[WINNT]フォルダ→[System32]フォルダ内に、
Windows 2000では、[WINNT]フォルダ→[System32]フォルダ→[spool]フォルダ→[drivers]フォルダ内にあります。

設定できる出力カラースペースの説明

sRGB
HPおよびMicrosoft により推進された色空間です。sRGBは平均的なPCモニタの特性を反映しているため、Webでの表示用に画像を扱う場合に使用されます。一方、他のカラースペースに比べ再現できる彩度再現域が狭いため、専門的なプリスレスは不向きです。インターネットやマルチメディアを基準において提案されており、世界で広く使われ出しています。

Apple RGB
以前からのApple13型のAppleシステムに基づいています。Adobe illustratorやAdobe Photoshop 4以前のバージョンなどで初期設定用として使用されていました。このため、デスクトップパブリッシング用に使われてきた色空間で、デスクトップパブリッシング界で使用する旧バージョンのファイルを再現することができます。sRGBより広い色域で、プリントアウトを目的とした場合によく用いられています。

SMPTE-C
現在の米国でのテレビ放映の基準です。米国のテレビ放映用に作業する場合に最適です。

PAL/SECAM
ヨーロッパでのテレビ放映の基準です。ヨーロッパのテレビ放映用に作業する場合に最適です。

ColorMatchRGB
Radius PressView モニタを最適に使用するカラースペースです。このモニタはプリプレス界で一般的で広い色域を有します。

AdobeRGB
ColorMatch RGBよりさらに色域が広い。プリプレス用で広範囲におよぶカラーが必要な場合には、より最適なスペースです。しかし、印刷不可能なカラー（CMYK色以外のカラーなど）が、より多く含まれています。

広範色域RGB
分光的に純粋な色度座標を使用して、非常に広範囲にわたるカラーを提供します。ただし、この色域のカラーのほとんどは標準的なコンピュータのモニタでは表示できず、印刷もできません。

NTSC
ビデオ製作の場合に使用されています。

CIE RGB
CIE (Commissin Internationale d`Eclairage)で定義されたRGBカラースペースです。

モニタRGB
ICCプロファイルで指定したモニタの色空間に合わせ込んだ色で再現します。

ジョブファイルリスト　- 35mmフィルム

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.135）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ W	H
	最大サイズ	4800				37.08 1.460	25.02 0.985
初期設定	初期設定	1200	300	400	pixel	1752	1182
カラーレーザープリンタ	A4用紙全体	4800	600	800	mm	35.38	25.02
	A4用紙2分の1	3550	600	591	mm	35.53	25.04
	A4用紙4分の1	2518	600	419	mm	35.32	25.06
	レター用紙全体	4800	600	800	inch	1.26	0.99
	レター用紙2分の1	3494	600	582	inch	1.46	0.94
	レター用紙4分の1	2589	600	431	inch	1.26	0.99
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	4749	400	1187	mm	35.38	25.02
	A4用紙全体	3358	400	839	mm	35.4	25.03
	A5用紙全体	2366	400	591	mm	35.53	25.04
	レター用紙全体	3452	400	863	inch	1.26	0.99
	レター用紙2分の1	2329	400	582	inch	1.46	0.94
	レター用紙4分の1	1726	400	431	inch	1.26	0.99
	8x10	3249	400	812	inch	1.23	0.99
	大四切	4460	400	1115	mm	31.93	25.02
	四切	4061	400	1015	mm	30.05	25.02
	キャビネ	1871	400	467	mm	35.97	25.05
	写真プリント(2L)	2031	400	507	mm	35.11	25.05
	PostCard4x6	1644	400	411	inch	1.46	0.97
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3ノビ	3945	300	1315	mm	36.73	25.02
	A3用紙全体	3561	300	1187	mm	35.38	25.02
	A4用紙全体	2518	300	839	mm	35.4	25.03
	A4用紙2分の1	1775	300	591	mm	35.53	25.04
	A4用紙4分の1	1259	300	419	mm	35.32	25.06
	レター用紙全体	2589	300	863	inch	1.26	0.99
	レター用紙2分の1	1747	300	582	inch	1.46	0.94
	レター用紙4分の1	1295	300	431	inch	1.26	0.99
	はがき全面	1199	300	399	mm	37.09	25.06
	写真プリント（KG）	1214	300	404	mm	37.13	24.75
	写真プリント（L）	1068	300	356	mm	35.67	25
ホームページ	1240x836	850	72	1180	pixel	1240	836
	1112x750	762	72	1058	pixel	1112	750
	984x663	674	72	936	pixel	984	663
	792x534	543	72	754	pixel	792	534
	760x512	521	72	723	pixel	760	512
	600x404	411	72	570	pixel	600	404
	320x240	300	72	416	pixel	320	240
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	2105	300	701	pixel	3072	2048
	PhotoCD1024x1536	1053	300	351	pixel	1536	1024
	PhotoCD512x768	527	300	175	pixel	768	512
画面で見る	1920x1200	1316	72	1827	pixel	1920	1200
	1600x1200	1219	72	1693	pixel	1600	1200
	1280x1024	1040	72	1444	pixel	1280	1024
	1280x960	975	72	1354	pixel	1280	960
	1152x870	884	72	1227	pixel	1152	870
	1024x768	780	72	1083	pixel	1024	768
	832x624	837	72	1162	pixel	832	824
	800x600	610	72	847	pixel	800	600
	640x480	488	72	677	pixel	640	480
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	426	72	591	mm	35.53	25.04
	A4用紙4分の1	302	72	419	mm	35.32	25.06
	A4用紙8分の1	300	72	416	mm	25.24	17.79
	レター用紙2分の1	420	72	583	inch	1.46	0.93
	レター用紙4分の1	311	72	431	inch	1.26	0.99
	レター用紙8分の1	300	72	416	inch	1.02	0.65
フィルムレコーダー	4K	2806	2400	116	pixel	4096	2731
	2K	1403	2400	58	pixel	2048	1365

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	1752	1182	OFF
OFF	283	200.152	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.1	7.88	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	10	8	ON
OFF	356	279	ON
OFF	305	254	ON
OFF	168	117	ON
OFF	178	127	ON
OFF	6	4	ON
OFF	483	329	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	148	100	ON
OFF	150	100	ON
OFF	127	89	ON
OFF	1240	836	ON
OFF	1112	750	ON
OFF	984	663	ON
OFF	792	534	ON
OFF	760	512	ON
OFF	600	404	ON
OFF	320	240	ON
OFF	3072	2048	ON
OFF	1536	1024	ON
OFF	768	512	ON
OFF	1920	1200	ON
OFF	1600	1200	ON
OFF	1280	1024	ON
OFF	1280	960	ON
OFF	1152	870	ON
OFF	1024	768	ON
OFF	832	824	ON
OFF	800	600	ON
OFF	640	480	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	105	74	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	4.25	2.72	ON
OFF	4096	2731	ON
OFF	2048	1365	ON

ジョブファイルリスト　-ブローニ （6×4.5）

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.645）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ W	入力サイズ H
	最大サイズ	3200				42.67 1.68	56.58 2.23
初期設定	初期設定	800	300	266	pixel	1344	1782
カラーレーザープリンタ	A3用紙全体	4454	600	742	mm	40.03	56.6
	A4用紙全体	3150	600	525	mm	40	56.57
	A4用紙2分の1	2227	600	371	mm	39.89	56.6
	A4用紙4分の1	1570	600	261	mm	40.23	56.71
	レター用紙全体	3036	600	506	inch	1.68	2.15
	レター用紙2分の1	2290	600	381	inch	1.43	2.23
	レター用紙4分の1	1518	600	253	inch	1.68	2.15
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	2970	400	742	mm	40.03	56.6
	A4用紙全体	2100	400	525	mm	40	56.57
	A5用紙全体	1485	400	371	mm	39.89	56.6
	レター用紙全体	2024	400	506	inch	1.68	2.15
	レター用紙2分の1	1527	400	381	inch	1.43	2.23
	レター用紙4分の1	1012	400	253	inch	1.68	2.15
	8x10	1905	400	476	inch	1.68	2.1
	大四切	2615	400	653	mm	42.73	54.52
	四切	2381	400	595	mm	42.69	51.26
	キャビネ	1188	400	297	mm	39.39	56.57
	写真プリント(2L)	1259	400	314	mm	38.22	56.69
	PostCard4x6	1078	400	269	inch	1.49	2.23
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3用紙ノビ	2561	300	853	mm	38.57	56.62
	A3用紙全体	2227	300	742	mm	40.03	56.6
	A4用紙全体	1575	300	525	mm	40	56.57
	A4用紙2分の1	1114	300	371	mm	39.89	56.6
	A4用紙4分の1	785	300	261	mm	40.23	56.71
	レター用紙全体	1518	300	506	inch	1.68	2.15
	レター用紙2分の1	1145	300	381	inch	1.43	2.23
	レター用紙4分の1	759	300	253	inch	1.68	2.15
	はがき全面	785	300	261	mm	38.31	56.71
	写真プリント（KG）	796	300	265	mm	37.74	56.6
	写真プリント（L）	674	300	224	mm	39.73	56.7
ホームページ	1240x935	557	72	773	pixel	935	1240
	1112x839	500	72	694	pixel	839	1112
	984x742	442	72	613	pixel	742	984
	792x597	356	72	494	pixel	597	792
	760x573	342	72	475	pixel	573	760
	600x452	270	72	375	pixel	452	600
	320x240	200	72	277	pixel	240	320
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	1380	300	460	pixel	2048	3072
	PhotoCD1024x1536	690	300	230	pixel	1024	1536
	PhotoCD512x768	345	300	115	pixel	512	768
画面で見る	1920x1200	862	72	1197	pixel	1200	1920
	1600x1200	719	72	998	pixel	1200	1600
	1280x1024	610	72	847	pixel	1024	1280
	1280x960	575	72	798	pixel	960	1280
	1152x870	518	72	719	pixel	870	1152
	1024x768	460	72	638	pixel	768	1024
	832x624	374	72	519	pixel	624	832
	800x600	360	72	500	pixel	600	800
	640x480	288	72	400	pixel	480	640
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	268	72	372	mm	39.79	56.45
	A4用紙4分の1	200	72	277	mm	37.91	53.43
	A4用紙8分の1	200	72	277	mm	26.71	37.91
	レター用紙2分の1	275	72	381	inch	1.43	2.23
	レター用紙4分の1	200	72	277	inch	1.53	1.97
	レター用紙8分の1	200	72	277	inch	0.98	1.53

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	1344	1782	OFF
OFF	297	420	ON
OFF	210	297	ON
OFF	148	210	ON
OFF	105	148	ON
OFF	8.5	10.9	ON
OFF	5.45	8.5	ON
OFF	4.25	5.45	ON
OFF	297	420	ON
OFF	210	297	ON
OFF	148	210	ON
OFF	8.5	10.9	ON
OFF	5.45	8.5	ON
OFF	4.25	5.45	ON
OFF	8	10	ON
OFF	279	356	ON
OFF	254	305	ON
OFF	117	168	ON
OFF	120	178	ON
OFF	4	6	ON
OFF	329	483	ON
OFF	297	420	ON
OFF	210	297	ON
OFF	148	210	ON
OFF	105	148	ON
OFF	8.5	10.9	ON
OFF	5.45	8.5	ON
OFF	4.25	5.45	ON
OFF	100	148	ON
OFF	100	150	ON
OFF	89	127	ON
OFF	935	1240	ON
OFF	839	1112	ON
OFF	742	984	ON
OFF	597	792	ON
OFF	573	760	ON
OFF	452	600	ON
OFF	240	320	ON
OFF	2048	3072	ON
OFF	1024	1536	ON
OFF	512	768	ON
OFF	1200	1920	ON
OFF	1200	1600	ON
OFF	1024	1280	ON
OFF	960	1280	ON
OFF	870	1152	ON
OFF	768	1024	ON
OFF	624	832	ON
OFF	600	800	ON
OFF	480	640	ON
OFF	148	210	ON
OFF	105	148	ON
OFF	74	105	ON
OFF	5.45	8.5	ON
OFF	4.25	5.45	ON
OFF	2.72	4.25	ON

ジョブファイルリスト　-ブローニ（6×6）

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.660）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ W	 H
	最大サイズ	3200				56.58 2.23	56.58 2.23
初期設定	初期設定	800	300	266	pixel	1782	1782
カラーレーザープリンタ	A3用紙全体	3150	600	525	mm	56.57	56.57
	A4用紙全体	2227	600	371	mm	56.6	56.6
	A4用紙2分の1	1570	600	261	mm	56.71	56.71
	A4用紙4分の1	1114	600	185	mm	56.76	56.76
	レター用紙全体	2290	600	381	inch	2.23	2.23
	レター用紙2分の1	1469	600	244	inch	2.23	2.23
	レター用紙4分の1	1145	600	190	inch	2.24	2.24
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	2100	400	525	mm	56.57	56.57
	A4用紙全体	1485	400	371	mm	56.6	56.6
	A5用紙全体	1047	400	261	mm	56.71	56.71
	レター用紙全体	1527	400	381	inch	2.23	2.23
	レター用紙2分の1	979	400	244	inch	2.23	2.23
	レター用紙4分の1	764	400	191	inch	2.23	2.23
	8x10	1437	400	359	inch	2.23	2.23
	半切	2517	400	629	mm	56.6	56.6
	大四切	1973	400	493	mm	56.59	56.59
	四切	1796	400	449	mm	56.57	56.57
	キャビネ	827	400	206	mm	56.8	56.8
	写真プリント(2L)	898	400	224	mm	56.7	56.7
	PostCard4x6	719	400	179	inch	2.23	2.23
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3用紙ノビ	1745	300	581	mm	56.63	56.63
	A3用紙全体	1575	300	525	mm	56.57	56.57
	A4用紙全体	1114	300	371	mm	56.6	56.6
	A4用紙2分の1	785	300	261	mm	56.71	56.71
	A4用紙4分の1	557	300	185	mm	56.76	56.76
	レター用紙全体	1145	300	381	inch	2.23	2.23
	レター用紙2分の1	735	300	245	inch	2.22	2.22
	レター用紙4分の1	573	300	191	inch	2.23	2.23
	はがき全面	531	300	177	mm	56.5	56.5
	写真プリント（KG）	531	300	177	mm	56.5	56.5
	写真プリント（L）	472	300	157	mm	56.69	56.69
ホームページ	1240x1240	557	72	773	pixel	1240	1240
	1112x1112	500	72	694	pixel	1112	1112
	984x984	442	72	613	pixel	984	984
	792x792	356	72	494	pixel	792	792
	760x760	342	72	475	pixel	760	760
	600x600	270	72	375	pixel	600	600
	320x240	200	72	277	pixel	320	240
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	1380	300	460	pixel	3072	2048
	PhotoCD1024x1536	690	300	230	pixel	1536	1024
	PhotoCD512x768	345	300	115	pixel	768	512
画面で見る	1920x1200	862	72	1197	pixel	1920	1200
	1600x1200	719	72	998	pixel	1600	1200
	1280x1024	575	72	798	pixel	1280	1024
	1280x960	575	72	798	pixel	1280	960
	1152x870	518	72	719	pixel	1152	870
	1024x768	460	72	638	pixel	1024	768
	832x624	374	72	519	pixel	832	624
	800x600	360	72	500	pixel	800	600
	640x480	288	72	400	pixel	640	480
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	200	72	277	mm	53.43	53.43
	A4用紙4分の1	200	72	277	mm	37.91	37.91
	A4用紙8分の1	200	72	277	mm	26.71	26.71
	レター用紙2分の1	200	72	277	inch	1.97	1.97
	レター用紙4分の1	200	72	277	inch	1.53	1.53
	レター用紙8分の1	200	72	277	inch	0.97	0.97

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	1782	1782	OFF
OFF	297	297	ON
OFF	210	210	ON
OFF	148	148	ON
OFF	105	105	ON
OFF	8.5	8.5	ON
OFF	5.45	5.45	ON
OFF	4.25	4.25	ON
OFF	297	297	ON
OFF	210	210	ON
OFF	148	148	ON
OFF	8.5	8.5	ON
OFF	5.45	5.45	ON
OFF	4.25	4.25	ON
OFF	8	8	ON
OFF	356	356	ON
OFF	279	279	ON
OFF	254	254	ON
OFF	117	117	ON
OFF	127	127	ON
OFF	4	4	ON
OFF	329	329	ON
OFF	297	297	ON
OFF	210	210	ON
OFF	148	148	ON
OFF	105	105	ON
OFF	8.5	8.5	ON
OFF	5.45	5.45	ON
OFF	4.25	4.25	ON
OFF	100	100	ON
OFF	100	100	ON
OFF	89	89	ON
OFF	1240	1240	ON
OFF	1112	1112	ON
OFF	984	984	ON
OFF	792	792	ON
OFF	760	760	ON
OFF	600	600	ON
OFF	320	240	ON
OFF	3072	2048	ON
OFF	1536	1024	ON
OFF	768	512	ON
OFF	1920	1200	ON
OFF	1600	1200	ON
OFF	1280	1024	ON
OFF	1280	960	ON
OFF	1152	870	ON
OFF	1024	768	ON
OFF	832	624	ON
OFF	800	600	ON
OFF	640	480	ON
OFF	148	148	ON
OFF	105	105	ON
OFF	74	74	ON
OFF	5.45	5.45	ON
OFF	4.25	4.25	ON
OFF	2.69	2.69	ON

ジョブファイルリスト　-ブローニ （6×7）

カテゴリ	ジョブ名	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ	
	ファイル名（*.670）					W	H
	最大サイズ	3200				70.10 2.76	56.58 2.23
初期設定	初期設定	800	300	266	pixel	2208	1782
カラーレーザープリンタ	A3用紙全体	3595	600	599	mm	70.12	49.58
	A4用紙全体	2542	600	423	mm	70.21	49.65
	A4用紙2分の1	1798	600	299	mm	70.23	49.5
	A4用紙4分の1	1267	600	211	mm	70.14	49.76
	レター用紙全体	2370	600	395	inch	2.76	2.15
	レター用紙2分の1	1848	600	308	inch	2.76	1.77
	レター用紙4分の1	1185	600	197	inch	2.77	2.16
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	2397	400	599	mm	70.12	49.58
	A4用紙全体	1695	400	423	mm	70.21	49.65
	A5用紙全体	1199	400	299	mm	70.23	49.5
	レター用紙全体	1580	400	395	inch	2.76	2.15
	レター用紙2分の1	1232	400	308	inch	2.76	1.77
	レター用紙4分の1	790	400	197	inch	2.77	2.16
	8x10	1450	400	362	inch	2.76	2.21
	半切	2517	400	629	mm	68.68	56.6
	大四切	2032	400	508	mm	70.08	54.92
	四切	1796	400	449	mm	67.93	56.57
	キャビネ	959	400	239	mm	70.29	48.95
	写真プリント(2L)	1016	400	254	mm	70.08	50
	PostCard4x6	870	400	217	inch	2.77	1.84
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3用紙ノビ	2756	400	689	mm	70.1	47.75
	A3用紙全体	2397	400	599	mm	70.12	49.58
	A4用紙全体	1271	300	423	mm	70.21	49.65
	A4用紙2分の1	899	300	299	mm	70.23	49.5
	A4用紙4分の1	634	300	211	mm	70.14	49.76
	レター用紙全体	1185	300	395	inch	2.76	2.15
	レター用紙2分の1	924	300	308	inch	2.76	1.77
	レター用紙4分の1	593	300	197	inch	2.77	2.16
	はがき全面	634	300	211	mm	70.14	47.39
	写真プリント（KG）	642	300	214	mm	70.09	46.73
	写真プリント（L）	544	300	181	mm	70.17	49.17
ホームページ	1240x1000	450	72	625	pixel	1240	1000
	1112x897	403	72	559	pixel	1112	897
	984x794	357	72	495	pixel	984	794
	792x639	287	72	398	pixel	792	639
	760x613	276	72	383	pixel	760	613
	600x484	218	72	302	pixel	600	484
	320x240	200	72	277	pixel	320	240
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	1114	300	371	pixel	3072	2048
	PhotoCD1024x1536	557	300	185	pixel	1536	1024
	PhotoCD512x768	279	300	93	pixel	768	512
画面で見る	1920x1200	696	72	966	pixel	1920	1200
	1600x1200	580	72	805	pixel	1600	1200
	1280x1024	464	72	644	pixel	1280	1024
	1280x960	464	72	644	pixel	1280	960
	1152x870	418	72	580	pixel	1152	870
	1024x768	372	72	516	pixel	1024	768
	832x624	302	72	419	pixel	832	624
	800x600	290	72	402	pixel	800	600
	640x480	232	72	322	pixel	640	480
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	215	72	298	mm	70.13	49.33
	A4用紙4分の1	200	72	277	mm	53.07	37.55
	A4用紙8分の1	200	72	277	mm	37.55	26.53
	レター用紙2分の1	222	72	308	inch	2.76	1.77
	レター用紙4分の1	200	72	277	inch	1.97	1.53
	レター用紙8分の1	200	72	277	inch	1.53	0.97

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	2208	1782	OFF
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	10	8	ON
OFF	432	356	ON
OFF	356	279	ON
OFF	305	254	ON
OFF	168	117	ON
OFF	178	127	ON
OFF	6	4	ON
OFF	483	329	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	148	100	ON
OFF	150	100	ON
OFF	127	89	ON
OFF	1240	1000	ON
OFF	1112	897	ON
OFF	984	794	ON
OFF	792	639	ON
OFF	760	613	ON
OFF	600	484	ON
OFF	320	240	ON
OFF	3072	2048	ON
OFF	1536	1024	ON
OFF	768	512	ON
OFF	1920	1200	ON
OFF	1600	1200	ON
OFF	1280	1024	ON
OFF	1280	960	ON
OFF	1152	870	ON
OFF	1024	768	ON
OFF	832	624	ON
OFF	800	600	ON
OFF	640	480	ON
OFF	209	147	ON
OFF	147	104	ON
OFF	104	73.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	4.25	2.7	ON

ジョブファイルリスト　-ブローニ　（6×8）

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.680）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ	
						W	H
	最大サイズ	3200				77.15 3.04	56.58 2.23
初期設定	初期設定	800	300	266	pixel	2430	1782
カラーレーザープリンタ	A3用紙全体	3200	600	533	mm	77.2	55.72
	A4用紙全体	2310	600	385	mm	77.14	54.55
	A4用紙2分の1	1633	600	272	mm	77.21	54.41
	A4用紙4分の1	1151	600	191	mm	77.49	54.97
	レター用紙全体	2290	600	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	1680	600	280	inch	3.04	1.95
	レター用紙4分の1	1145	600	190	inch	2.87	2.24
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	2178	400	544	mm	77.21	54.6
	A4用紙全体	1540	400	385	mm	77.14	54.55
	A5用紙全体	1089	400	272	mm	77.21	54.41
	レター用紙全体	1527	400	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	1120	400	280	inch	3.04	1.95
	レター用紙4分の1	764	400	191	inch	2.85	2.23
	8x10	1437	400	359	inch	2.79	2.23
	半切	2517	400	629	mm	68.68	56.6
	大四切	1973	400	493	mm	72.21	56.59
	四切	1796	400	449	mm	67.93	56.57
	キャビネ	871	400	217	mm	77.42	53.92
	写真プリント(2L)	923	400	230	mm	77.39	55.22
	PostCard4x6	791	400	197	inch	3.05	2.03
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3ノビ	1878	300	626	mm	77.16	52.56
	A3用紙全体	1633	300	544	mm	77.21	54.6
	A4用紙全体	1155	300	385	mm	77.14	54.55
	A4用紙2分の1	817	300	272	mm	77.21	54.41
	A4用紙4分の1	576	300	192	mm	77.08	54.69
	レター用紙全体	1145	300	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	840	300	280	inch	3.04	1.95
	レター用紙4分の1	573	300	191	inch	2.85	2.23
	はがき全面	576	300	192	mm	77.08	52.08
	写真プリント（KG）	584	300	194	mm	77.32	51.55
	写真プリント（L）	494	300	164	mm	77.44	54.27
ホームページ	1240x909	409	72	568	pixel	1240	909
	1112x815	367	72	509	pixel	1112	815
	984x721	324	72	450	pixel	984	721
	792x580	261	72	362	pixel	792	580
	760x557	251	72	348	pixel	760	557
	600x440	200	72	277	pixel	600	440
	320x240	200	72	277	pixel	320	240
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	1012	300	337	pixel	3072	2048
	PhotoCD1024x1536	506	300	168	pixel	1536	1024
	PhotoCD512x768	253	300	84	pixel	768	512
画面で見る	1920x1200	633	72	879	pixel	1920	1200
	1600x1200	539	72	748	pixel	1600	1200
	1280x1024	460	72	638	pixel	1280	1024
	1280x960	431	72	598	pixel	1280	960
	1152x870	391	72	543	pixel	1152	870
	1024x768	345	72	479	pixel	1024	768
	832x624	281	72	390	pixel	832	624
	800x600	270	72	375	pixel	800	600
	640x480	216	72	300	pixel	640	480
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	200	72	277	mm	75.81	53.43
	A4用紙4分の1	200	72	277	mm	53.43	37.91
	A4用紙8分の1	200	72	277	mm	37.91	26.71
	レター用紙2分の1	202	72	280	inch	3.04	1.95
	レター用紙4分の1	200	72	277	inch	1.97	1.53
	レター用紙8分の1	200	72	277	inch	1.53	0.98

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	2430	1782	OFF
OFF	411.48	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	10	8	ON
OFF	432	356	ON
OFF	356	279	ON
OFF	305	254	ON
OFF	168	117	ON
OFF	178	127	ON
OFF	6	4	ON
OFF	483	329	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	148	100	ON
OFF	150	100	ON
OFF	127	89	ON
OFF	1240	909	ON
OFF	1112	815	ON
OFF	984	721	ON
OFF	792	580	ON
OFF	760	557	ON
OFF	600	440	ON
OFF	320	240	ON
OFF	3072	2048	ON
OFF	1536	1024	ON
OFF	768	512	ON
OFF	1920	1200	ON
OFF	1600	1200	ON
OFF	1280	1024	ON
OFF	1280	960	ON
OFF	1152	870	ON
OFF	1024	768	ON
OFF	832	624	ON
OFF	800	600	ON
OFF	640	480	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	105	74	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	4.25	2.72	ON

ジョブファイルリスト　-ブローニ（6×9）

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.690）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ W	入力サイズ H
	最大サイズ	3200				83.82 3.30	56.58 2.23
初期設定	初期設定	800	300	266	pixel	2640	1782
カラーレーザープリンタ	A3用紙全体	3150	600	525	mm	80	56.57
	A4用紙全体	2227	600	371	mm	80.05	56.6
	A4用紙2分の1	1570	600	261	mm	80.46	56.71
	A4用紙4分の1	1114	600	185	mm	80	56.76
	レター用紙全体	2290	600	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	1546	600	257	inch	3.31	2.12
	レター用紙4分の1	1145	600	190	inch	2.87	2.24
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	2100	400	525	mm	80	56.57
	A4用紙全体	1485	400	371	mm	80.05	56.6
	A5用紙全体	1047	400	261	mm	80.46	56.71
	レター用紙全体	1527	400	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	1031	400	257	inch	3.31	2.12
	レター用紙4分の1	764	400	191	inch	2.85	2.23
	8x10	1437	400	359	inch	2.79	2.23
	半切	2517	400	629	mm	68.68	56.6
	大四切	1973	400	493	mm	72.21	56.59
	四切	1796	400	449	mm	67.93	56.57
	キャビネ	827	400	206	mm	81.55	56.8
	写真プリント(2L)	898	400	224	mm	79.46	56.7
	PostCard4x6	728	400	182	inch	3.3	2.2
インクジェット＆昇華型プリンタ	A3ノビ	1745	300	581	mm	83.13	56.63
	A3用紙全体	1575	300	525	mm	80	56.57
	A4用紙全体	1114	300	371	mm	80.05	56.6
	A4用紙2分の1	785	300	261	mm	80.46	56.71
	A4用紙4分の1	557	300	185	mm	80	56.76
	レター用紙全体	1145	300	381	inch	2.86	2.23
	レター用紙2分の1	773	300	257	inch	3.31	2.12
	レター用紙4分の1	573	300	191	inch	2.85	2.23
	はがき全面	531	300	177	mm	83.62	56.5
	写真プリント（KG）	537	300	179	mm	83.8	55.87
	写真プリント（L）	472	300	157	mm	80.89	56.69
ホームページ	1240x837	376	300	125	pixel	1240	837
	1112x751	338	300	112	pixel	1112	751
	984x664	299	300	99	pixel	984	664
	792x534	240	300	80	pixel	792	534
	760x513	231	300	77	pixel	760	513
	600x405	200	300	66	pixel	600	405
	320x240	200	300	66	pixel	320	240
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	931	300	310	pixel	3072	2048
	PhotoCD1024x1536	466	300	155	pixel	1536	1024
	PhotoCD512x768	233	300	77	pixel	768	512
画面で見る	1920x1200	582	72	808	pixel	1920	1200
	1600x1200	539	72	748	pixel	1600	1200
	1280x1024	460	72	638	pixel	1280	1024
	1280x960	431	72	598	pixel	1280	960
	1152x870	391	72	543	pixel	1152	870
	1024x768	345	72	479	pixel	1024	768
	832x624	281	72	390	pixel	832	624
	800x600	270	72	375	pixel	800	600
	640x480	216	72	300	pixel	640	480
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	200	72	277	mm	75.81	53.43
	A4用紙4分の1	200	72	277	mm	53.43	37.91
	A4用紙8分の1	200	72	277	mm	37.91	26.71
	レター用紙2分の1	200	72	277	inch	3.07	1.97
	レター用紙4分の1	200	72	277	inch	1.97	1.53
	レター用紙8分の1	200	72	277	inch	1.53	0.98

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	2640	1782	OFF
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	10	8	ON
OFF	432	356	ON
OFF	356	279	ON
OFF	305	254	ON
OFF	168	117	ON
OFF	178	127	ON
OFF	6	4	ON
OFF	483	329	ON
OFF	420	297	ON
OFF	297	210	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	10.9	8.5	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	148	100	ON
OFF	150	100	ON
OFF	127	89	ON
OFF	1240	837	ON
OFF	1112	751	ON
OFF	984	664	ON
OFF	792	534	ON
OFF	760	513	ON
OFF	600	405	ON
OFF	320	240	ON
OFF	3072	2048	ON
OFF	1536	1024	ON
OFF	768	512	ON
OFF	1920	1200	ON
OFF	1600	1200	ON
OFF	1280	1024	ON
OFF	1280	960	ON
OFF	1152	870	ON
OFF	1024	768	ON
OFF	832	624	ON
OFF	800	600	ON
OFF	640	480	ON
OFF	210	148	ON
OFF	148	105	ON
OFF	105	74	ON
OFF	8.5	5.45	ON
OFF	5.45	4.25	ON
OFF	4.25	2.72	ON

ジョブファイルリスト　- マルチフォーマット 35 mm

カテゴリ	ジョブ名 ファイル名（*.UNA）	入力解像度	出力解像度	倍率	単位	入力サイズ	
						W	H
	最大サイズ	4800				83.82 3.30	25.02 0.99
初期設定	初期設定	1200	300	400	pixel	3960	1182

入力ロック	出力 サイズ		出力ロック
	W	H	
OFF	3960	1182	OFF

インターネットのミノルタ販売株式会社ホームページ
http://www.minolta-sales.co.jp/index.html
には、デジタルフォト製品のサポートコーナーを設け、最新版のドライバソフトウェアなどを提供しています。どうぞご利用ください。

仕 様

形式	ブローニ対応マルチフォーマットフィルムスキャナー
使用原稿	35㎜フィルム（カラー／白黒、ネガ／ポジ） ブローニフィルム（カラー／白黒、ネガ／ポジ） 電子顕微鏡フィルム、プレパラート、16mmフィルム
最大読み取りサイズ	35㎜フィルム　25.0×37.1㎜　4728×7008画素 ブローニフィルム　56.58×83.8㎜　10692×15840画素
光学解像度 **（主走査×副走査）**	35㎜フィルム　最大 4800dpi×4800dpi ブローニフィルム　最大 3200dpi×4800dpi （補間により最大解像度4800dpi x 4800dpi）
走査方式	センサー駆動式原稿固定、1パススキャン方式
イメージセンサー	RGB原色フィルタ 3ラインCCD（7260画素/1ライン）
A/D変換	16 bit(RGB各色)
出力データ	8/16 bit(RGB各色)
ダイナミックレンジ	4.2
光源	3波長蛍光管（冷陰極管）
フォーカス	オートフォーカス、マニュアルフォーカス
インターフェイス	Ultra-SCSI DSUBハーフピッチ50P×2 および IEEE1394（FireWire） 6ピン×2
電源	100～120V、50/60Hz
消費電力	最大40W
外形寸法	168（W）×377（D）×128（H）㎜
質量（重さ）	約4kg
動作環境	約温度10～35°C　湿度15～85% 結露無きこと

●本書に記載の性能および外観は、都合により予告なく変更することがあります。

読み取り時間（Digital ICE[3]などすべての画像補正機能OFF、最高解像度4800dpi設定時）

Windows

35mm（ポジ）	インデックススキャン	約30秒（6コマインデックス）
	プレビュー	約9秒
	本スキャン	約45秒（ウィンドウに画像が出るまで）
ブローニ6×9（ポジ）	プレビュー	約13秒
	本スキャン	約3分50秒（ウィンドウに画像が出るまで）

Macintosh

35mm（ポジ）	インデックススキャン	約35秒（6コマインデックス）
	プレビュー	約10秒
	本スキャン	約50秒（ウィンドウに画像が出るまで）
ブローニ6×9（ポジ）	プレビュー	約15秒
	本スキャン	約4分10秒（ウィンドウに画像が出るまで）

読み取り時間の測定環境

	IBM-PC/AT互換機	Macintosh
CPU	Pentium IV/1.5GHz	PowerPC G4/533MHz
RAM	1GB	1.5GB
OS	Windows®2000 Professional	Mac OS 9.1
使用ボード/ポート	IEEE1394: AFW-4300	内蔵のFireWire
使用アプリケーション	Adobe Photoshop 6.0	Adobe Photoshop 6.0
アプリケーションへのメモリ割当て	800MB	1.2GB

●使用環境によって、読み取り時間は変わります。
●パーソナルコンピュータへの転送時間は含みません。
●ポジフィルムをスキャンして測定。
ネガフィルムをスキャンする場合は、ポジフィルムの読み取り時間よりも長くなる場合があります。
●トリミングなしの全画面をスキャン、AE：OFF、取り込みモード：8bit、カラーマッチング：OFFで測定。

トラブルシューティング

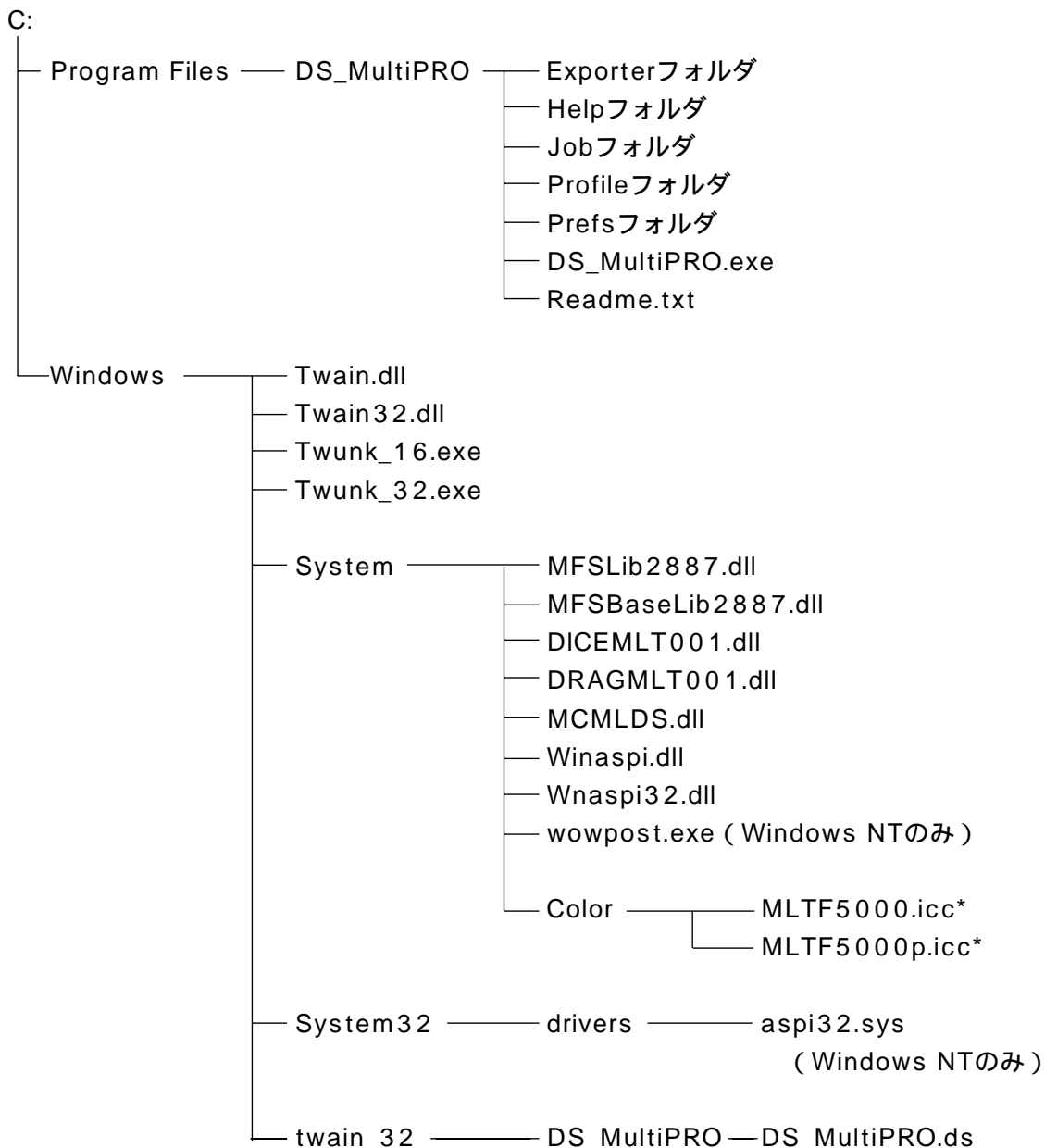
本製品を使用中、異常があれば以下の項目をチェックしてみてください。
それでも直らない場合は、P157に記載の「フォトサポートセンター」にご連絡ください。

症　　　状	処　　　置	参考ページ
本機あるいは、パーソナルコンピュータが起動しない。	AC電源コード、SCSI / IEEE1394ケーブルなどの接続を確認してください。	19〜 22ページ
本製品のドライバソフトウェアがフリーズする。	本機の電源スイッチを一度オフにし、本機とパーソナルコンピュータを再起動しみてください。 Photoshop を一度終了して、メモリ割当てを増やし、再起動させてみてください。	15ページ
スキャン速度が遅い。	本機の電源スイッチを一度オフにし、本機とパーソナルコンピュータを再起動しみてください。 Photoshop を一度終了して、メモリ割当てを増やし、再起動させてみてください。	15ページ
カラーネガをスキャンしたら色調がおかしい。	フィルムタイプを確認し、スキャンしなおしてください。 画像補正してください。 本機の電源スイッチを一度オフにし、本機とパーソナルコンピュータを再起動させてみてください。 再度、DiMAGE Scan Multi PRO のソフトウェアをインストールしてください。	52ページ 75ページ 15ページ 24ページ
画像が鮮明でない。	マニュアルフォーカス機能を使ってみてください。	73ページ
スキャン中に「ホームポジションを検出できません」の警告がでる。	プレビューおよび本スキャン中にフィルムホルダにショックが加わった可能性があります。電源スイッチをオフにし、再起動してください。	15ページ
画像が縦方向に圧縮される。	「光学固定ねじ」が締め付けられたままになっていませんか。取り外してください。	17ページ
インジケータランプが赤色に点灯する。	本機底面の光学ロックねじを外してください。 内部蛍光灯の光量不足で、交換が必要です。「フォトサポートセンター」にご連絡ください。	17ページ 157ページ
本スキャンで異常に時間がかかる。	Windows®98（SE）、Meで約950MB以上の画像をスキャンすると、極端に遅くなる場合があります。このような場合は入力解像度またはトリミングエリアを変更して約950MB以下にしてスキャンしてください。 MacintoshのUtiltyを使用して大きなサイズの画像をスキャンすると極端に遅くなる場合があります。このような場合は、画像処理ソフトウェアからのPlug-inをお使いください。	111ページ 70ページ 33ページ

索引

インストールで作成されるファイル/フォルダ

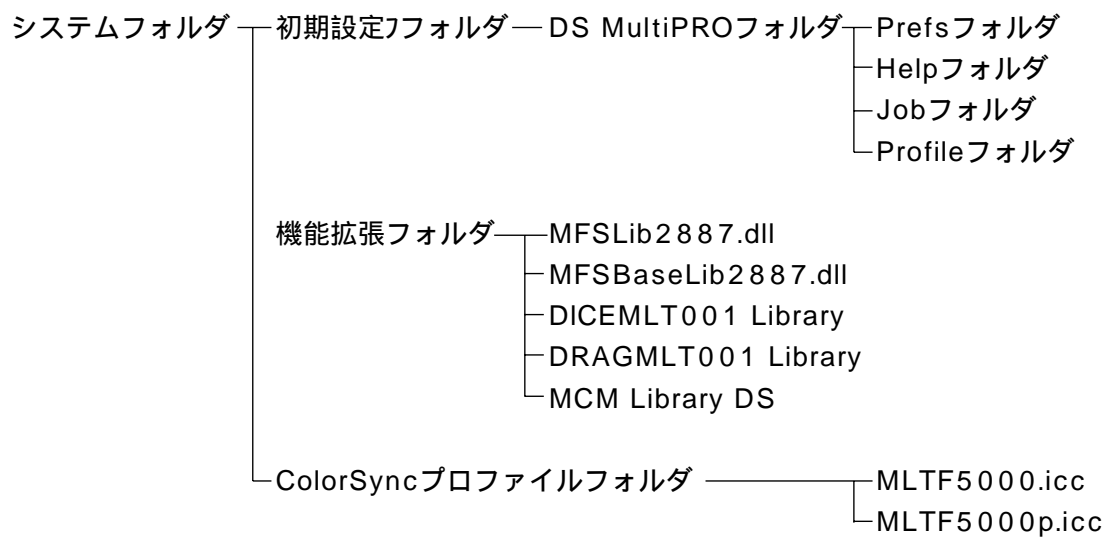
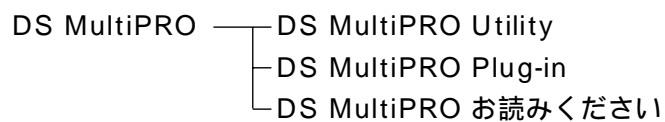
<Windows版>

セットアッププログラムの指示通りにソフトウェアをインストールすると、以下のようにファイル/フォルダがインストールされます。

*：Windows NTでは、¥WINNT¥system32¥ color内にインストールされます。
Windows 2000では、¥WINNT¥system32¥spool¥drivers¥color内にインストールされます。

本ソフトウェアをご使用になる前にお読みください（Readme）ファイルの内容を良くお読みください。

＜Macintosh版＞

本ソフトウェアをご使用になる前にお読みください（Readme）ファイルの内容を良くお読みください。

DiMAGE Scan Multi PRO **サポート用お問い合わせ用紙**

この用紙をコピーして、必要事項をご記入の上、
フォトサポートセンターまでお送りください。

ミノルタ株式会社
フォトサポートセンター
FAX 03-3356-6303

製品シリアルNo＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 年　月　日

お名前	フリガナ			
ご連絡先	TEL		FAX	
	E-mail	@		
ご住所	〒			

ご使用環境	
	お使いのＰＣ □PC/AT互換機 □PC98-NX □Macintosh 機種名(　　　　)
	OS. □Windows®98 □Windows®2000 Professional □Windows®Me □Windows®4.0NT □Mac OS □その他 バージョン（　　　　）
	メモリ容量　　MB ハードディスク容量　　MB・GB（空き容量　　MB・GB）
	ユーティリティソフトウェアのバージョン： TWAINドライバ/Plug-inモジュールのバージョン： （お使いの画像処理アプリケーション名/バージョン：　　　　）
	インターフェイスの種類：□SCSI □IEEE1394 その他の接続している周辺機器：

●問題発生の頻度（具体的に）：
●再現性：　□あり　□なし　□再現不可能

●状況（どのような操作でどうなったか、できるだけ詳しくお書きください。）

Windows®では［コントロールパネル］－［デバイスマネージャ］の内容、Macintoshでは「機能拡張」フォルダや「コントロールパネル」フォルダの内容を添えて、お問い合わせください。

Windows搭載機種でのセットアップ時のご注意

9229-2887-24 X-A110

ドライバソフトウェアのインストールが完了するまでスキャナの電源はONにしないでください。

ドライバソフトウェアをインストールする前にスキャナの電源をONにした場合は、スキャナが正しく認識されない場合があります。

［注］Windows 2000 Professional /Windows NT4.0にドライバソフトウェアをインストールする場合は、管理者アカウント（Administrator）でログオンした状態で行なってください。

スキャナが正しく認識されていない場合は、

インストール完了後に、以下の手順でスキャナが正しく認識されているかご確認ください。

（Windows NT 4.0では以下の確認は不要です。）

1. デスクトップの［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。
2. ［システムのプロパティ］の画面が表示されますので、画面上の［デバイスマネージャ］タブをクリックします。
（Windows 2000 Professionalの場合は、［システムのプロパティ］画面の［ハードウェア］タブをクリックし、［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。）
3. スキャナが正しく認識されている場合は［イメージングデバイス］の一覧に、
   - SCSI接続では、「Minolta ＃2887」（Windows 2000 Professionalの場合は、「Minolta DiMAGE Scan Multi PRO」）と表示されます。
   - IEEE1394接続では、［イメージングデバイス］の一覧に「Minolta DiMAGE Scan Multi PRO」と表示されます。

   （［イメージングデバイス］の左が［＋］マークになっている場合は、［＋］マークをクリックしてください。イメージングデバイスの一覧が表示されます。）

スキャナが正しく認識されていない場合は、［その他のデバイス］の一覧に、

- SCSI接続では、「Minolta ＃2887」（Windows 2000 Professionalの場合は「Minolta ＃2887 SCSI Scanner Device」）と表示されます。
- IEEE1394接続では、「minolta SCANNER 2887 IEEE1394 SBP2 Device」と表示されます。

この場合は、以下（4.～6.）の操作を行ってください。

4. ［その他のデバイス］の一覧に表示されている「Minolta ＃2887」、「Minolta ＃2887 SCSI Scanner Device」、「minolta SCANNER 2887 IEEE1394 SBP2 Device」のいずれか（OS、インターフェースによって異なります）を右クリックし、［削除］を選択します。
5. ［デバイス削除の確認］の画面が表示されますので、画面上の［OK］ボタンをクリックします。
6. パーソナルコンピュータを再起動します。
（Windows 2000 Professionalでは、起動時に［デジタル署名が見つかりませんでした］の画面が表示される場合がありますが、この画面が表示された場合は、画面上の［はい］ボタンをクリックしてください。）

再起動後に、上記の1.～3.の手順でスキャナが正しく認識されていることをご確認ください。

ミノルタ株式会社
ミノルタ販売株式会社

フォトサポートセンター

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル　0570-007111
ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL　03-5351-9410
携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

FAX　03-3356-6303

受付時間　10:00～18:00（土・日・祝日定休）

9223-2887-61　P-A107